# 熊谷スマートシティ推進協議会　データ活用部会

## （令和６年度 第２回）

令和７年２月１７日　１０：１５～

議事分類

【１】委員提供資料（委員から随時受付）

【２】全体運営パート

【３】個別政策パート（重点項目）

【４】個別政策パート（その他）

【５】データ連携基盤

# 議題一覧

## 【1】委員提供資料（委員から随時受付）

## 【2】全体運営パート

⑴　熊谷スマートシティWeb共創・情報発信等実践方針（案）について

⑵　スマートシティサブサイトの公開について

⑶　コミュニティラボの進捗について

⑷　熊谷スマートシティ実行計画の再更新について

⑸　熊谷スマートシティに関するループ図について

⑹　R7シーンスケッチコンテストに向けた検討について
（審査プロセスの見直しやクールシティWS等へのつながりなど）

⑺　市内中学校への熊谷スマートシティの案内について

⑻　NPO法人クールシティラボについて

## 【3】個別政策パート（重点項目）

⑴　ディシディム勉強会について

⑵　クマポについて

⑶　まちなかウェルカム交通ビジョンについて

⑷　グリーンスローモビリティについて

⑸　図書館登録機能のサービス開始について

⑹　地産地消マップのサービス開始について

⑺　デジクマネクサスについて

## 【4】個別政策パート（その他）

## 【5】データ連携基盤

【２】（１）
熊谷スマートシティ
Web共創・情報発信等実践方針（案）について

２５０１０３

熊谷スマートシティ

# Web共創・情報発信等実践方針（案）

## ○熊谷スマートシティにおける Web共創・情報発信の考え方

○双方向性システムによる「企画」と「実行」のループの加速

○コミュニティラボの取組み

○（参考）リアルの場での取組み

## Web共創・情報発信に取り組む意義（案）

市民の満足度や都市の持続性に影響を与えるまちづくり・スマートシティ施策についてWebを通じて市民との意見交換を行いつつ政策を企画することには二つの面で意義があると考えられる。

（１）社会の状況や市民のニーズをより的確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。
　　また、その参画について、生活の場所・時間等に縛られないことで、多様な視点が確保されることが期待される。

（２）自らの意見が十分に聴かれ、社会の一部の実現に関わる経験は、自己肯定感を高め、生活の満足度（ウェルビーイングの一部）の向上につながることが想定される。
　また、特に若者などの社会の一員としての主体性を高め、地域社会への愛着を育むことなども期待される。

# Web共創・情報発信に取り組むに際しての留意点（案）

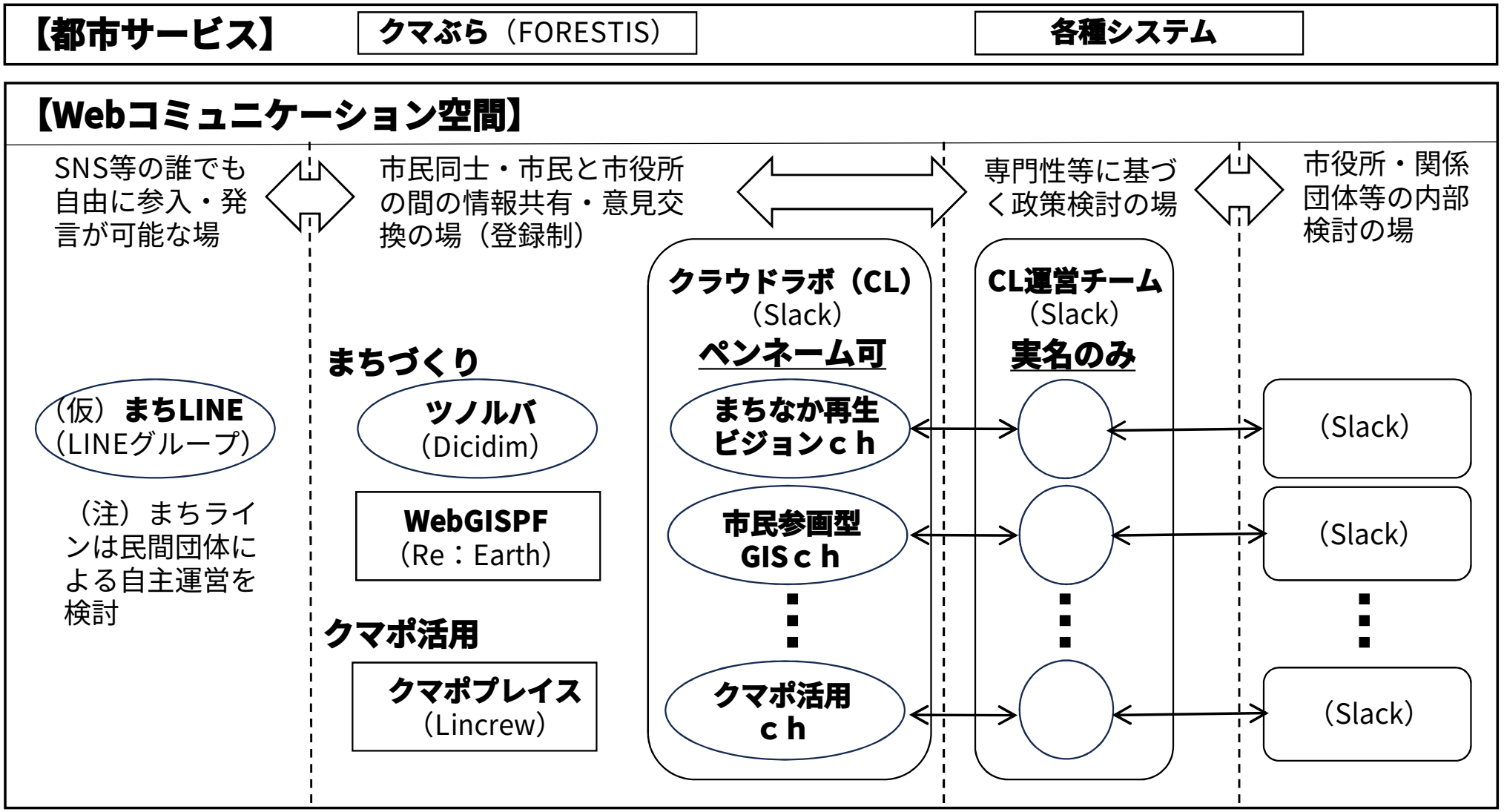
〇デジタルデバイドによる情報の偏りへの留意
　Webで意見交換を行う場合、生活の場所・時間等に縛られないことで、多様な視点が確保されることが期待される一方で、デジタルデバイド（インターネットへのアクセスへの困難等）により、市民・関係者によっては正確な情報の取得が困難であったり、意見を表明しにくい可能性があることに留意する。
　その対策として、デジタルデバイドの解消に引き続き取り組むと共に、意見の集約等に際しては特定のWebコミュニケーションツールのみでなく、その目的にかなう複数の手法を併用を検討することなどが考えられる。

〇誤情報の拡散防止のための市役所公式情報の積極的な発信
　Web上での意見交換では、事実関係を誤解した情報等が検証されないまま用いられる場合がある。
　これを防止するため、公民連携まちづくりやスマートシティに関して、意見交換やワークショップを開催した際には、開催の事実や、検討・取組に支障のない資料等について極力速やかにWebに掲載することで、議論の起点として市役所の公開情報等を活用できる環境を確保することが望ましい。

〇匿名による安全性の確保と議論の有効性のバランス
　Web上での意見交換については、ペンネームの利用（匿名）を可能として、安全性の確保を可能とする必要がある。
　その一方で、匿名であることにより参加者が無責任な発言をしやすくなる場合に備え、Webコミュニケーション空間の運営については、複数の専門家・関係団体との協力関係の構築、実名での対策協議の場の確保などを行い、参加者の安全性を確保しつつ、議論が実際の試行あるいは政策の企画に結びつきやすい環境の維持に努めるべきである。

# （更新版）Webコミュニケーションツール等の活用について（案）

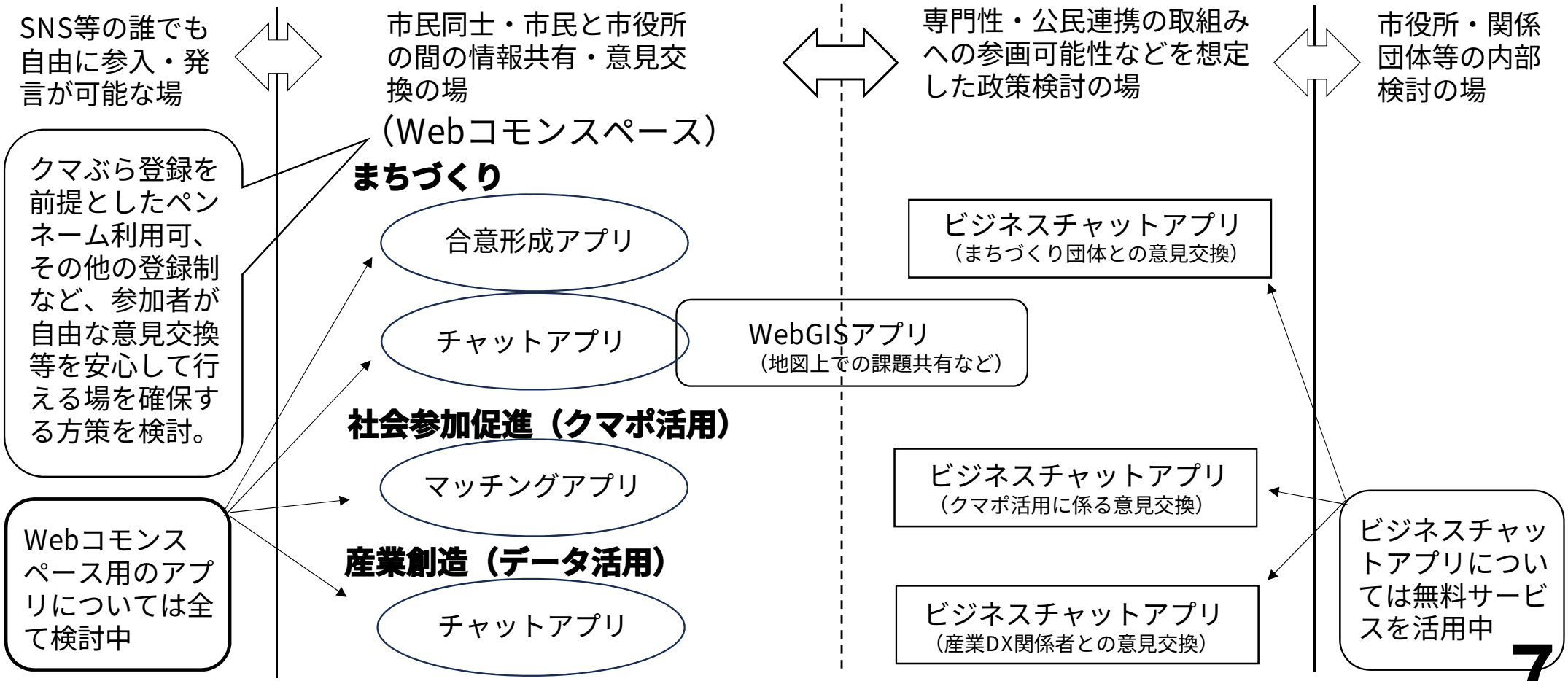
R７年２月１７日
データ活用部会資料



# （参考・旧版）Webコミュニケーションツール等の活用（案）

R〇年〇月〇日
データ活用部会資料

まちづくり、社会参加促進（クマポ活用）、産業創造（データ活用）等の分野における、公民連携や民間主導の取組みを促進するためWeb上の情報共有・意見交換の場（Webコモンスペース）の設定を積極的に検討。



〇熊谷スマートシティにおける
Web共創・情報発信の考え方

〇双方向性システムによる「企画」と
「実行」のループの加速

〇コミュニティラボの取組み

〇（参考）リアルの場での取組み

# 双方向性システムによる「企画」と「実行」のループの加速

**【1】市役所Webサイト：特に注記がなくても市役所が記載内容に責任を持つ範囲**

市役所トップページ

インデックスサイト（or サブサイト）

（※）熊谷市役所においては掲載情報の分類などを工夫したものをインデックスサイト、特にデザインしたものをサブサイトと呼ぶ。（サブサイトは予算要求が必要。）

**（追加システム等があれば）追加システム等と本サイトの関係の解説（本シート相当）**

新着情報（主に以下の情報の追加・更新等）

取組みの基礎となるビジョン・方針等

関連情報

（※）他部署の取組みについても極力リンクを張る。自部署の情報を自動的に優先するのではなく、市役所全体としての構想を市民に知ってもらうことを優先。

WS・シンポジウム等の募集情報や開催記録、報告書等

**（アーカイブ部分）**

**【2】追加システム（SCとしての呼称は「Webコモンスペース」）：市民の意見交換を促す範囲**

【職員による書き込みの取扱い（案）】
（1）市民の意見交換を促すために職員が記入する場合があるが、市役所のサイトに掲載されている内容（【1】）を越える内容は、「個人の意見であり市役所を代表するものではない」取扱いであることを承知の上でご参加いただく。
（2）職員は、政治的目的をもってする政治的行為等の法律上の違反、市役所内で保護すべきと既定されている予算等の情報に触れること、また追加システムへの参加上求められるマナー違反等（原則として規約等に明記されているもの）を行わないように留意して書き込みを行う。

**書き込み内容は大まかに以下の２グループに区別される想定。**
（民主導型はモデレーターの存在が重要となる見込み。）

**【公民連携型】企画・振り返りフェイズ**

ビジョン等に沿って市役所の予算・事務等の関与がなされている取組み（補助を受けて民間が実施している内容を含む）

アーカイブ部分を極力有効に活用。

中間領域（移行中等）

**【民主導型】企画・振り返りフェイズ**

ビジョン等に沿っている内容のうち、市役所の予算・事務等の関与がない取組み
（例）・花活
・ロボコン　等

**公民連携型の実行フェイズ**

**民主導型の実行フェイズ**

# （参考）変化に強い「企画」と「実行」ループの考え方




「 PDCAサイクル」がPlan（計画）に基づいて1周することを前提とした考え方であるのに対し、下図の**「OODAループ」は**、必要に応じて途中で前の段階に戻ってループから再開できるなど自由度が高く**変化に対応しやすい**一方で、その**特性を生かすためには変化をとらえるための観察・分析などを常に怠らない姿勢が必要**とされる考え方です。
「星川将来ビジョン」の編集にあたり、対面に加えてデジタル手法を活用したコミュニケーションを促進し、またデータをまちづくりに活かして、社会の変化に応じたまちづくりを実践していく上では、OODAループの考え方が適するとの判断により、以下のとおり掲載したものです。



〇熊谷スマートシティにおける
Web共創・情報発信の考え方

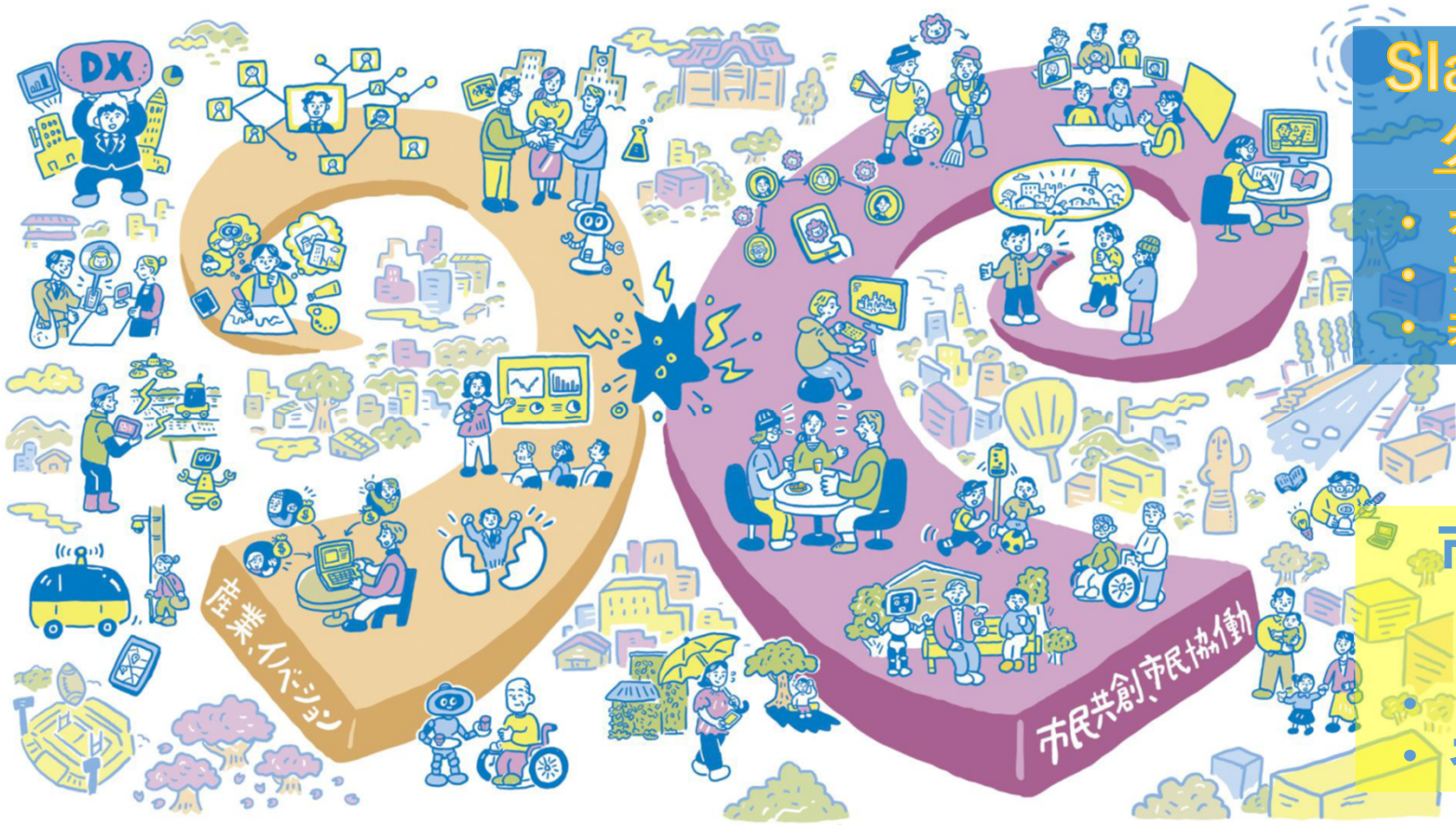
〇双方向性システムによる「企画」
と「実行」のループの加速

**〇コミュニティラボの取組み**

〇（参考）リアルの場での取組み

## 【目指す方向性の共有（公開）】
## 「コミュニティラボ」を核とした産業振興・共創

民間団体と市役所の連携によりウェブ上とリアルの両面で運営




**Slackを活用したクラウドラボ**

- オープンな議論
- データ共有の場
- 共創の加速

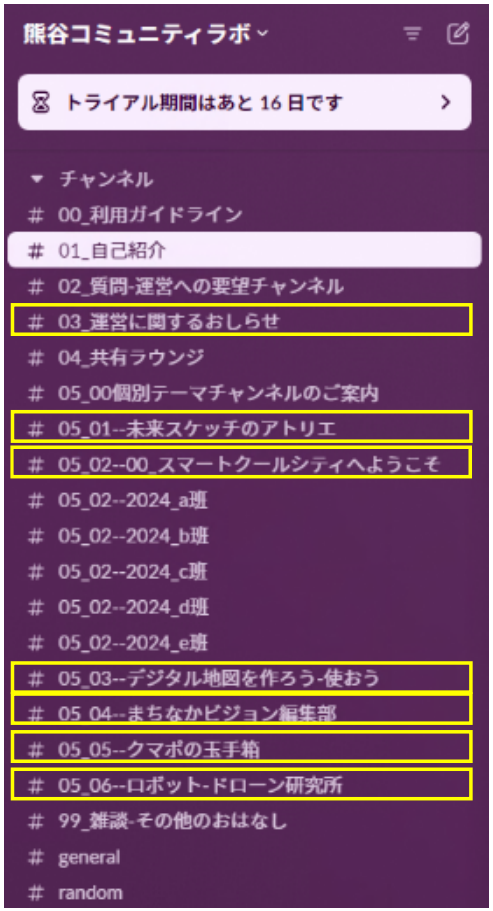
**市内会場でのリアルラボ**

- リアルな会合・体験
- ネットワークづくり

コミュニティラボ コンセプトビジュアル

# （組織運営軸）クラウドラボ（Slack）の構造

## （A階層）熊谷コミュニティラボ

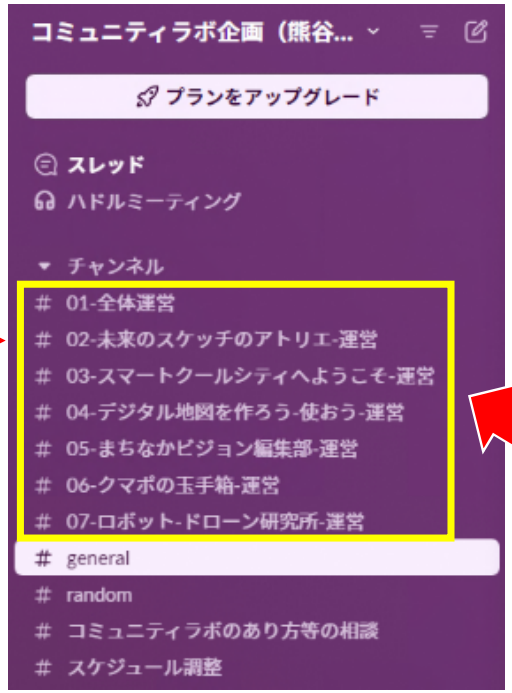



**B階層とリンクするチャンネル**

① 運営に関するお知らせ
② 未来スケッチのアトリエ
③ スマートクールシティへようこそ
④ デジタル地図を作ろう・使おう
⑤ まちなかビジョン編集部
⑥ クマポの玉手箱
⑦ ロボット・ドローン研究所

**どなたでも入れる**

## （B階層）コミュニティラボ企画（熊谷市）




**関係者のみが入れる**

**関係者が各チャンネルに集合して、A階層の同じ名のチャンネル運営などについて話し合う**

## （C階層）個別ワークスペース

**以下のチャンネルに加入している関係者皆様には、以下をお願いします。**

**A階層・B階層のワークスペースにそれぞれご参加いただく。**
- **A階層は匿名でOK**
- **B階層は実名・企業名あり**




**各ワークスペースごとに関係者が個別に話し合う**

## （参考）クラウドラボの各チャンネル主担当課（案）

| | |
|---|---|
| まちづくりビジョン | 商業観光課・都市計画課（まちなか・まちづくりPT） |
| クマポ・プレイス | 市民活動推進課 |
| ドローン・ロボット | 企業活動支援課<br>（詳細は別紙「ドローン・ロボット・インフラ３D画像会議」参照） |
| シーンスケッチ | 政策調査課 |
| スマートクールシティ | 環境政策課（暑さ対策）・政策調査課（システム・データ連携） |
| 市民参画型GIS | 政策調査課（WebGIS全般）・都市計画課（３D都市モデル） |






**クラウドラボへの市役所職員参加に係る留意点（案）**

１．クラウドラボへの参加について

　熊谷スマートシティの一環として公民連携により運営される熊谷コミュニティラボのクラウドラボ（スラック）について、以下①②の目的のために業務上直接担当する以外のチャンネルの閲覧、質問等の書き込み、そのための登録を可能とする。

①　「熊谷スマートシティ宣言」、「熊谷市ＤＸ推進計画」に記載するスマートシティに関する取組み、その他の計画に定められた取組みを庁内連携・公民連携の下で、各システムやデータを有効に連携させつつ進める。

②　「熊谷市デジタル人材育成確保に関する基本方針」及び「熊谷スマートシティスキルカタログ」の実践に必要な知見を得る。

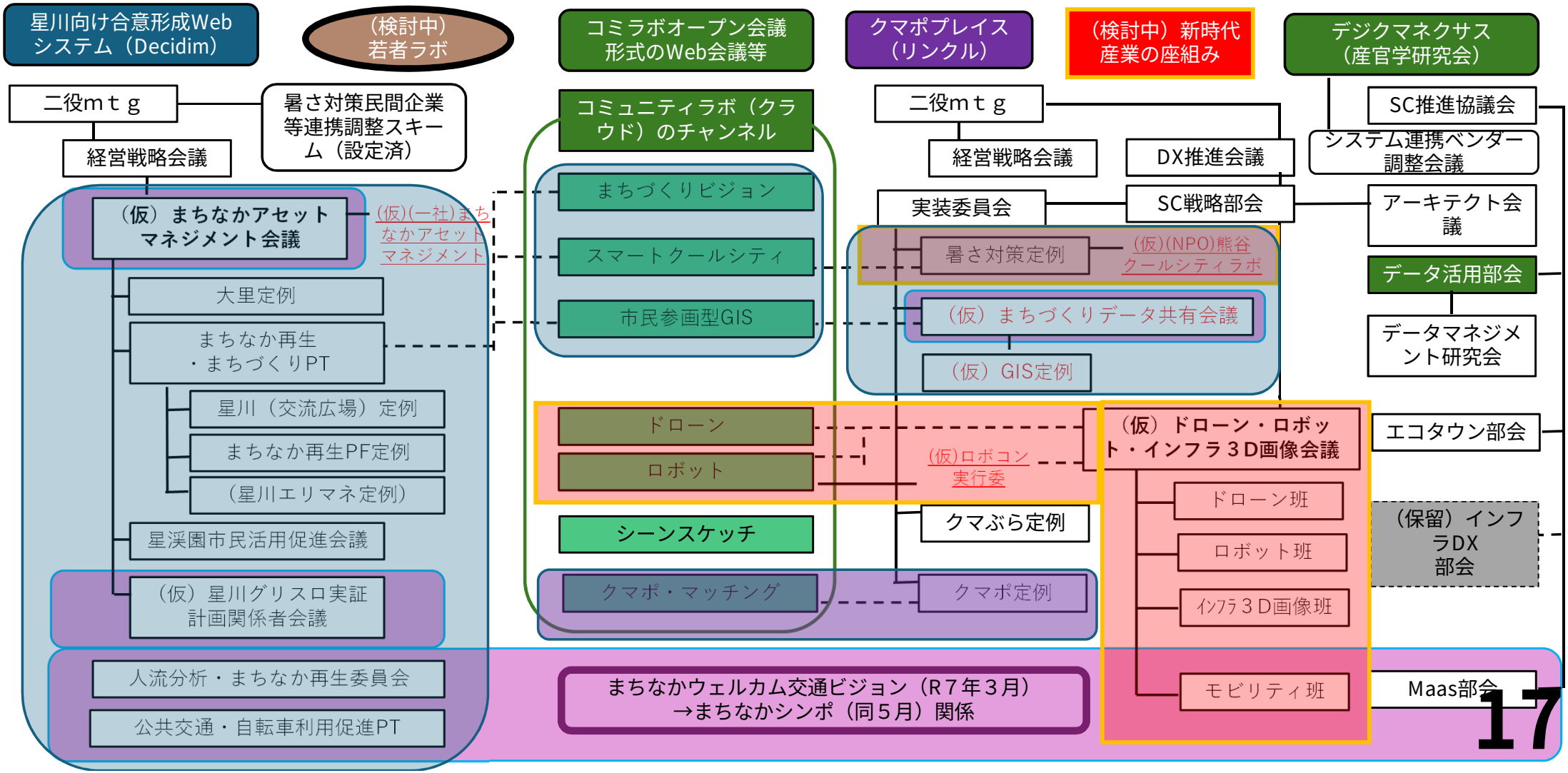
## ２．クラウドラボへの記入に係る情報管理・責任範囲について

（１）職員によるクラウドラボへの書き込みについては、個人情報、予算に係る情報、その他「熊谷市情報セキュリティポリシー」により適切な管理が求められる内容について必要な管理を行うものとする。
（２）職員が記入した情報は「市役所組織を代表するものではない」取扱いとする。（クラウドラボを始めとする各Webコモンスペース（注）の前提として各資料等において明示する。）
（３）クラウドラボ上の応答のみでは市役所組織としての公式の回答、意思表明とならないことを前提に、必要に応じて、市役所Webサイトへの資料等の公開、電子メールでの応答などの別の手段による対応を適切に行う。
（４）併せて、「熊谷コミュニティラボ利用ガイドライン」に留意し、他の参加者への敬意と誠意をもって対応する。
（５）なお、上記（４）に留意しつつ、（２）（３）の主旨に関して説明の上でも「クラウドラボ上では対応しかねる」ことに応じていただけない場合には、政策調査課に連絡のこと。（共同運営主体と対応を検討する。）

（注）「Webコモンスペース」は熊谷スマートシティ推進協議会データ活用部会において、熊谷スマートシティのシステム改善やデータ活用、その他公民連携のまちづくり等に市民等の参画を促すためのWeb上の意見交換の場として用いられた造語。

# （参考）コミュニティ関係の取組と公民連携に関わる会議体等の関係（案）

（凡例） Web等により市民にオープンになる会議（予定）　交通ビジョン、R7年５月クロシンシンポ関係



〇熊谷スマートシティにおける
Web共創・情報発信の考え方

〇双方向性システムによる「企画」
と「実行」のループの加速

〇コミュニティラボの取組み

**〇（参考）リアルの場での取組み**

## 【オープンラウンジ形式の会議とは】

庁内での“閉じた”会議ではなく、庁外のフリースペース（KUMAGAYA PLACEなど）で会議を行うことで、内容を広く市民に公開するもの。

併せてZoomを利用したハイブリッド型の開催も効果的。

## 【オープンラウンジ形式で会議を行う目的】

熊谷市版のリビングラボである「コミュニティラボ」の公開をきっかけとして、職員は、仕事の仕方自体を根本的に変えていく観点（公開できる会議は原則として公開することで、市民とともに政策を進めていくなど）を持つ必要がある。

（主にKUMAGAYA PLACEでの）オープンラウンジ形式の会議のノウハウや課題を庁内で共有・更新していくことで、効率的・効果的な会議の実施につなげていく。

# （参考）オープンラウンジ形式の会議開催記録

**（凡例）**【１】民間関係者ご講演中心の勉強会のオープン化型
【２】 公民連携に係る意見交換のオープン化型
【３】 市役所が主体となっての取組みの紹介型
【４】市役所主催の既存の公式会議のオープン化型

**■開催履歴**

**１０月１日（火）　１５時半～　デジくまネクサス（第三回：クマぶら）**【１】

**１０月２２日（火）　１６時～　グリーンスローモビリティ勉強会①**【３】

**１１月７日（木）　１３時～　データ活用部会（スマートシティ推進協議会）**【４】

**１１月２５日（月）　１５時～　クール×ウォーカブルシティ意見交換**【２】

**１１月２６日（火）　１３時３０分～　グリーンスローモビリティ勉強会②**【３】

**１２月３日（火）　１５時～　デジくまネクサス（第四回：コバトン健康マイレージ）**【１】

**２月６日（木）　１０時～　グリーンスローモビリティ勉強会③**【３】

**２月１４日（金）　１５時～　クマポ・クマポプレイス意見交換**【３】

**２月１７日（月）　１０時１５分～　データ活用部会（スマートシティ推進協議会）**【４】

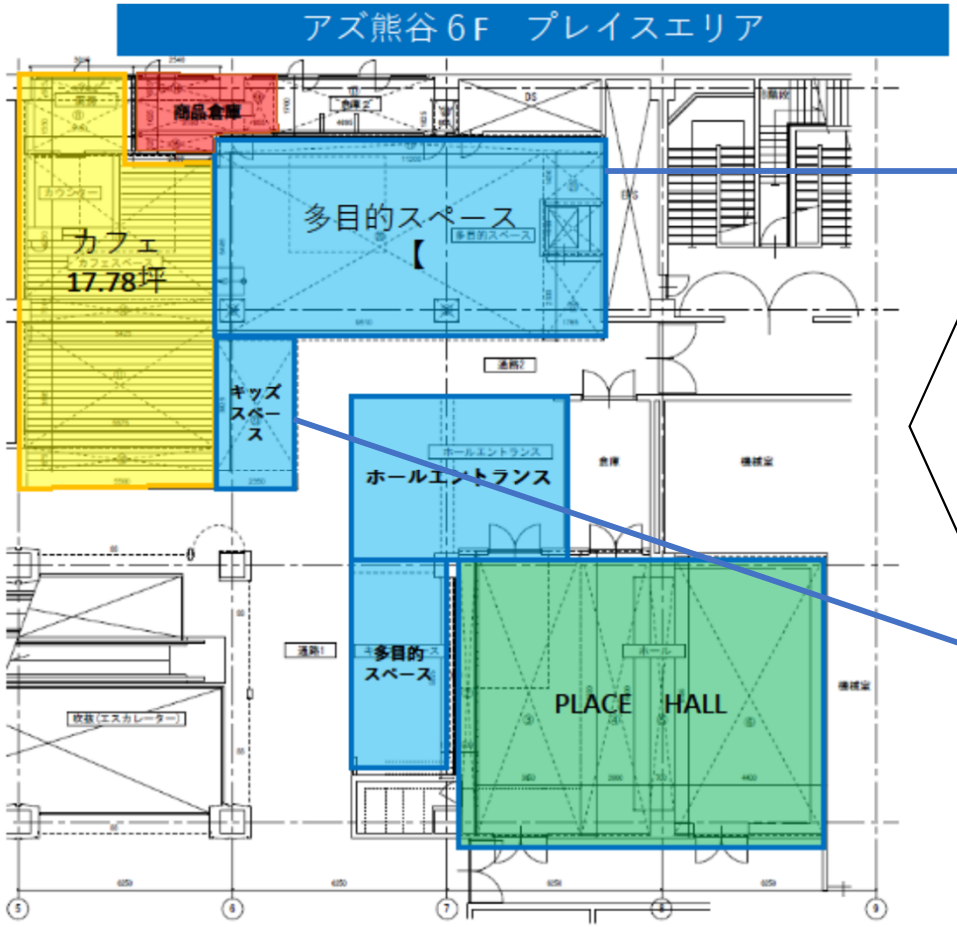
**２月１７日（月）　１４時～　AI画像生成意見交換（シーンスケッチコンテスト関連）**【１】

**■検討中**

**月　　日（　）　　時～　タブローカフェ・公開版**【３】

# （参考）熊谷プレイスにおける会場設営例

（全体配置図）




（設営図）

・凡例

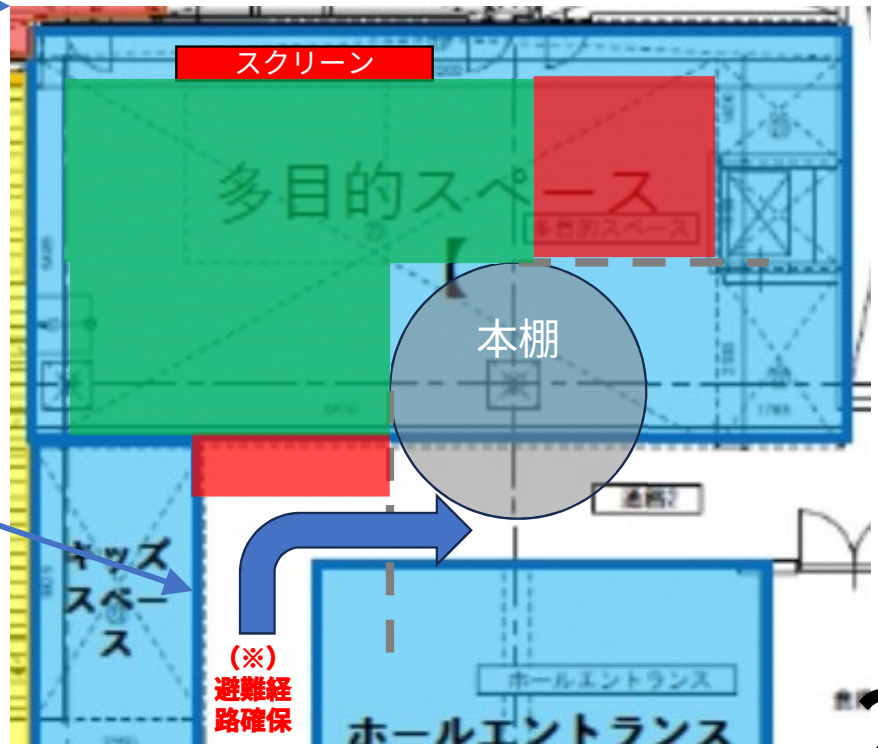
メイン来客ゾーン

来客予備、事務方、講師待機、受付等ゾーン

イメージ図



（※）１０月１日時点ではカフェ用スペースも利用可能



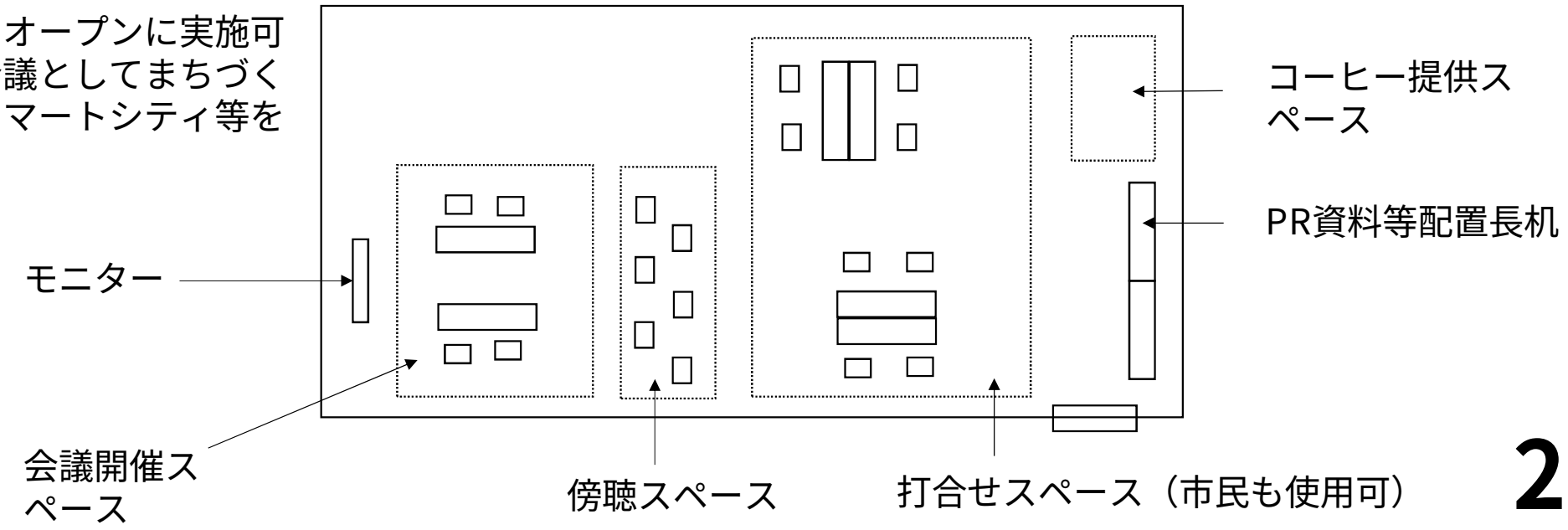
# （参考）R4年度　市役所内オープンラウンジ実験

日時：令和４年１２月５日（月）１３：００～１７：００
　　１２月６日（火）１０：００～１７：００

会場：熊谷市役所本庁舎　６０３東会議室

共用の打合せ空間、ドリンク提供による市民協働・庁内部局間連携の円滑化等の効果を探る機会として、打合せラウンジを２日間限定で設定。
（コーヒーについては、地元カフェとコーヒー豆企業とのコラボによる無料コーヒー提供企画から提供。）

（※）オープンに実施可能な会議としてまちづくり、スマートシティ等を提供



# デジくま×ツノルバ「まちづくりライブラリーワゴン」企画について　２４０１０１

スマートシティ・まちなか再生のこれからについて語る場（移動式を想定）をR7年10月オープン予定の拠点へ。


（イメージ）

（出典）編集工学研究所「ほんのれん」Webサイト　https://honnoren.jp/

【市民共創対話カード】（第一版の一部）




【スマートシティ関連書籍】（イメージ）




【公民連携まちづくり関連書籍】（イメージ）




クラウドラボ・シーンスケッチ・ツノルバ（Dicidim）等と連動し、**移動可能なまちづくりスポット**として機能



## （２階以上）ロボくまロフト

２階以上の旧医院・住居を活用した、生活支援ロボット等の稼働を実証する空間



## （１階）滞在交流拠点

１階は滞在交流拠点がオープン（画像はイメージ）



# 熊谷スマートシティにおける市民共創のための対話カード（第一版）一覧

（注）本カードに用いている画像に関する留意点
・コバトン健康マイレージの画像については、本カードへの使用について埼玉県庁への報告の上で了解を得て用いています。他の目的での使用については、埼玉県庁に直接お問い合わせください。
・その他の画像については、熊谷市役所が業務上作成した画像であり、上記③の目的に沿って印刷・紹介に用いる場合を除き、原則として流用を禁じます。その他の用途での利用については熊谷市役所市長公室政策調査課にお問い合わせください。
・なお、熊谷市役所が業務上作成した画像には、画像生成AIアプリ「Adobe Firefly」を用いて作成したものが含まれます。















# 熊谷スマートシティにおける市民共創のための対話カード（第一版）について

①本カードは、熊谷市の公民連携まちづくりの一環として、スマートシティ構築への市民参加を促進し、市民と行政が共同でデジタルの力を活用したまちづくりに取り組むためのツールとして準備されたものです。

②カードに記載の内容は、熊谷市のスマートシティにおける方針、実装済みあるいは実装予定のシステムやデータなどから成り立っています。（実装予定の内容は、令和６年度予算により実装に着手している内容、あるいは、今後数年のうちの着手を目指す内容として令和６年３月に「ウェルビーイングビジョンマップ」として公表した内容から成ります。）

③本カードは熊谷市におけるスマートシティに関係する意見交換やワークショップで用いることで、、市民や関係団体と市役所のスマートシティ担当者等の情報共有が円滑に行われることを目指して作成しています。そのため、記載内容については熊谷以外のスマートシティでは実装に向けた検討が行われていない熊谷独自の内容等も含まれます。

④本カードに用いている画像に関する留意点
・コバトン健康マイレージの画像については、本カードへの使用について埼玉県庁への報告の上で了解を得て用いています。他の目的での使用については、埼玉県庁に直接お問い合わせください。
・その他の画像については、熊谷市役所が業務上作成した画像であり、上記③の目的に沿って印刷・紹介に用いる場合を除き、原則として流用を禁じます。その他の用途での利用については熊谷市役所市長公室政策調査課にお問い合わせください。
・なお、熊谷市役所が業務上作成した画像には、画像生成AIアプリ「Adobe Firefly」を用いて作成したものが含まれます。

# 【２】（２）
# スマートシティサブサイトの公開について

# 熊谷スマートシティサブサイトとは

・熊谷スマートシティの全体像や取組を分かりやすく周知するため、スマートシティのサブサイトを構築。（3/3公開予定）

■トップページ見出し

・１　熊谷スマートシティとは
・２　サブサイトと追加システムの関係
・３　サービス・取組
・４　公民連携
・５　データ利活用
・６　アーカイブ

PC版イメージ



# 熊谷スマートシティサブサイトとは

スマホ版イメージ




- サブサイトとＷＥＢコモンスペース（コミラボSlackやツノルバ（Decidim）の関係
  - ＷＥＢコモンスペースで市民の方同士がホームページの記載内容を意見交換したり、ＷＥＢコモンスペースで意見交換をした結果をワークショップに活かし、その記録を市のホームページにアーカイブとして掲載するなど、相互に「実行」と「振り返り」を行う好循環を生みだし加速させる狙い。

【市ホームページ】
サブサイト

実行と振り返りの好循環

【WEBコモンスペース】
・コミラボ（Skack）
・ツノルバ（Decidim）

# 【2】（3）
# コミュニティラボの進捗について

# 熊谷コミュニティラボとは

「産業、イノベーション」と「市民共創、市民協働」のために、2024年8月にスタートした公民連携の取組。

市民・企業・団体・学校・市役所がSlackのワークスペースに集い、熊谷の未来や、夢がかなうまちづくりなどについて、自由な雰囲気で語り合うことができる場所として運営しています。コミュニティラボは、市民を始めどなたでも自由に参加できるワークスペースです。

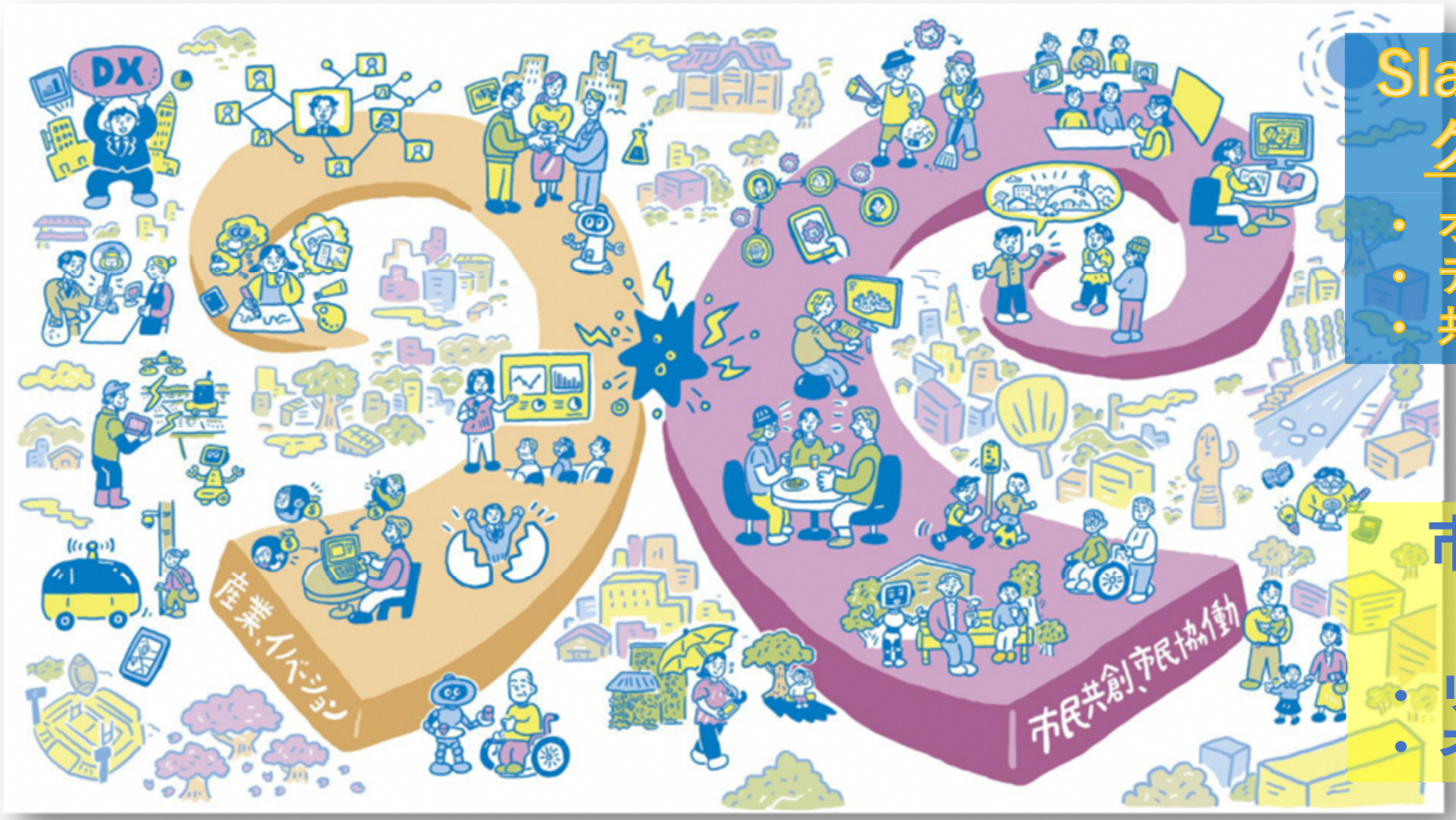
- R7.1.29時点で登録者数92人、チャンネル数6チャンネル。コンテンツの充実と登録者数の増に取り組んでいる。
- 魅力的なコンテンツを充実させるためにも庁内連携で活用策やチャンネル数の追加を検討中。




R6.8.17コミュニティラボキックオフイベント

# 熊谷コミュニティラボ
## 「産業、イノベーション」と「市民共創、市民協働」

民間団体と市役所の連携によりウェブ上とリアルの両面で運営




コミュニティラボ コンセプトビジュアル

**Slackを活用した**
**クラウドラボ**

- オープンな議論
- データ共有の場
- 共創の加速

**市内会場での**
**リアルラボ**

- リアルな会合・体験
- ネットワークづくり

# 熊谷コミュニティラボ（Slack）チャンネル

### 01「未来スケッチのアトリエ」

・シーンスケッチコンテストをサービスの改善や新規サービスの検討につなげることを目指すチャンネル
・「シーンスケッチコンテスト」で描いていただい、未来のまちのアイデアを市の政策に取りこむための意見交換など

### 02「スマートクールシティへようこそ」

・デジタル技術と市民の方のアイディアでまちをクール（涼しく、かっこよく）にする取組「スマートクールシティ」のチャンネル
・「スマートクールシティワークショップ」の各班の検討や参加者同士の交流など

### 05「クマポの玉手箱」

・コミュニティポイント「クマポ」の循環するやさしい未来について話し合い、市民共創・市民参画につなげることを目指すチャンネル
・コミュニティポイント「クマポ」や、クマポを介して「してほしいこと」と「やれること」がつながる「クマポプレイス」の情報交換など

### 03「デジタル地図を作ろう、使おう」

・手元のスマートフォンやタブレットからでもまちづくりへの参画や、皆で作ったデータをもとに熊谷市をより暮らしやすい街にすることを目指すチャンネル
・３Ｄ都市モデルを活用した「高校生まちづくりワークショップ」やデジタル地図の活用事例の紹介など

### 04「まちなかビジョン編集部」

・まちなかが変わっていく様子を知っていただいたり、意見交換やまちづくりの取組に参加いただくことで、まちと関わる方を増やし、愛着を持って住み続けたいまちづくりを目指すチャンネル
・星川周辺エリアをはじめとするまちなかでのリアルなまちづくりや、デジタルでの取組の情報発信など

### 06「ロボット・ドローン研究所」

・ロボット・ドローンの取組を身近に感じ、ロボット・ドローンに関する意見交換や新産業や新サービスにつなげることを目指すチャンネル
・ロボット・ドローンの活用事例や体験会などの情報発信や、他自治体や企業の取組から熊谷市に取り入れられないかなどの検討など

# 優良投稿の定期レポート「コミラボ・ナウ」

**コミュニティラボ（クラウドラボ）への関心を惹起し、参加者の拡大につなげるため、クラウドラボへの優良投稿を毎月とりまとめてレポートにして公開する取組（２月から開始）**

## １　目的

- クラウドラボへの関心を惹起し、参加者の拡大につなげる。
- クラウドラボに登録済みの方でも、別チャンネルの見どころに気づいていただく効果を狙う。
- 優良トピックの目安となり、一部の参加者にはインセンティブとなることも期待される。
- 優良トピックの記録を保持し、外部への説明などに活用する。

## ２　ＰＲ媒体

メイン：**市ＨＰに専用コンテンツを作り、毎月レポートを追加**

サ　ブ：クマぶら、他の公式ＳＮＳ媒体、メルくま新規チャンネル開設等を検討中

テンプレ部分

Kumagaya Community Labo

みんなの楽しい、嬉しい、ためになる書き込みを紹介します

# コミラボ・ナウ

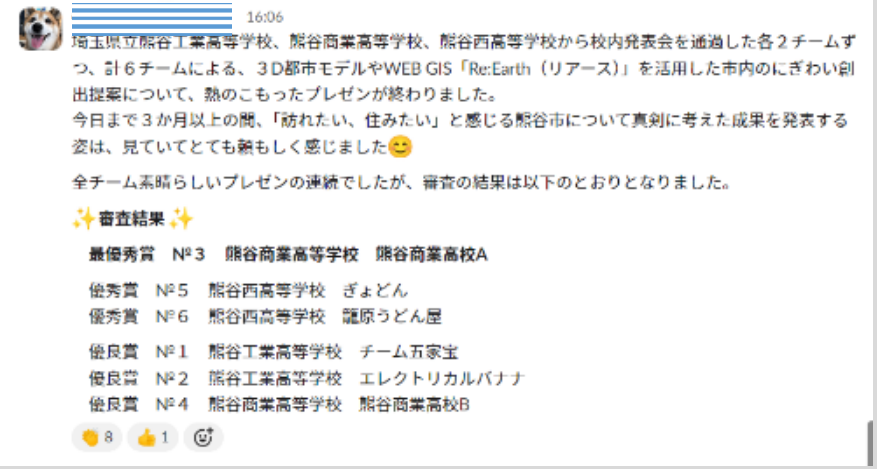
#commulabo_now

2025
01-1

- Chanel　**デジタル地図を作ろう・使おう**
- Post date　2025/1/15
- Posted by　**ジャイアント・パンダ　さん**

毎回更新部分




Comment

**市内高校生が数か月かけて仕上げてきた提案を発表する晴れの舞台のライブ感が伝わる素敵な投稿です。**
**また、結果をどこよりも早く共有してくれたのもありがたい！生徒たちの励みにもなりますね。**

【２】（４）

熊谷スマートシティ実行計画の再更新について

# 熊谷スマートシティ実行計画の再更新について

## １　概要

- 「熊谷スマートシティ実行計画」は令和５年１２月に更新版をリリースしたが、令和５年度中に作成された「ウェルビーイングビジョンマップ」や、スマートシティの各種検討の内容に整合させるため、再更新するもの。
- 総合振興計画（後期基本計画）と整合させるため、計画期間を現在の「令和７年度まで」から、**「令和９年度まで」**とする。

## ２　　更新時期

令和７年２月中を予定

# 熊谷スマートシティ実行計画の再更新について

## 3　主な変更点

### ◆ 取組分野の柱を「3つ」から「5つ」に

**「安心・安全（インフラの維持管理）」、「産業ＤＸ」**の具体的計画を新たに追加。

これまでの重点分野（暑さに対応したまち、モビリティ、スポーツ・健康）に加え、５つの柱となる構成とした。

| 分野 | 追加事項 |
|---|---|
| 安心・安全（インフラの維持管理） | ○交通安全カメラを活用したまちの見守り　○子育て支援・保健拠点施設への児童入退館管理システムの導入　○３Ｄ都市モデル（三次元のデジタル地図）を活用した浸水シミュレーションの防災活用　○橋梁点検のデジタル化 |
| 産業DX | ○産業ＤＸ推進に対する支援（ふるさと納税型クラウドファンディング等）　○デジタル技術を活用した産業創造市民ワークショップ等の取組　○生活支援ロボットやドローンの実証　○スマート農業技術導入の支援・促進 |

# 熊谷スマートシティ実行計画の再更新について

## 3　主な変更点（つづき）

### ◆ 「スマートクールシティ」を横断的なコンセプトに

市民や企業、団体等が、熊谷スマートシティのあらゆる分野、取組等に“ クールに ” 関わることができる環境を目指すもの。公民連携によるスマートシティの定着を図るため新たな概念を取り入れている。

### ◆ コミュニティラボ等の公民連携の取組について計画を強化

公民連携まちづくり推進のための取組である、「コミュニティラボ」や「３ＤＧＩＳプラットフォーム」に関する計画を追加した。デジタル人材育成の項目も含めて、重要要素としている。

（参考）ウェルビーイングビジョン（R6年3月公表）



## パーツ




創意工夫の力を伸ばす
コミュニティラボの取組




子育て支援・保健拠点施設を核とした子育て支援の充実・多様化




暑さのなかでも快適に過ごせる情報の共有




水辺体験空間の創出とミスト・緑陰空間等の配置




多世代のデジタル技術を通じた交流による健康維持・促進




3D 都市モデルの活用による防災シミュレーション等の事前防災







産業振興を目的としたふるさと納税型クラウドファンディングの活用







学びあいプラットフォームによる学習




コミュニティポイントを活用した社会貢献活動、地域課題解決の取組

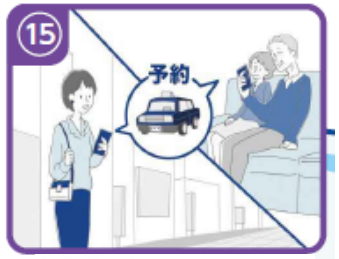






生産者・飲食店・消費者をつなぐ地産地消




ICT を活用した交通機関の利用






【２】（５）
熊谷スマートシティに関するループ図について

# ループ図とは？

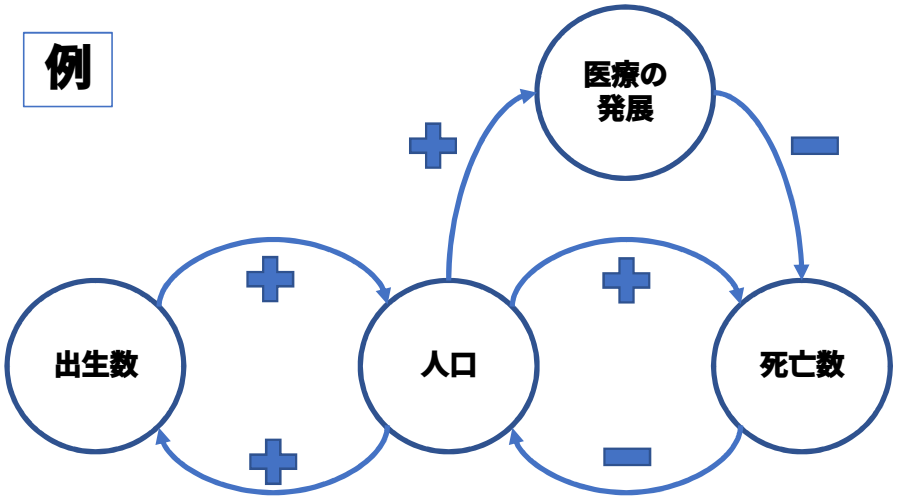
関心のあるシステムの

・主要な要素
・それらに影響を与える要素
・影響を受ける要素

を列挙し、要素間の因果関係を矢印で結びながら、要素間の相互作用（フィードバック）の構造を図式化するためのツール

出典：チェンジ・エージェント「システム思考」https://www.change-agent.jp/systemsthinking/tools/causal_loop_diagram.html

例




熊谷スマートシティに関する仮説や試行の
スピードアップに資することを前提に、

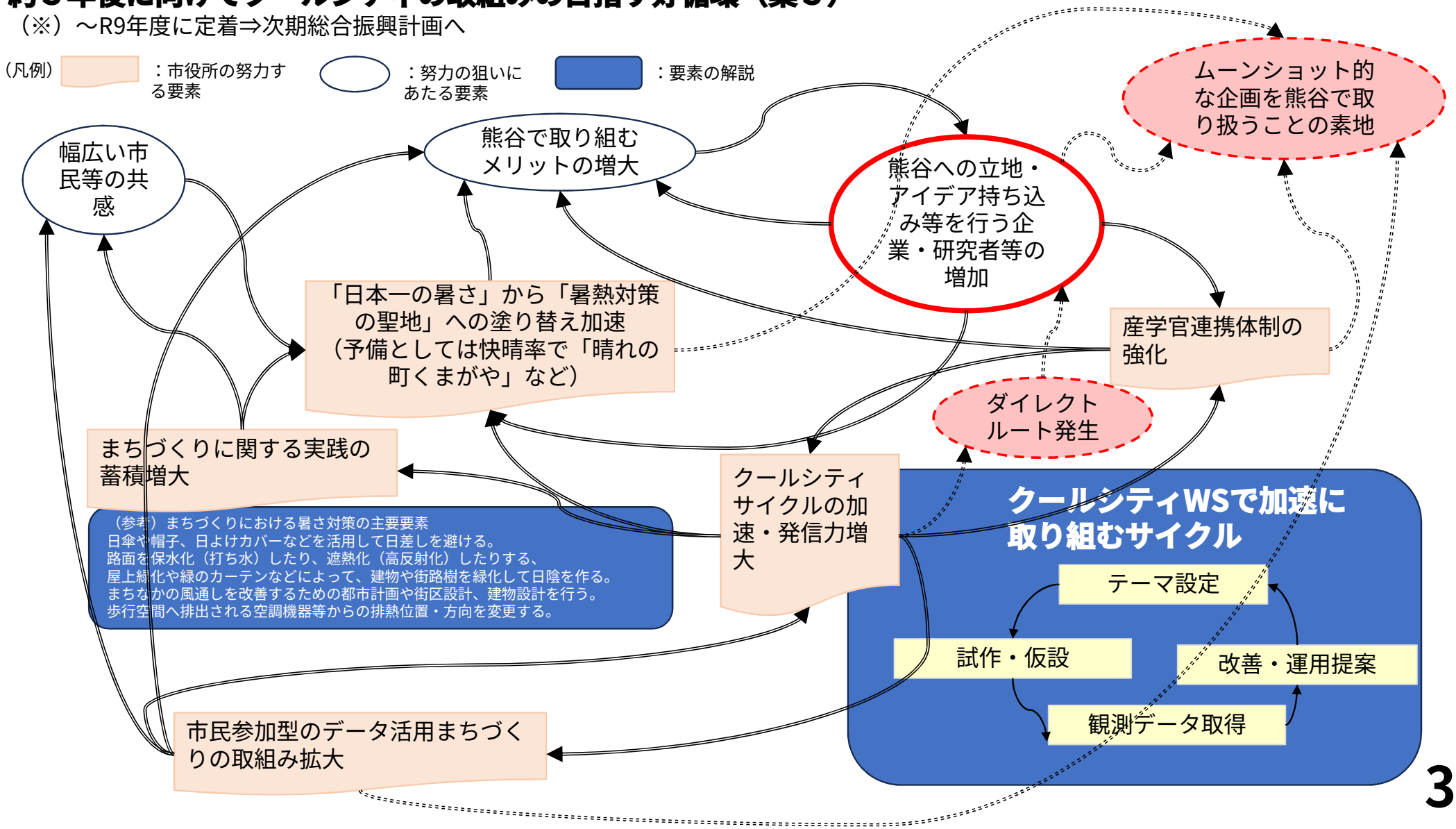
・施策に関する施行のヒント（短期的）
・好循環を定着させる仕組みづくり（長期的）

これらのテーマへの活用を想定しています。

参考文献：平井孝志「本質思考」東洋経済新報社 2015年

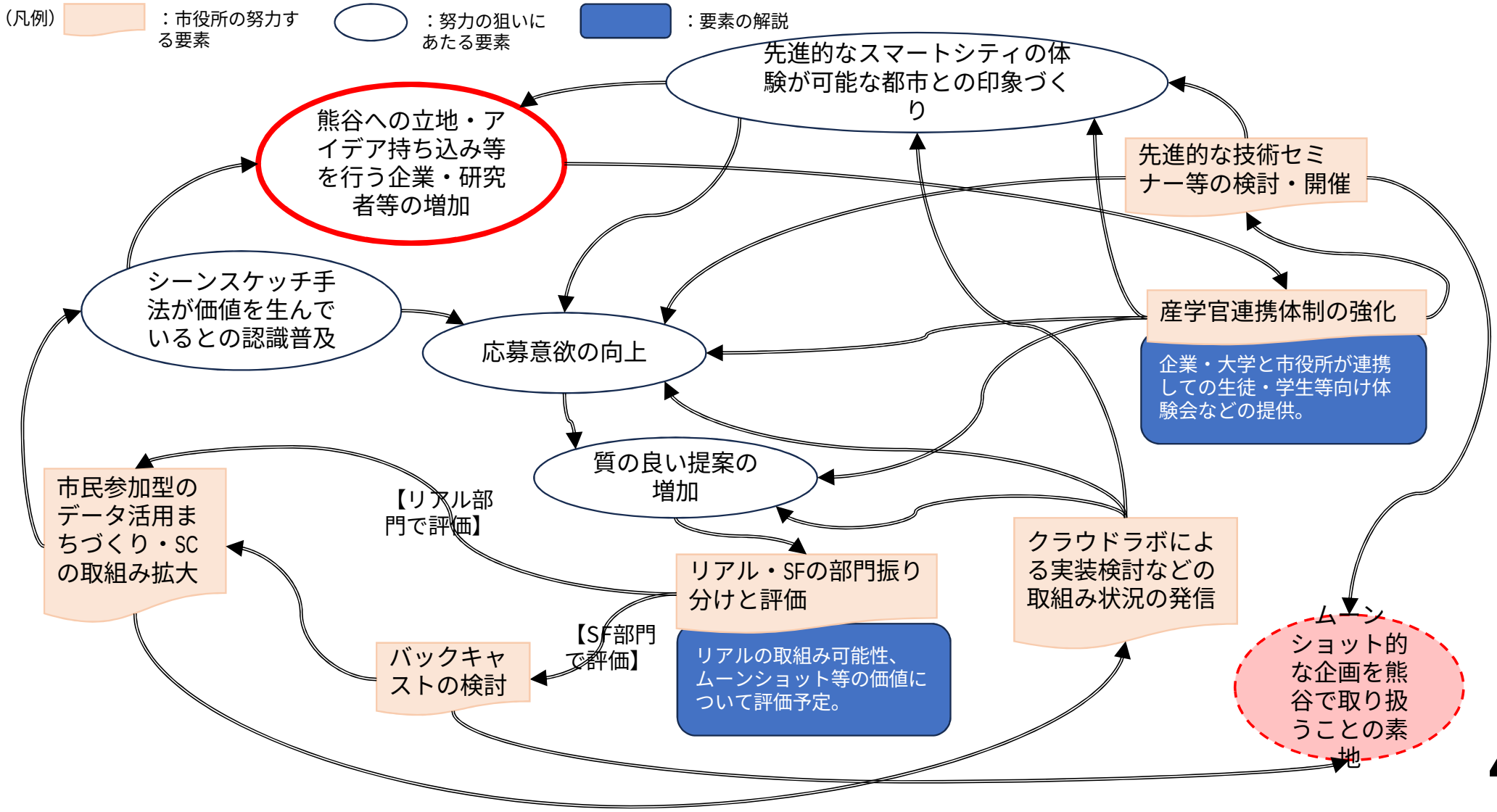
# 約３年後に向けてクールシティの取組みの目指す好循環（案３）

（※）～R9年度に定着⇒次期総合振興計画へ



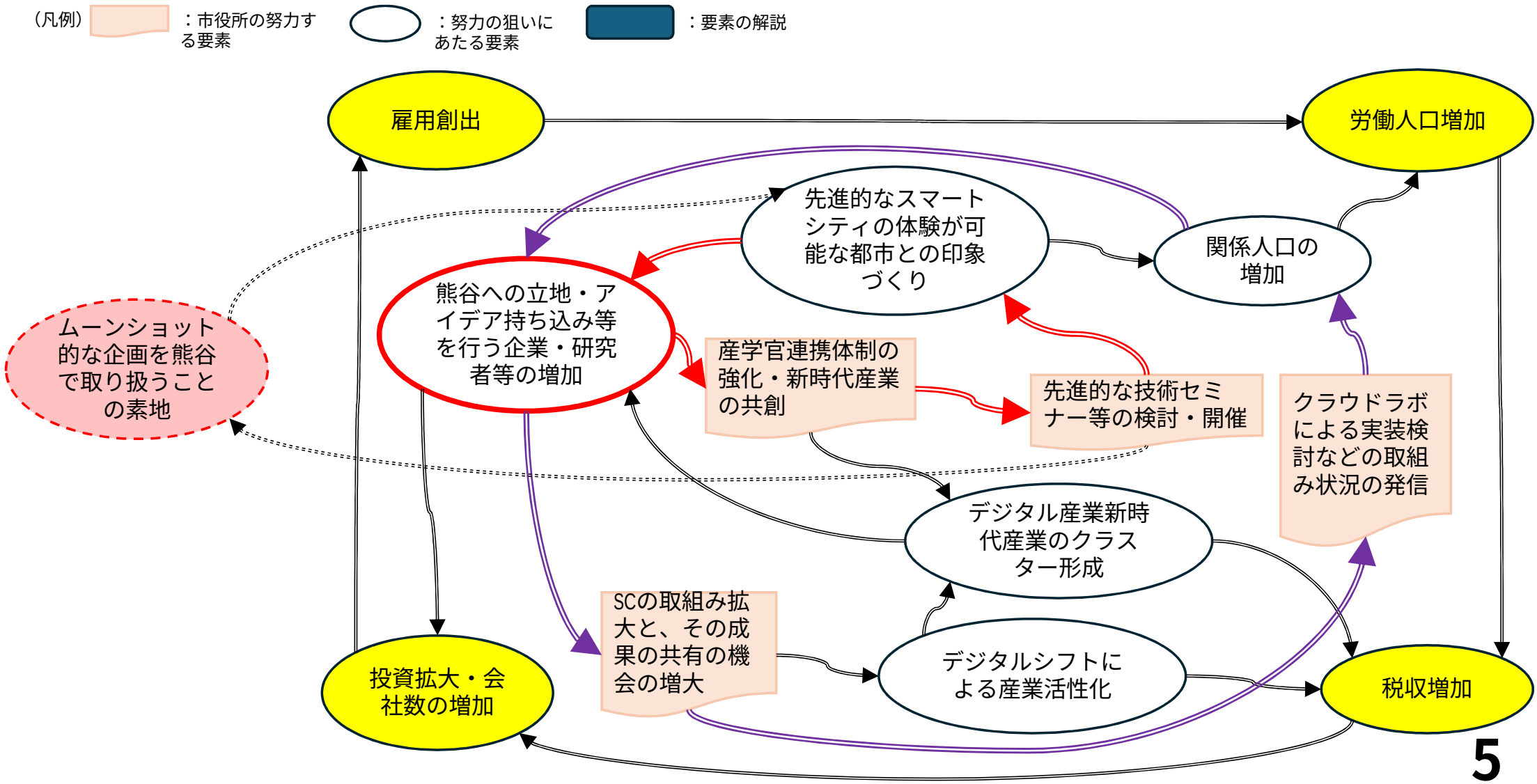
# R7年度～９年度に向けてシーンスケッチの取組みの目指す好循環（案３）

（※）～R9年度に定着⇒次期総合振興計画へ



# 今後５～１０年の間にスマートシティが経済・人口に効果をもたらすシステム（案３）

（※）～R9年度に定着⇒次期総合振興計画へ



# 250129_熊谷SCループ図マニュアル（Ver1.0）

（注）現在の熊谷SCで試みようとしている、**「仮説や試行の回転ペースを上げることが、庁内連携・公民連携のマインドセットや経験を積むことに繋がり、熊谷市が持続的に栄えるための新時代産業や課題解決型コミュニティの共創につながる」**というバトル・ドクトリンでの指揮官（課長・副参事等）に必要な武器としてのシステム思考は、以下であると考えます。

・仮説や試行のスピードを上げる、という熊谷SCの目指すマインドセットに貢献しない形でのループ図の運用は、当面は市役所職員の主目的としない。
・最初のテーマは基本的には以下①②のいずれかで設定する。
　①比較的短期の検討の例「〇〇の期間での◯◯に関する試行のヒントとするため。」
　②比較的長期の検討の例「〇〇の期間での◯◯に関する好循環を定着させる仕組みづくりのため。」
・「◯◯」は、以下【想定する分量等】の範囲にワークの内容を収めるために、作業途中で追記・修正してもよい。
・以下【想定する分量等】の範囲にワークの内容を収めるための絞りこみの中で、以下の①～③の要素が漏れる場合には、その旨のメモをループ図に添える。
　①仮説や試行を加速しつつ庁内連携や公民連携のマインドセットや経験を確保する方針や、それが新時代産業や課題解決型コミュニティの共創につながるという考え方とは異なる視点が必要。
　②戦略・戦術に当たるものとして、熊谷市が、目的、ビジョン、実践方針、計画、事業と各段階について整理している内容への追加・修正が必要。
　③他のループ図などでの検討に用いることが考えられる、要素やループ
・【想定する分量等①】約20要素以上を一つの図に入れこむ必要はない。約10要素等ほどでも、テーマ設定や、表現したい内容のすり合わせ等により、十分に価値のある検討は行える。
・ 【想定する分量等②】最長でも一時間半分で一旦書き終える。短期的には試行のヒントとするため、長期的には好循環を定着させる仕組みづくりなどを議論することが目的であり、ループ図そのもの完成を目指すためにそのどちらもなされないまま時間が過ぎることが一番の損失。
・ 要素同士の関係は、極力、正の相関として記載する。（課題解決策が過剰に投入されて別の問題を起こさないための調整機能などの表現のために負の相関の記入が必要な場合はあるが、基本的には好循環を描き、試行や仕組みづくりの検討に取り組む。）
・基本的にデジタルで作成する。現段階の我々は一つの正解を目指して、ジグソーパズルを問いているのではなく、レゴで未来を築こうとしているので、レゴブロックとして（要素の関係やループのコピーを）流用し、様々な組み合わせが試せることに価値を置く。
・短期ものは、次の仮説や試行のヒントになるループがひとつでも得られれば、図として整える必要はない。（ブラッシュアップを図るために清書を試みてもよいが、それが仮説や試行を遅らせるなら避けるべき。）
・長期や長射程のものは、好循環を定着させる仕組みなどにおいて大事なループや要素が分かりやすいように整える。（その図を発射台に次の検討や仲間探しを行い、ブラッシュアップを図ることを想定する。）

【２】（６）

R7シーンスケッチコンテストに向けた検討について

（審査プロセスの見直しやクールシティWS等へのつながりなど）

# R7シーンスケッチコンテストに向けた検討

- R6年度は応募数を稼いで質の良いものが含まれるように取り組んだが成果が出なかった。

- R7年度は「応募数は少なくても、質の良いものが含まれるように取り組む。
- これにより、R6年度の意見集約型の審査から、審査プロセスを見直す必要がある。

# シーンスケッチコンテストとクールシティWSの接続（案）

参考資料

（案）未来の熊谷の絵を募集する
・WSを想定したものを例示する
・しばりのないSFのものも応募可

**【シーンスケッチコンテスト（R7年度案）】**

（１）募集　以下の２部門での応募を受付
・人の創造力部門（ＡＩを用いないＣＧ可）」
・ＡＩ画像生成部門

（２）評価　以下の２種類の賞を決定
（どちらで評価するかは審査員・市役所側で設定）
・リアル賞
・ＳＦ賞

（※）「数年後の実現について検討する対象」を評価（ウェルビーイングビジョンと同等の扱い）

**【クールシティWS（R８年度案）】**

①改造・改良・新サービス部門　←WSの中で商品改善に取り組んでいただく企業に中心になっていただくパート
（企業・団体の協力を求め、企業・団体が確保できなければ開催しない。）

②まちづくり連動部門　←まちづくり関係者と現場視察、WSを行い実現可能な内容検討していただくパート

**①暑さ対策に関する内容**

**②それ以外の内容**

**【クラウドラボでの実装可能性の意見交換】**

**【アーキテクト会議のアジェンダ】**
**→「未来スケッチ促進」**

①AI画像生成方法普及策　○

②熊谷SCで取組み中の内容の理解促進策　○

②より幅の広い内容・熊谷SCの将来の幅を広げてくれそうな内容の提案促進策　○

| | | 応募の受付（描画手法別） | |
|---|---|---|---|
| | | 人の創造力部門 | ＡＩ画像生成部門 |
| 賞の評価 | リアル賞 | | |
| | SF賞 | | |

# 掘り起こしタイプに応じた働きかけの整理（案）

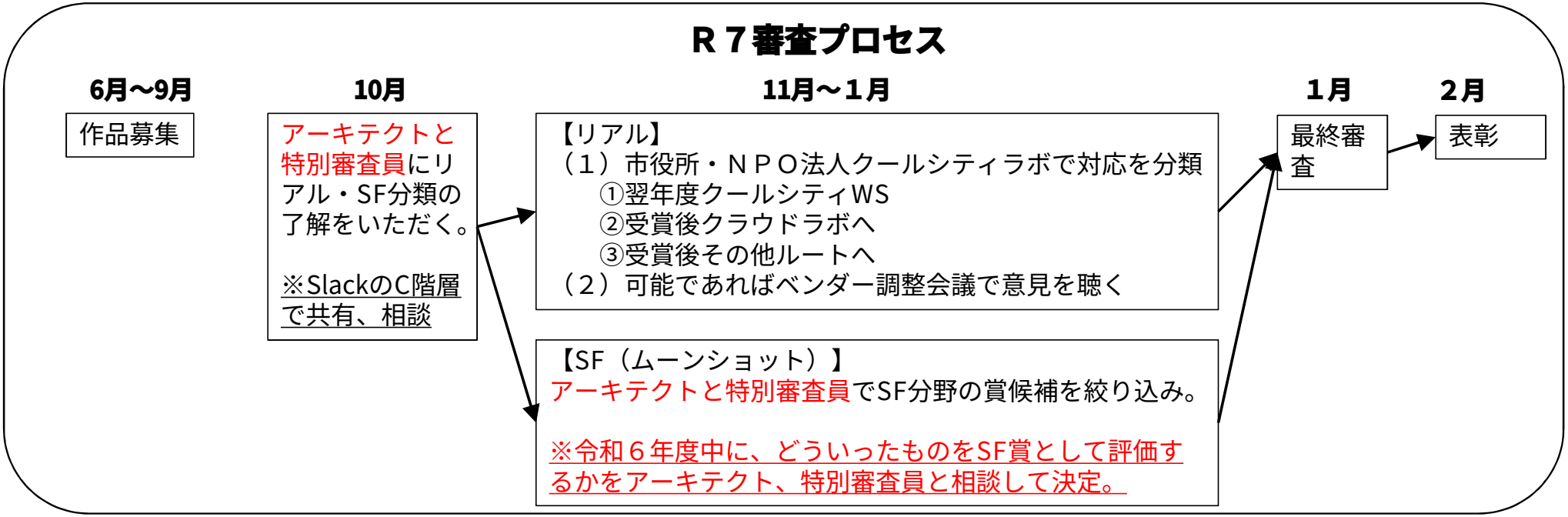
250120

| 取組みやすさ、品質保証に関する取組み | ①SCの現状・予定などが分かりやすい。 | ②現状に囚われず未来を考えやすい。 | ③AI生成等によりビジュアルを作成しやすい。 | ④受賞が嬉しい。（名誉・検討の先がある等） | ⑤受賞が嬉しい。（賞品等） | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学校パソコン部 | パソコン部向け出前講座 | （仮）中学生等向けミニ動画発信 | AI画像生成情報の発信 | 先があることの周知 ＋ クラウドラボ等～ | （参加賞）デジタル壁紙 | 校長会での説明 |
| (中学生一般) | ふれあい講演会講演 | | | | | |
| 小学生プログラミング教室生 | | （仮）中学生等向けミニ動画発信 | AI画像生成情報の発信 | | （参加賞）デジタル壁紙＋ノート等 | 校長会での説明 |
| （小学生一般） | | | | | | |
| アルス学生 | Webサイトによる発信 ＋ クラウドラボ等の場への参加促進 | | AI画像生成情報の発信 ＋ ３D画像作成情報の発信 | 先があることの周知 ＋ クラウドラボ等の場への参加促進 | （参加賞）デジタル壁紙<br>（注）デジタル壁紙は親御さんのスマホに貼っていただける可能性も念頭に発行。 | |
| ものつくり大学学生 | | | | | | |
| 立正大学学生 | | | | | | |
| （高校生一般） | | （仮）中学生等向けミニ動画発信 | | | | |
| （参考）高校生リアース関係者 | | | ３D画像作成情報の発信 | | | |

R7.1.17

# R7シーンスケッチコンテスト　審査プロセスの見直し（案）

〇R6年度は応募数を稼いで質の良いものが含まれるように取り組んだが成果が出なかったことから、R7年度は「応募数は少なくても、質の良いものが含まれるように取り組む。これにより、R6年度の意見集約型の審査から、審査プロセスを見直す必要がある。




（参考）R6審査の流れ（意見集約型の審査）
・一次審査（事務局審査、数の絞り込み）
・二次審査（WEB投票　→持ち点に換算）
・三次審査（アーキテクト及び特別審査員審査　→持ち点に換算）
・最終審査（市と共催団体で決定）

【２】（７）
市内中学校への熊谷スマートシティの案内について

# 市内中学校への熊谷スマートシティ（シーンスケッチコンテスト）の案内

2025.2月　熊谷市政策調査課



KUMAGAYA SMARTCITY

# 訪問の目的、訪問先

- 次代を担う中学生に、熊谷スマートシティ（シーンスケッチコンテスト）の理解を深め、自分事として関われることを知ってもらう。
- 中でも、ロボットやＡＩ画像生成などに興味関心が高いと思われるパソコン部の生徒へ説明。

- 2/5（水）大原中（パソコン部　14名）
- 2/6（木）玉井中（パソコン部　22名）





# おすすめの取組




画像生成ＡＩで作った作品

自分の思いが未来のまちをつくる

## シーンスケッチコンテスト

市ホームページ
Ｒ5，6年度の受賞作品、
応募作品が見られます

熊谷市の立体地図が見られる、使える

## デジタル地図ツール

市ホームページ

画像生成ＡＩの使い方を知ってシーンスケッチコンテストへ応募しよう

## ＡＩ画像生成活用講座

（裏面チラシ参照、資料は後日市のホームページで公開します。）




画像生成ＡＩの使い方を知ろう！
後日資料を市のホームページで公開します。




令和７年度は、画像生成ＡＩ部門を
作って、作品を募集します。

①

熊谷市役所が進めている「スマートシティ」とは、いったいどんな街なんですか？

簡単に要約すると「テクノロジーを用いた先端技術によってさまざまな課題を解決したり、経済を活性化させたりすることで、人々の生活がより快適になる街」だと考えて下さい。



②

どうして中学校に？

皆さんの１０年後の未来が、楽しみなものであるように、そして、大人がそのために楽しく知恵を絞れる熊谷市でありたい、と考えるためです。
社会の変化が激しく、皆さんが社会に出る時代は、私たちにも想像がつきません。ですので、望ましい未来を皆さんと考えていきたいと思います。



③

パソコン部の取組みと関係ありますか？

はい。スマートシティでは、人の行動から気象の変化まで、様々なものをデータ化して取り扱い、また、Web上で人と人がつながることで、生活を便利にすることが基本となります。そのデータやWebの取扱いの基本となる考え方は、皆さんがパソコンで扱っているプログラムと同じものです。



④

何をしてくれるの？

大人の側で考えていることはありますが、
中学生の皆さんのご意見を聴きたいです。

〇皆さんが関心のあるスマートシティの部品について、部活で解説する出前講座
〇「こんなものが出きたらいいな」ということを表現しやすくするAI画像生成の活用のお手伝い



⑤

スマートシティの部品って何？

スマートシティは様々なシステム（データを集めるセンサー、データを処理するプログラム、パソコンやスマートフォンの画面に表示するプログラムなど）で成り立っています。
例として、熊谷市が夏にまちなかの暑い場所を情報提供しているシステムなどは関心を持ってもらえないかと考えています。



⑥

どんな部品があるか良く分からない。。。

皆さんにスマートシティを紹介する最初の入口として、一枚毎にキーワードとイラストを入れこんだ「スマートシティ対話カード」を用意しています。よろしければ、これをめくりながら、リクエストの内容を考えていただければと思います。
（AI画像生成のキーワードを考える際のヒントにも使えると思います。）



⑦

AI生成画像って何？

近年急速に発展してきた技術です。キーワードを元にAI（人口知能）が画像を生成してくれる機能で、一定の範囲で無料で提供されているサービスもあります。
「こんなものができたら」という想像は言葉だけでなく絵もあった方が伝わりやすいのですが、そのハードルが、これまでに比べて格段に低くなっています。



⑧

AI画像生成のやり方も教われるの？

作り方講座の準備を始めています。今月末には、参考資料を市役所のＷｅｂサイトに掲載する予定です。難しい言葉などは、皆さんのご意見をいただき、分かりやすくしていく予定です。
７月には、熊谷市の未来について、ＡＩで生成した画像で応募できるコンテスト（シーンスケッチコンテスト）も予定しており、ぜひ皆様に応募してください。



⑨

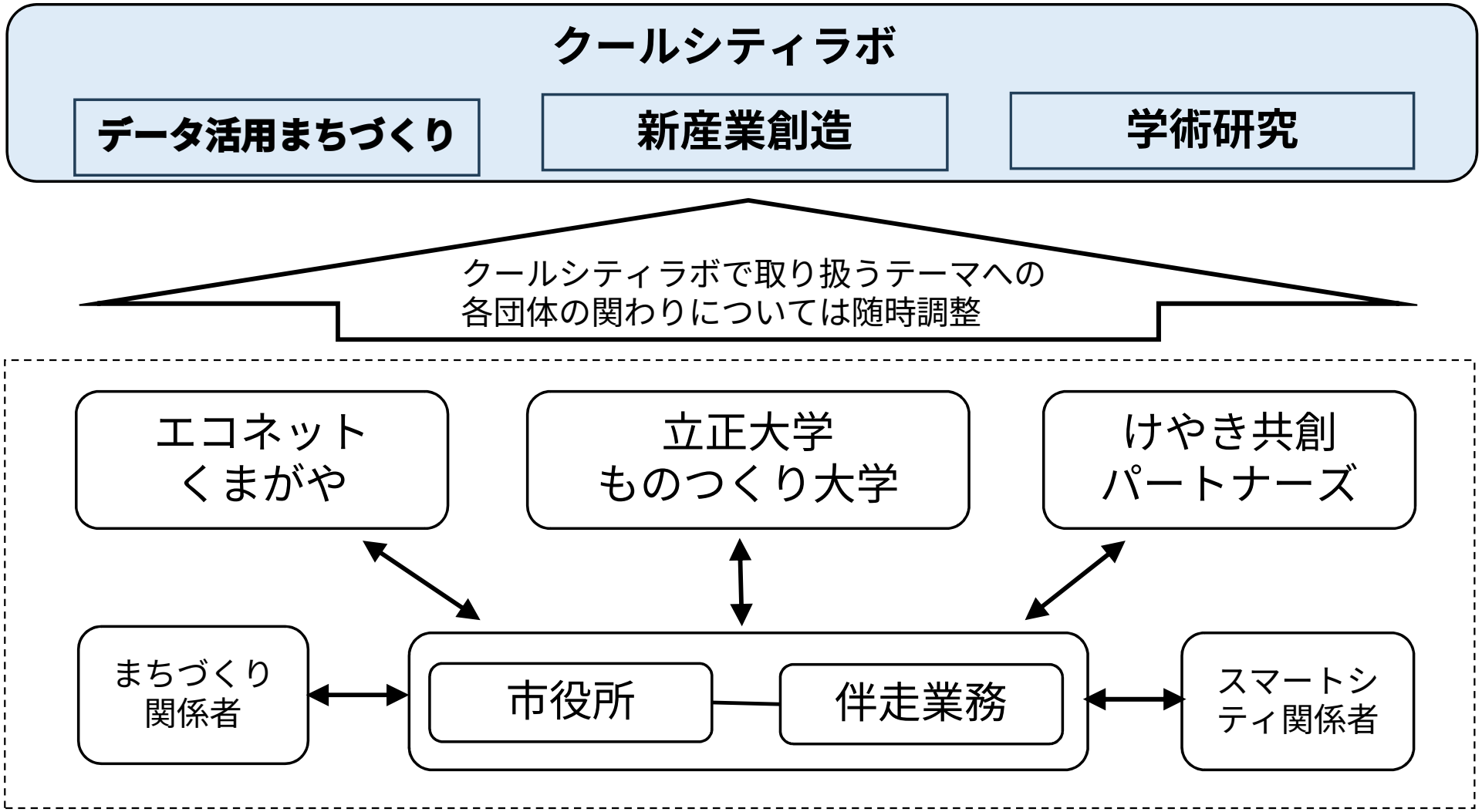
シーンスケッチコンテストは誰でも応募できるの？

誰でも応募できます。いただいた画像は、専門家を交えて、数年内の実現の可能性を検討する「リアル部門」と、例えば未来のために熊谷市が掲げる「SF部門」の両方で評価されますので、自由に想像を拡げてみてください。
もちろん、賞品・参加賞も用意していますので、ぜひ応募を考えてください。



【２】（８）
NPO法人クールシティラボについて

# NPO法人クールシティラボについて（１月申請、３月登記予定）



# NPO法人設立趣旨、具体的役割

■設立趣旨（定款記載事項）

　この法人は、まちづくりにおいて、気象データを含む各種データの活用、デジタル技術や各種の技術とコミュニティの力を組み合わせる手法を熊谷市民・市内外の研究機関や企業、行政機関等と共有し、気温上昇を含む様々な気象変動の中でも住民が安心して都市生活を送ることができる社会の実現に寄与することを目的とする。

■具体的役割

・クールシティに関する熊谷市の取組への伴走（市役所職員が役員となる予定のため、市役所からの業務委託は想定しない。）

・観測手法、GIS等デジタルデータの蓄積・提供

・まちづくりに繋げるノウハウの蓄積・提供、他都市との情報交換

# NPO法人活動分野、事業の種類

※定款記載事項
※【青字】は想定する活動

■活動分野　※20分野から選択

① 社会教育の推進を図る活動
② まちづくりの推進を図る活動
③ 観光の振興を図る活動
④ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
⑤ 環境の保全を図る活動
⑥ 子どもの健全育成を図る活動
⑦ 情報化社会の発展を図る活動
⑧ 科学技術の振興を図る活動
⑨ 経済活動の活性化を図る活動
⑩ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

■事業の種類

①社会教育の推進に係る事業**【ワークショップ】**
②まちづくりの推進に係る事業**【公民連携まちづくり】**
③観光の振興に係る事業**【取組みの発信による視察等誘致、関係人口の増加】**
④学術、文化、芸術又はスポーツの振興に係る事業**【大学や民間団体との連携、シーンスケッチ】**
⑤ 暑さに関する環境保全事業**【暑さ対策】**
⑥ 青少年健全育成のための学習活動事業【**ワークショップ、シーンスケッチ】**
⑦ スマートシティの推進に関する活動事業**【スマートシティ】**
⑧科学技術、先端技術の実証実験や振興に係る事業**【データ蓄積、データ活用、観測手法】**
⑨先駆的な社会貢献ビジネスとしての打ち出し、創業等に向けた活動、産業化・起業化などの経済活動の活性化に係る事業**【産業、起業】**
⑩協力団体及び関係団体のネットワーク化の支援及び他都市への横展開に係る事業

# クールシティの事業化・産業展開

「その都市に暮らしたい！」という思い

・エネルギー
・環境対策



居心地が良く
歩きたくなる
まちなかづくり

熊谷市では
デジタルの力で「安心」を提供し気温コンパチブルなまちづくりを実現する手法の
他都市への提供事業に取り組んでいきます

【３】（１）
ディシディィム勉強会について

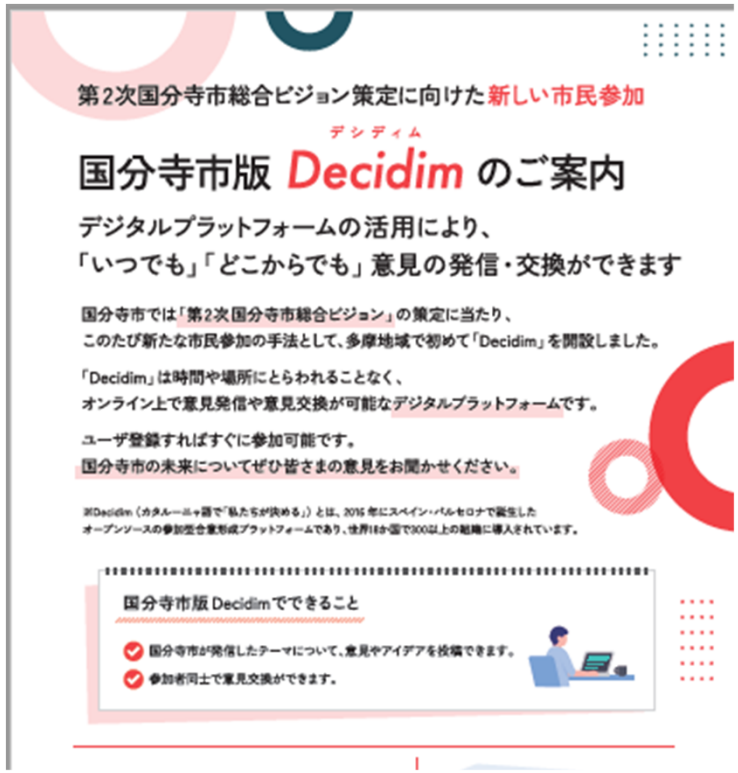
# 熊谷市版Decidim「ツノルバ」

## 参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」とは？

Decidimはスペイン バルセロナ発祥の「市民参加のためのデジタルプラットフォーム」です。
オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を有している参加型民主主義プロジェクトのためのオンラインツールです。
皆様の意見やアイデアに対し、フィードバックを行え、徐々に議論を活性化させていくことができるものとなっています。



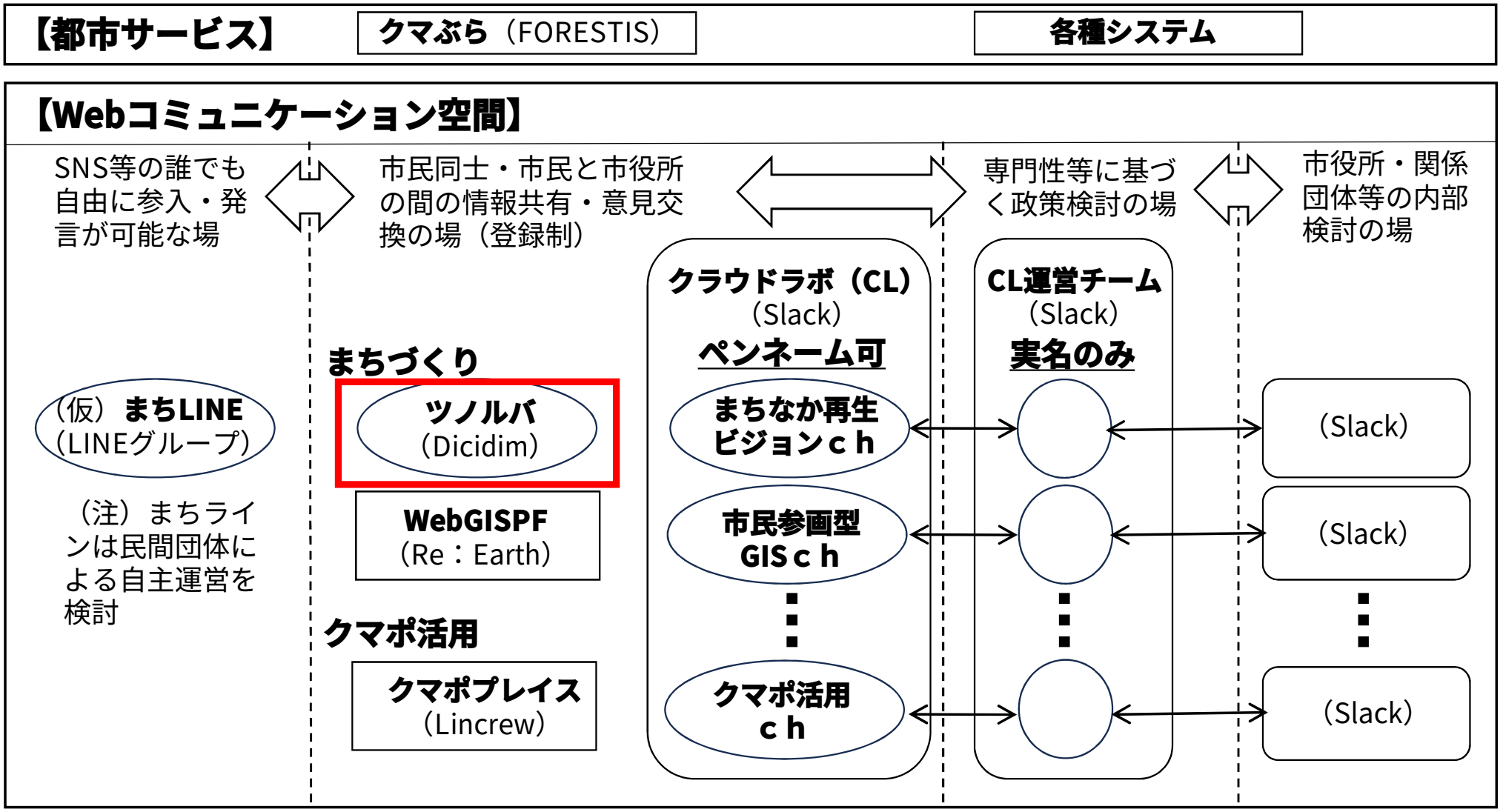

加古川市




国分寺市

# （更新版）Webコミュニケーションツール等の活用について（案）

R７年２月１７日
データ活用部会資料



# （参考）兵庫県加古川市の事例

https://kakogawa.diycities.jp/?locale=ja

## 参加することではじめるまちづくり

Decidim（デシディム）は、市民などが意見やアイデアを寄せ、議論し、政策に結びつけていくためにスペイン・バルセロナで生まれたツールです。
加古川市はスマートシティを市民の皆さんと作るため、全国で初めて Decidim を導入しました。
ユーザ登録すれば誰でも参加できます。市民の皆さん、事業者の皆さん、行政でアイデアを出し合って、よりよいまちをつくりましょう。




加古川市版Decidim は、みなさんの声を実際の政策に反映させるデジタル・プラットフォームです。

ここで誰もがきもちよく過ごせるよう、ルールを決めています。

- アイデアを出し合う場です。誰かのアイデアには「いいね」や「こうしたらもっとよくなるよ」と前向きな意見をしましょう！
- 安心して話してもらえるようにしています。登録には名前が必要ですが公開されません。ニックネームで投稿できます。
- 投稿の前に、「問題ないかな？」と、念のための確認をお薦めします。

※よりよいルールのアイデアも随時募集しています。どしどしご意見をお寄せください。

## 意見募集

### エリアA（駅南出口～ベルデモール）

加古川市政策企画課スマートシティ推進担当　2023/09/08 20:06

A区域において、イマからできる居心地の良い空間づくりのアイデアを募集します。

●A区域

商業施設までのメイン動線エリア、店舗がある。スペースは広い一方でモニュメント等の設置物も多くあるエリア

34.767150056422686, 134.8390847090817




## 市民からの投稿

加古川市政策企画課スマートシティ推進担当　2023/09/08 20:25

広場には芝生、屋根を設置し、日陰や雨をしのげる場所にする。
※「2040年の加古川駅周辺を考える若者ワークショップ」で出されたアイデア
https://kakogawa.diycities.jp/processes/Env/f/409/posts/508

5

加古川市政策企画課スマートシティ推進担当　2023/09/08 20:25

広場空間内で利用可能な移動式のベンチを設置する（マトリョーシカ風にして、使用者の利用用途や人数により使用可能なものとする。）
・駅前の既存ベンチは使用者との距離が近く隣あって座りにくい、夏場は暑く、雨の日は使用できない。机があると食事や軽作業をするのに便利だが、常設すると邪魔になりやすい等を考慮した結果、この移動式のアイデアになりました。
※「2040年の加古川駅周辺を考える若者ワークショップ」で出されたアイデア
https://kakogawa.diycities.jp/processes/Env/f/409/posts/508

4

加古川駅前には滞留スペースがないため滞留スペースを作る
※「2040年の加古川駅周辺を考える若者ワークショップ」で出されたアイデア
https://kakogawa.diycities.jp/processes/Env/f/409/posts/508

4

加古川市政策企画課スマートシティ推進担当　2023/09/08 20:24

理想は南西ロータリーを芝生広場空間にしたい、そのために南モニュメント付近を実証的に活用し、実績を集め、エリアを拡大していく。
※「2040年の加古川駅周辺を考える若者ワークショップ」で出されたアイデア
https://kakogawa.diycities.jp/processes/Env/f/409/posts/508 (外部リンク)

3

# 熊谷市版Decidim「ツノルバ」

※以下の画像はテストサーバーで試験的に作成をしたものであり、
**実際の中身とは異なります。**レイアウト等の参考までに共有いたします。




ホーム




活動・プロジェクト

# プロジェクトページ内

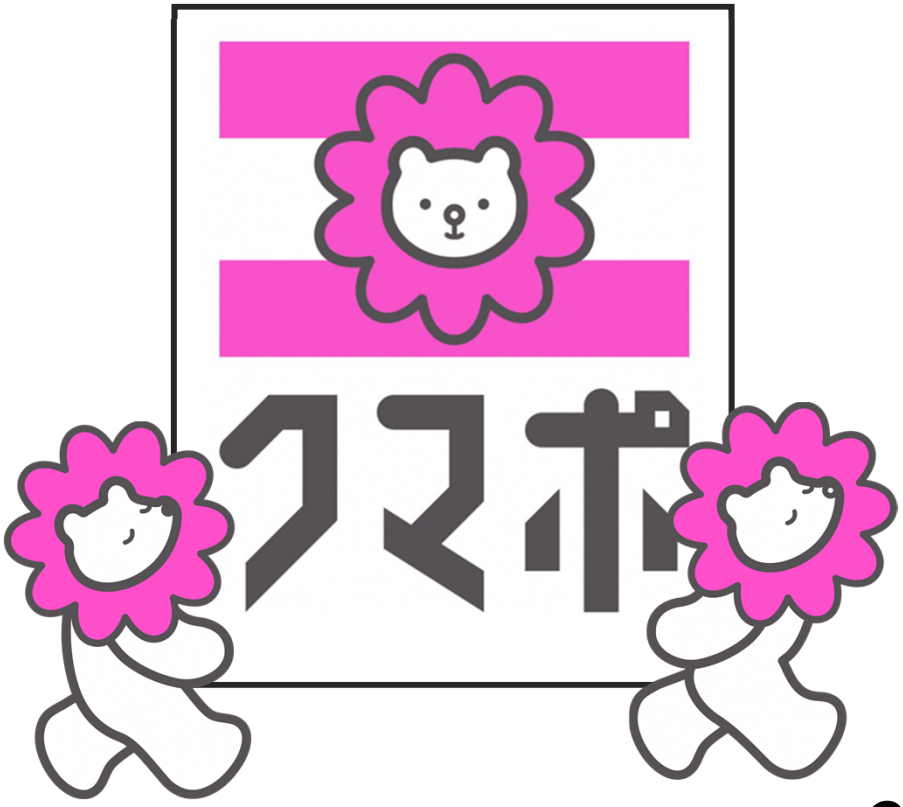

検索
ヘルプ
ミーティング
アクティビティ
アカウント
ワークショップ・会議
活動・プロジェクト
このサイトについて
星川の目指す姿
お問い合わせ
活動・プロジェクト / 花活
この活動・プロジェクトについて
花と緑を愛する市民が集まり、花を植え、一緒に育て、楽しみながら熊谷を花いっぱいの街にしていきます。そして、この活動をきっかけにたくさんの人たちが街に出かけ、熊谷ににぎわいが生まれることを目指していきます。
会員のかたには、花苗などを購入するための費用として協力金をいただいています。
（年間1,000円から任意の金額）
お知らせ →
予算 →
オンラインミーティング →
提案 →
花活参加者募集 →
活動風景 →
花活とは →
スケジュール →
広く意見を聞く →
オンラインミーティング 1
すべてのミーティングを見る (%(count)) →
過去のミーティング
2月
01
2025
初回オンラインミーティング
18:00 午後 JST
オンライン
0
活動風景 2
すべての投稿を表示 →


活動風景 2
最近公開された投稿
dummy text
そろいの「花活」Tシャツで集まるメンバー
公式ポスト
0
春の花植えの様子
公式ポスト
0
お知らせ 2
最近公開された投稿
8月24日(土)、ガーデンセラピーコーディネーターの堀久恵さんを講師に迎えて、花活＊ワークショップ「ミントの収穫体験とモヒートづくり」を開催しました
ミントと言っても、実はいろいろな種類があります。堀さんによると、その数300種類以上だとか！星川親水広場のプランターで育てているミントは5〜6種類。モヒートミント、スペアミント、ペパーミント、パイナップルミント等々。それぞれ香りや味わいが違うので、ミックスすると美味しいそうです。摘み方を教わり、それぞれミントを収穫。摘んでいるだけで爽やかな香りに包まれて、持ち帰って作りながらまた癒されて。最後にライムを投入して飲んだら、ノンアルなのに「クーッ！」と声が出ちゃいました。ミントは、体温を３度くらい下げるそうですよ。みなさんにはお気に入りのマイグラスを持参してもらいましたが、素敵なグラスでモヒートも…
公式ポスト
0
8月24日(土)に花活のワークショップを開催します
「フレッシュハーブを楽しもう！」と題し、ミントの収穫体験とモヒートづくりを行います。モヒートはノンアルコールですから、お子様もご参加いただけます。講師は、熊谷市で「花音の森」を主宰する堀久恵さん。植物の力を使った療法で健やかに生きることを提案するガーデンセラピーコーディネーターとして活躍。開講するレッスンには、全国から受講生が通うほど人気の方です。お申し込みは下記のフォームからお願いします。
https://forms.gle/7stwv51SEXqAyxd4A たくさんのみなさまのご参加をお待ちしています。
公式ポスト
0

# 【３】（２）
# クマポについて

# 熊谷市コミュニティポイント

# 「クマポ」について



# ≪クマポの進捗状況について（令和6年度）≫

4月 → 5月 → 6月 → 7月 → 8月 → 9月

- 3/29～クマポ運用開始
- 4/18運用開始イベント
- 6/14クマポワークショップ

（各月1日時点）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **利用者数** | **1,181** | **2,198** | **3,040** | **3,989** | **4,309** |
| 総流通数 | 120,250 | 252,050 | 392,550 | 579,330 | 682,830 |

※総流通数：市民や協力団体が保有しているクマポの数。

10月 → 11月 → 12月 → 1月 → 2月 → 3月

- 10/23～クマポプレイス開始
- 10/23クマポプレイス開始イベント
- 12/5～12/26 抽選会
- 12/6クマポ説明会
- 2/14クマポ意見交換会
- 2/19クマポ説明会
- 1/17クマポ説明会
- 11/1～11/28クマPAY20%還元キャンペーン

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **4,754** | **6,240** | **12,902** | **14,425** | **15,183** | |
| 815,790 | 993,650 | 1,724,300 | 2,045,650 | 2,175,090 | |

## 取組①抽選会（ためたクマポを使って応募できる抽選会）

景品は、クマポ利用者に市の特産品をＰＲし、
抽選企画をきっかけに店舗の利用につながるよう、
主に市のふるさと納税の返礼品から選択した。

景品　　８種類４０個　　当選人数　４０人
応募総数　　４６３件（応募者数　３８３人）
応募により「つかわれた」クマポ総数
１２５,９００クマポ




## 取組②クマポ意見交換会（2月14日（金）15時～）

テーマ
「～円に換金しないデジタル地域通貨でうまれる　新しいコミュニティの可能性～」
ゲスト参加者　　熊谷スマートシティアーキテクト　並木将央様
大阪府八尾市
内容　　クマポの取組報告
先進自治体の取組紹介（まちのコイン　やおやおについて）
意見交換
講演（善意の循環の可能性について）

# 【３】（３）
# まちなかウェルカム交通ビジョンについて

【R7年２月１７日　データ活用部会資料用（会議後Web掲載）】

Ｒ７年２月６日

# 熊谷市まちなかウェルカム交通ビジョン
## （案４・仮組み）

徒歩で



自転車で



車で



バスで



電車で



未来へ



# 目次

１．本ビジョンの目的・趣旨
２．まちなか交通の可能性を広げるトレンド
　２－１．人流データ活用可能性の拡大
　２－２．モビリティ等の選択肢の拡大
３．熊谷市の目指す「まちなかウェルカム」
４．「まちなかウェルカム交通ビジョンの骨子」（案）
５．今後の検討について

(参考資料)

（１）熊谷市役所　公共交通・自転車利用促進プロジェクトチームの取組み
（２）本ビジョンに掲載の人流分析使用データ概要
（３）「熊谷市　データ活用まちづくりのためのGISデータ作成標準」概要について
（４）その他の交通まちづくりに関するデータのオープン化等について
（５）令和７年度　星川エリアにおけるグリーンスローモビリティ実証について
（６）グリーンスローモビリティの導入事例
（７）相互扶助型の地域通貨クマポを乗り合い交通等への感謝の気持ちの表明として利用することについて

# １．本ビジョンの目的

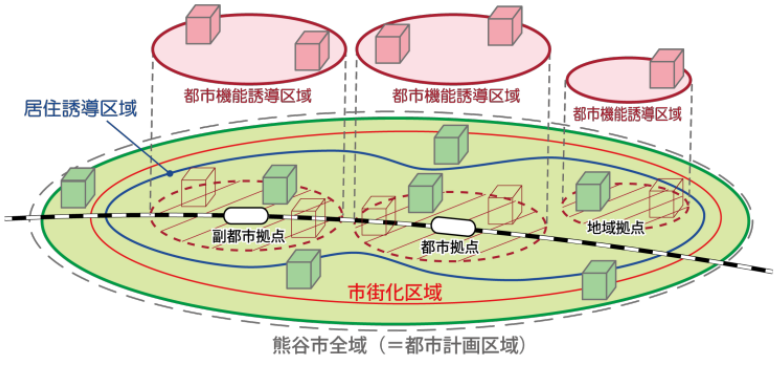
【目的】まちなかを自転車や徒歩を含む様々な交通手段の結節点としてとらえ、市域全体のコンパクト&ネットワークの取り組みと連動しながら、活力のある地域づくりを目指します。

# まちづくりの方向性とまちなか交通の考え方

- 熊谷市が目指す「人や地域がまとまり・つながるまち」
  - 基本理念：地域資源を生かした独自性と自立性の高い持続可能なまちづくり
    子どもたちが郷土愛を育みながら健やかに育つ都市づくり
  - 将来都市像：未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち　くまがや

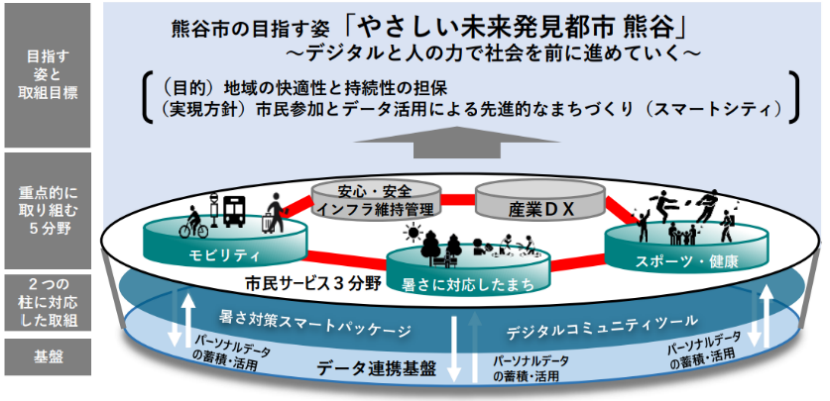
※第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画より

※都市計画マスタープランより




＜市の都市機能と居住の誘導のイメージ＞

資料：立地適正化計画

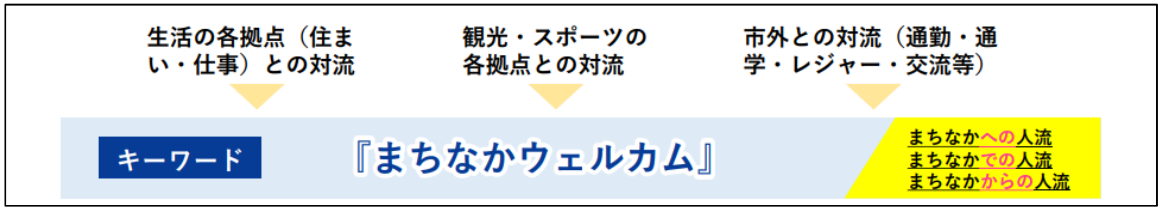



＜熊谷スマートシティの取り組み概要＞

資料：熊谷スマートシティ実行計画

連動

- まちなか交通（特に交通結節点機能の発揮）の考え方を整理



# まちなかの交通政策の新しい流れ





「賑わっている状態」とは？

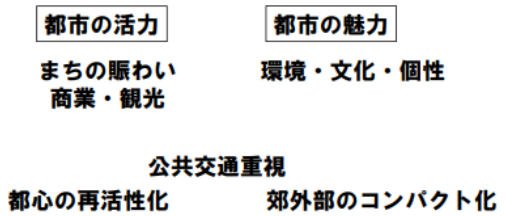
・多くの人が集まり、楽しく歩いている状況を「**賑わっている**」と言う
・道路を自動車で埋め尽くしても、賑わっているとは言わない

※富山市資料を基に一部改変

| | |
|---|---|
| これまでの視点 | 混雑緩和・渋滞解消を図り、円滑な移動を支えることに力点を置いた“ 自家用車移動主体の交通政策 ” |

⇩ 立地適正化・ウォーカブル　など

| | |
|---|---|
| 新たな視点 | 都市の活力と魅力を生み出すための“ 都市交通政策 ”<br>＝『交通まちづくり』の考え方の根本 |




※国土交通省　総合交通メールマガジンより

（参考）立地適正化計画を公表している都市：５６８都市（２０２４.３.３１現在）
「ウォーカブル推進都市」：３８２都市（２０２４.９.３０現在）

（抜粋）「熊谷市　公民連携まちづくり実践方針」（令和６年３月）

# 【特記事項２】公民連携まちづくりと交通まちづくりの連動の必要性①

熊谷市では、公共交通網の環境が厳しさを増す中で、熊谷市地域公共交通会議における「地域公共交通計画」の検討などの場で、以下の方針を設定しています。
平成26年にコンパクト+ネットワークのまちづくりに向けた都市・交通の改正法が施行されてから十年、交通に係る課題の深刻化と、解決策となりうる各種技術の発展のバランスは、予断を許さない状況です。
熊谷市においては、個別の各エリアにおけるまちづくりビジョン等との連動の観点を重視しつつも、以下の整理の下、交通ネットワークのセーフティネットとしての側面と、人流確保による地域の活力維持の側面の両面において、対策の導入時期を失することのないよう、調整・実行に取り組みます。

【交通ネットワークのセーフティネットとしての側面と、人流確保による地域の活力維持の側面の整理について】

◯熊谷市はこれまで近隣自治体に比べて密度の高い路線バス・コミュニティバスの路線網を維持してきました。

（抜粋）「熊谷市　公民連携まちづくり実践方針」（令和６年３月）

# 【特記事項２】公民連携まちづくりと交通まちづくりの連動の必要性②

◯しかし、運転士の人数の不足により、業務環境を確保しつつ、これまでどおりのサービスを提供することは困難な環境になりつつあります。

◯熊谷市では、この事により、「通院などに交通手段が必要な方へのサービス提供」（セーフティネットの側面）と、「自分らしく暮らす行動が制約されることでの地域の活力の低下」（地域の活力維持の側面）の両面の課題が生じるものと考えています。

◯具体的な対応としては、前者について、**①ICTを活用して必要な方へのサービス確保に取り組む**と共に、後者について、**②まちなかを自転車や徒歩を含む様々な交通手段の結節点としてとらえ、市域全体のコンパクト&ネットワークの取り組みと連動しながら、活力のある地域づくりに取り組む**方針です。

◯地域全体の交通ネットワークとコンパクトシティの両立による持続的な地域づくりは喫緊の課題であり、また取組みに影響を与える規制や技術の変化の速度が近年上がっているため、当面の間、上記①②の両面で積極的な情報収集、検討、実証などに取り組むべきと考えています。

◯なお、検討にあたっては、生活の中での徒歩による移動の健康の維持に与える効果等についても、考慮するものとします。

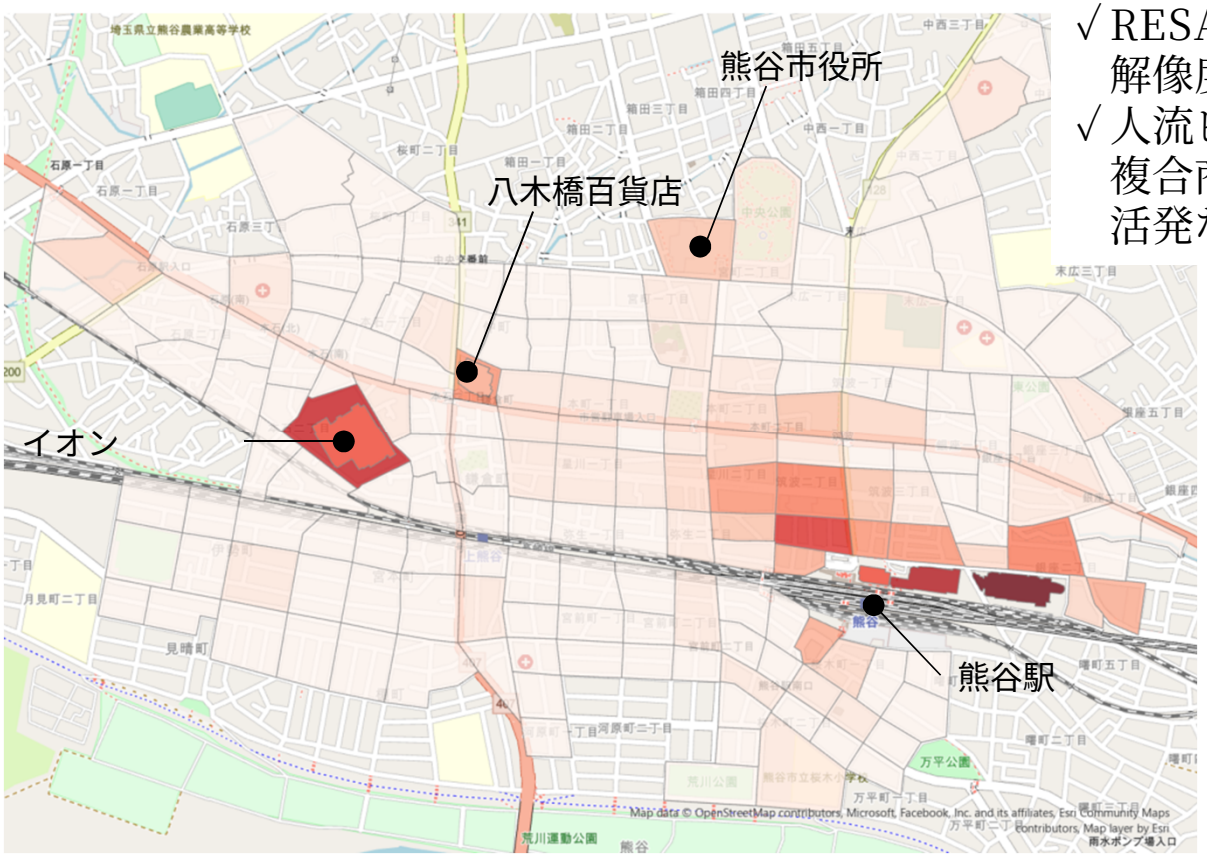
# ２．まちなか交通の可能性を広げるトレンド

# ２－１．人流データ活用可能性の拡大

人流に関するデータの入手が容易になり、様々な施策の効果を検証することが可能になりつつあります。

# （１）都市機能誘導区域における来訪者数把握の例

■街区別来訪者数の分布（都市機能誘導区域内）




✓RESAS等の公開データに比べ、解像度の高い動態傾向を把握

✓人流ビッグデータにより、複合商業施設や駅前（北口）で活発な動態を確認

凡例

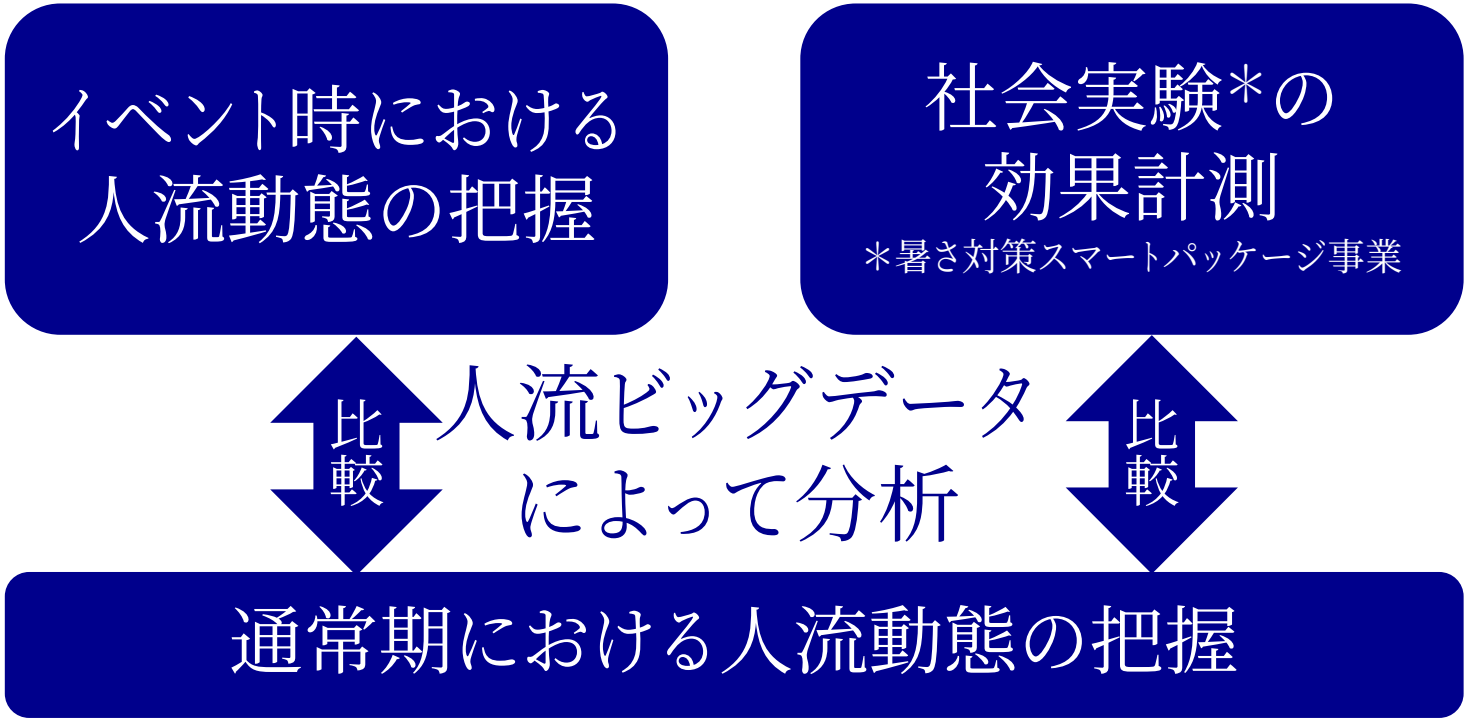
来訪者数

7,000（人）

0

## （２）熊谷市における人流分析の目的

√ 様々な移動手段による人々の動きを分析することで、社会実験やイベント時の対象商圏への集客数、性別等のビッグデータを分析し実態を把握するとともに、今後の施策に活用する。



# ２－２．モビリティ等の選択肢の拡大

時速２０ｋｍ未満の低速から～時速数kmの超低速まで、様々なタイプのモビリティが選択可能になると共に、

歩行者に自動追従する、逆に先導するなどの歩行支援ロボットの可能性や、自動運転の可能性が拡大しつつあります。

# 本ビジョンにおけるモビリティへの着眼点

〇「交通」（transport：トランスポート）に求められることは、安全で安心・快適に空間的な距離を克服すること。

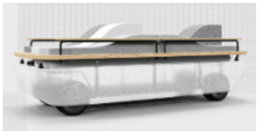
〇一方で、モビリティ（Mobility）は日本語に訳すと「移動」「移動性」あるいは「動きやすさ」となる。また、移動手段・移動の道具についてもモビリティという言葉が使われることがある。
（MaaSとはMobility as a Serviceの略で、ここでもモビリティが使われている。これは、様々な移動の手段・サービスを統合してルート検索・予約・決済などをスマホなどで手軽に行なうことが期待されているもの。）

〇熊谷市が「まちなかウェルカム交通ビジョン」で取り扱う「モビリティ」は一般的に「交通」で求められる時間や費用の最小化だけでなく、個人の移動への多様な希望についても意義があると考えるもの。
そうした移動についても支える仕組みを考えるものと定義。
すなわち、移動について市民・来訪者に多様な選択肢を提示することで、移動そのものに価値を見いだすことを期待するもの。

〇モビリティを充実することで関わり合いのある分野として、まちの魅力化、地域コミュニティの形成、日常生活の充実、医療・健康・福祉、防災、行政サービス、教育・文化、産業・雇用、などの様々なものが考えられる。

# 都市の活力と魅力を生み出す新たな交通のカタチ

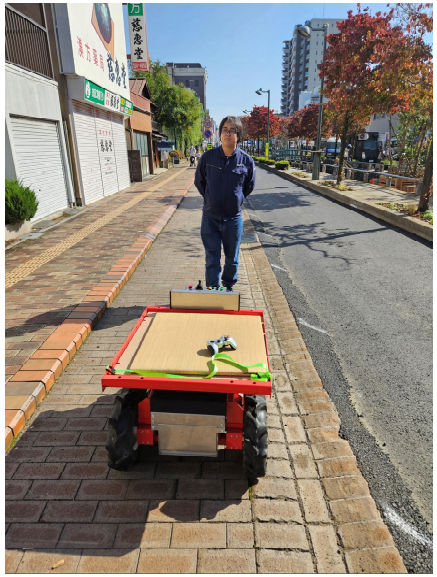
- 新たな交通のカタチとして、全国各地に様々なモビリティが登場
  - まちづくりの中で“活力と魅力を生み出すデバイス（装置）”として期待
  - まちなかにおける「ちょっとの移動が楽しくなる仕組み」、「移動支援」に適したモビリティとして、『グリーンスローモビリティ』に着目。

| | パーソナルモビリティ | ベンチ型車両 | カート型・バス型車両 |
|---|---|---|---|
| イメージ |  WHILL Model F<br> UNI-ONE<br> Segway PT i2 SE<br> C⁺walk |  iino type-R<br>PARTNER MOBILITY ONE <br> 三宿モバイルパークレット | ヤマハ(株)製車両 <br> モビリティワークス㈱製車両<br>シンクトゥギャザー㈱製車両  |
| 主な特徴 | • 主に1～2人乗り<br>• 近距離低速移動に適する<br>• 貸出・返却用ポートが必要 | • 複数人乗り<br>• 移動自体よりも移動体験や滞在に適する | • 定員 複数人～10人以上<br>• 公道走行可能だが低速のため短区間の回遊に向く |

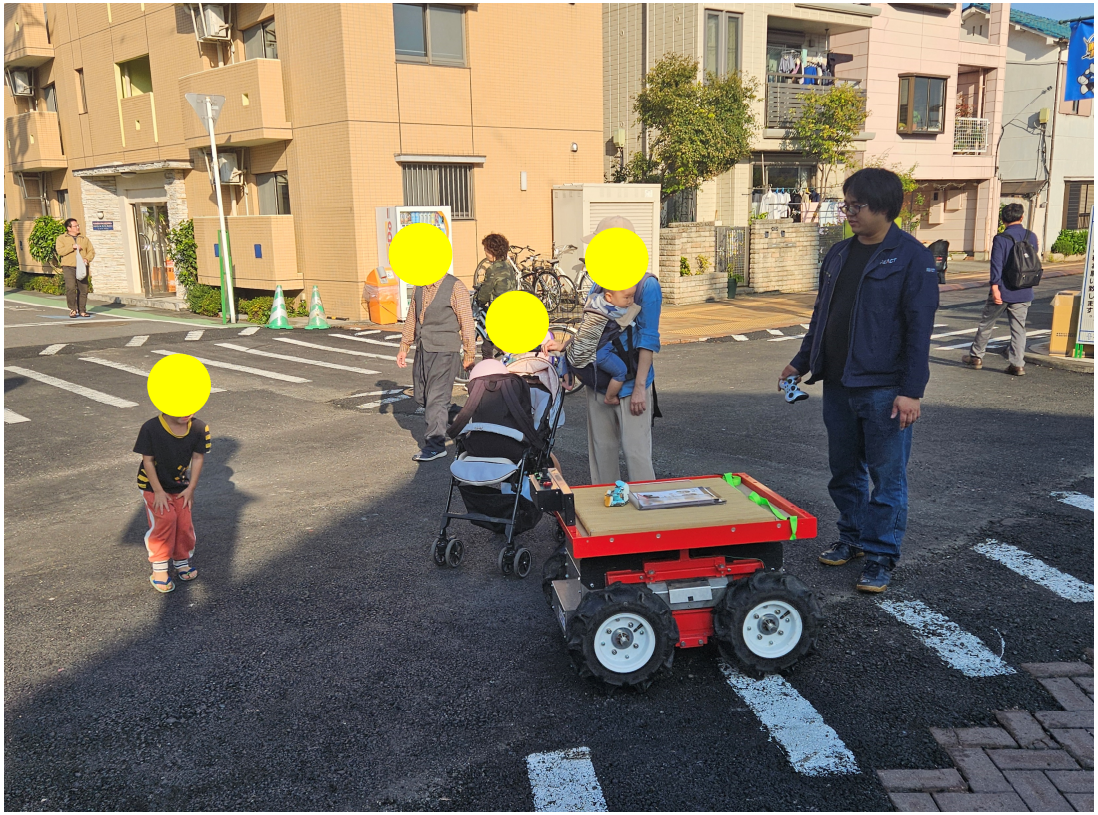
出典：WHILL㈱HP、本田技研工業㈱HP、セグウェイHP、トヨタ自動車㈱HP、ゲキダンイイノ㈲HP、パーソルクロステクノロジー㈱HP、ヤマハ発動機㈱HP、ヤマハ㈱HP、モビリティワークス㈱HP、シンクトゥギャザー㈱HP

# 人を載せない荷運びロボットによる移動支援の可能性検討

（以下は星川における運搬支援ロボ走行実験（Ｒ６年１１月４日））









# （参考）「生活支援ロボット・ドローン」に関する取組み方針（案）

・関係企業と連携し、市内において生活支援ロボット・ドローン等の実証を受け入れやすい環境づくりを検討。
・市民がまちなかで各種ロボット・ドローンに触れる機会の拡大にも着手。(中央公園イベントでの芝刈りロボットの展示、星川通りでの追従型荷運びロボットの展示等を実現。)
・ロボット・ドローンに関する上記の取組みにおいては、今後、自動運転のビリティ、スマート農業等の普及促進や運用支援につなげていく可能性も意識して取り組む。

芝刈りロボットの例



追従型の運搬支援ロボットの例



水中用ドローンの例



# ３．熊谷市の目指す「まちなかウェルカム」

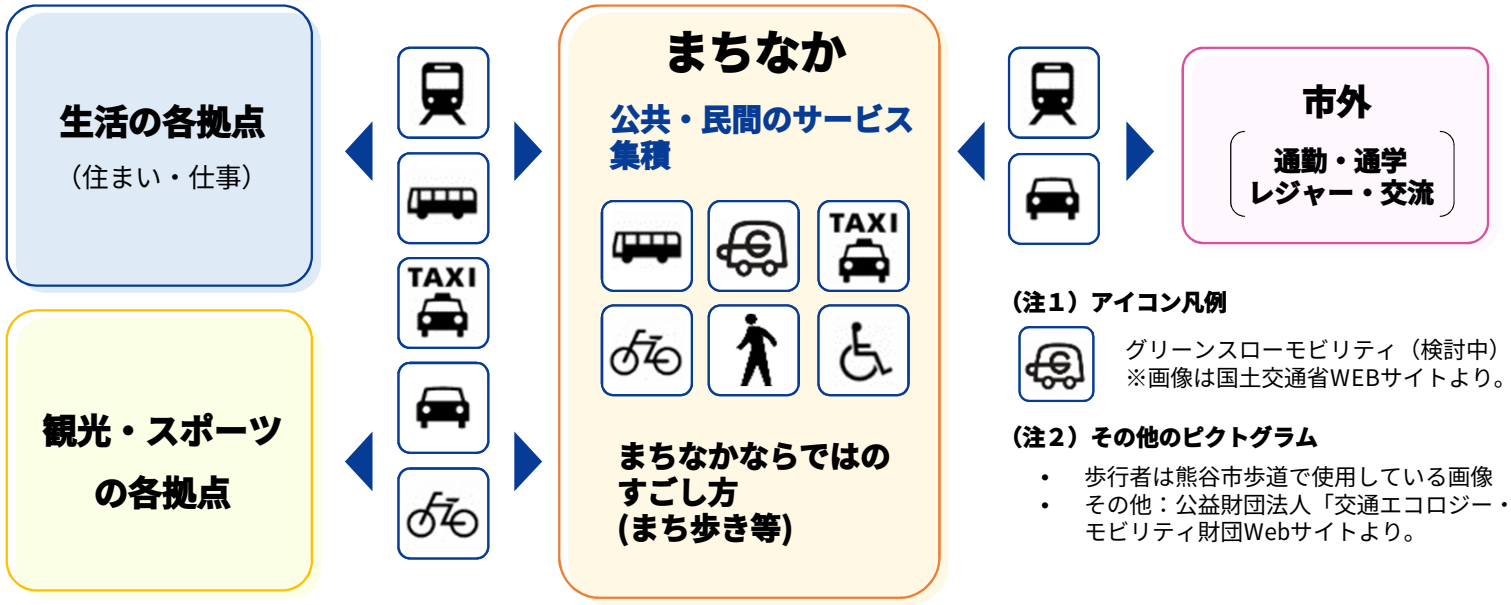
令和５年７月のスマートシティ宣言に合わせて開催されたスマートシティシンポジウムにおいて、「データ活用によるまちなかウェルカムのストーリー」を表明し、準備を進めてきました。

# データ活用によるまちなかウェルカムのストーリー（１）

（人流データ活用まちづくりについて）

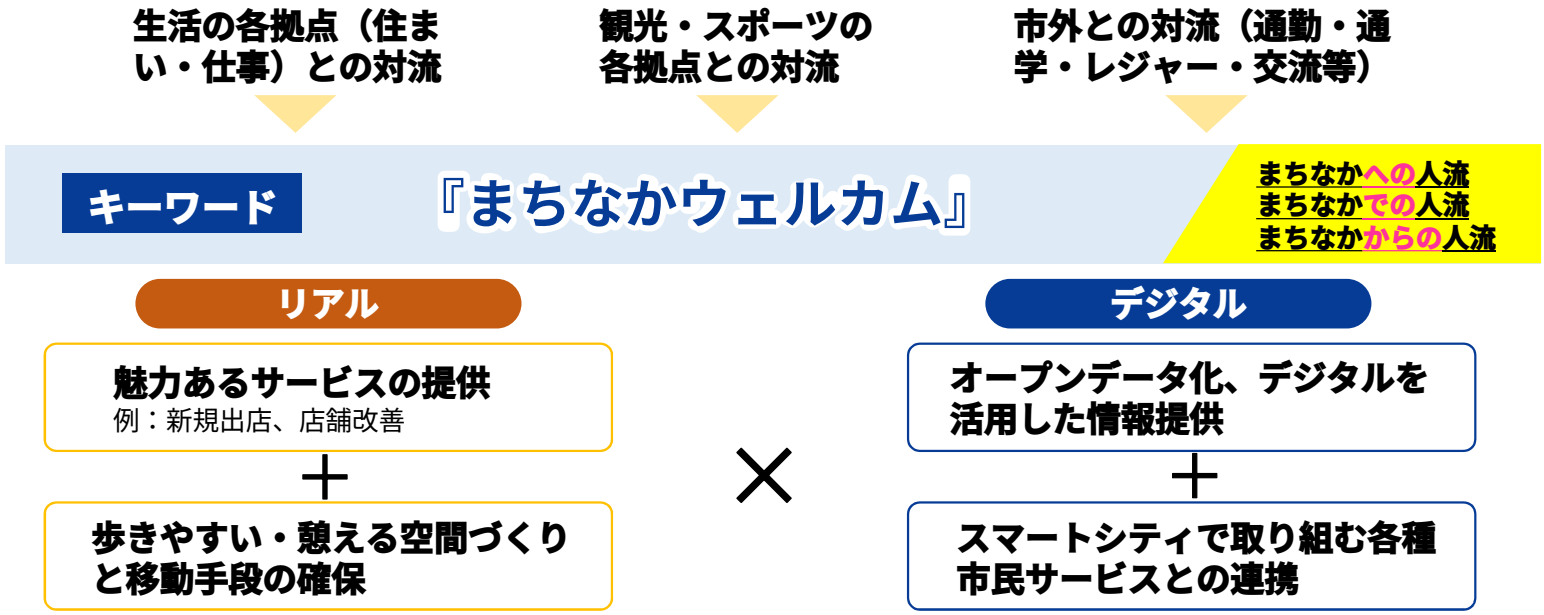
**～まちなか再生の切り口からのアプローチ～**

**「まちなか」から見た人流のイメージ**



# データ活用によるまちなかウェルカムのストーリー（２）

（まちなかでの体験創造・実証の場の検討）




**連携しての効果発揮のためには、人流データを活用した実施内容の検討・検証が不可欠**

# ４．「まちなかウェルカム交通ビジョン」骨子案

# （参考）「まちなかウェルカム交通ビジョン」のイメージ（検討中）

北部交流拠点を見据えた各種交通手段とまちづくりの連携（熊谷駅（①）、秩父鉄道上熊谷駅（②）、市営本町駐車場（③）等）

星川将来ビジョン
Ver1.0（R6年3月）
＋
バス路線の集散ポイントへの人流を活性化

**まちなかウェルカム交通ビジョン（R7年度）**
外周について公共交通で人の流れを確保しつつ、エリア内を徒歩・自転車・モビリティ優先とする構想（未定）
→R7クロスシンボルロード行事でキックオフ（８月予定）

R6年度（秩父鉄道）上熊谷駅・鎌倉町エリアと星渓園との連動の可能性検討（未定）

R7年度～北部交流拠点基本構想を受け、モビリティ導入検討エリアとして位置づけ（未定）

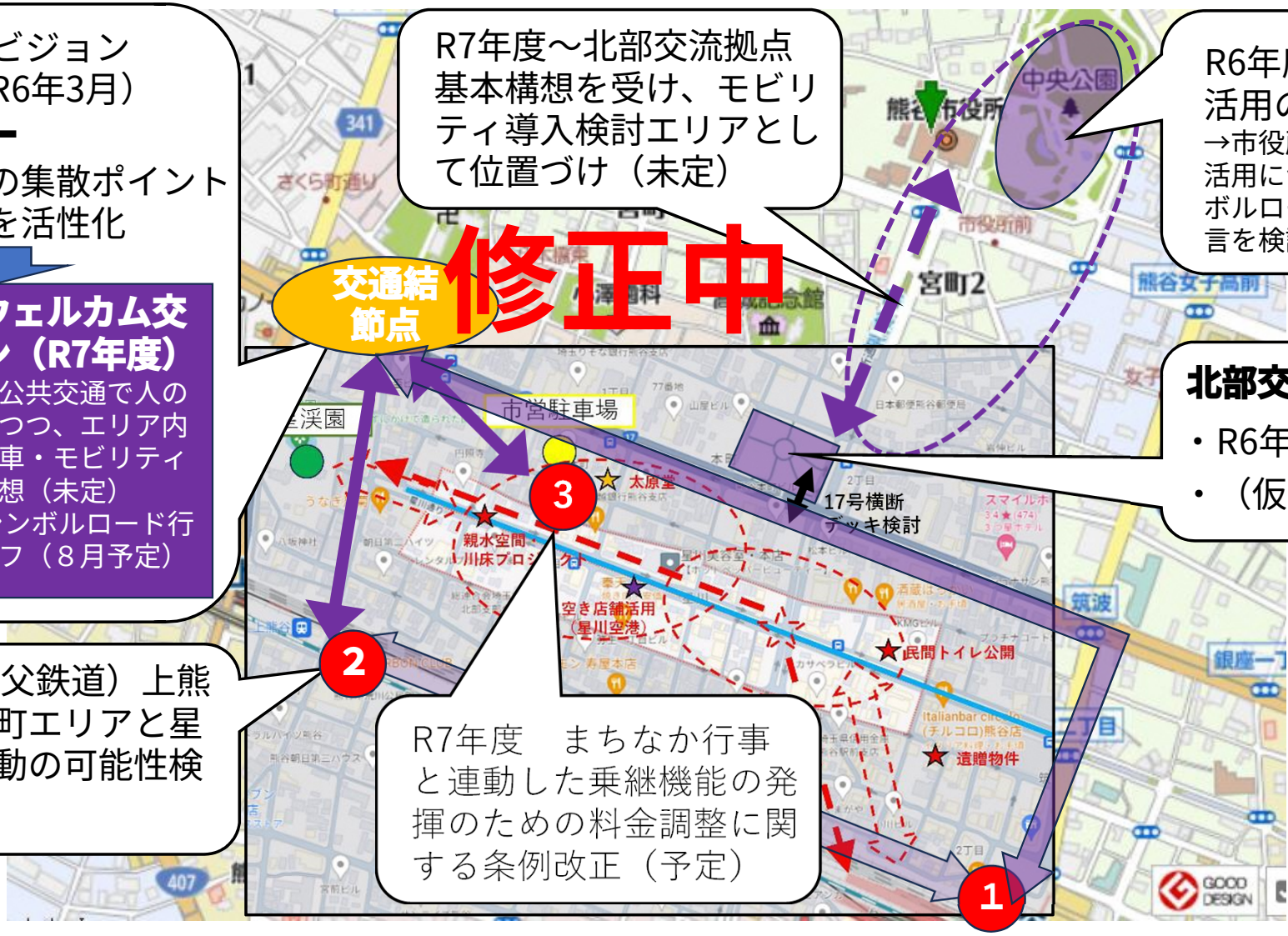
交通結節点

修正中

R6年度　中央公園利活用のWS／社会実験
→市役所通りの道路空間利活用についてR7クロスシンボルロード行事における提言を検討（未定）

**北部交流拠点**
- R6年度基本構想策定
- （仮）R14年度竣工

R7年度　まちなか行事と連動した乗継機能の発揮のための料金調整に関する条例改正（予定）



# ５．今後の検討について

- 人流分析まちなか再生委員会（まちなかウェルカム委員会）等の意見を聴きつつ、「まちなかウェルカム交通ビジョン案 Ver1.0」の検討を進める予定。

# （参考）熊谷市人流分析まちなか再生委員会
# （まちなかウェルカム委員会）

（まちなか「への」「での」「経由の」移動に着目した、まちなか再生）

［関係課等］交通・まちなか再生・都市計画等の各部局と連携

［委員（案）］千葉大　鈴木弘樹准教授（とりまとめ・まちづくりへの統合）
高崎大　長野博一准教授（道路等ネットワーク整備）
立正大　大井達雄教授（データ分析による需要予測）

［連携先企業（案）］　熊谷スマートシティ推進協議会構成員　等

［検討内容（案）］①様々な 移動手段による人流の総合的な分析に基づくまちづくり
・自家用車・自転車・公共交通・歩行の総合的な分析に取り組む。

② データの分析・取得・活用（利便＋全体最適に近づける誘導策など）

# （参考資料）

（１）熊谷市役所　公共交通・自転車利用促進プロジェクトチームの取組み

（３）本ビジョンに掲載の人流分析使用データ概要

（４）「熊谷市　データ活用まちづくりのためのGISデータ作成標準」概要について

（５）その他の交通まちづくりに関するデータのオープン化等について

（６）令和７年度　星川エリアにおけるグリーンスローモビリティ実証について

（７）グリーンスローモビリティの導入事例

（８）相互扶助型の地域通貨クマポを乗り合い交通等への感謝の気持ちの表明として利用することについて

# 熊谷市　公共交通・自転車利用促進プロジェクトチームの取組み

１．熊谷駅北口のバス案内をより便利に

（１）（検討中）北口ターミナルに路面シール方式のバス案内を追加。

（２）（検討中）特に利用を促進すべき路線について、バス利用ご案内Webサイトを作成。

２．様々な交通手段が選べ、歩きやすいまちなかへ

（１）（検討中）市営本町駐車場の定期的な無料化。

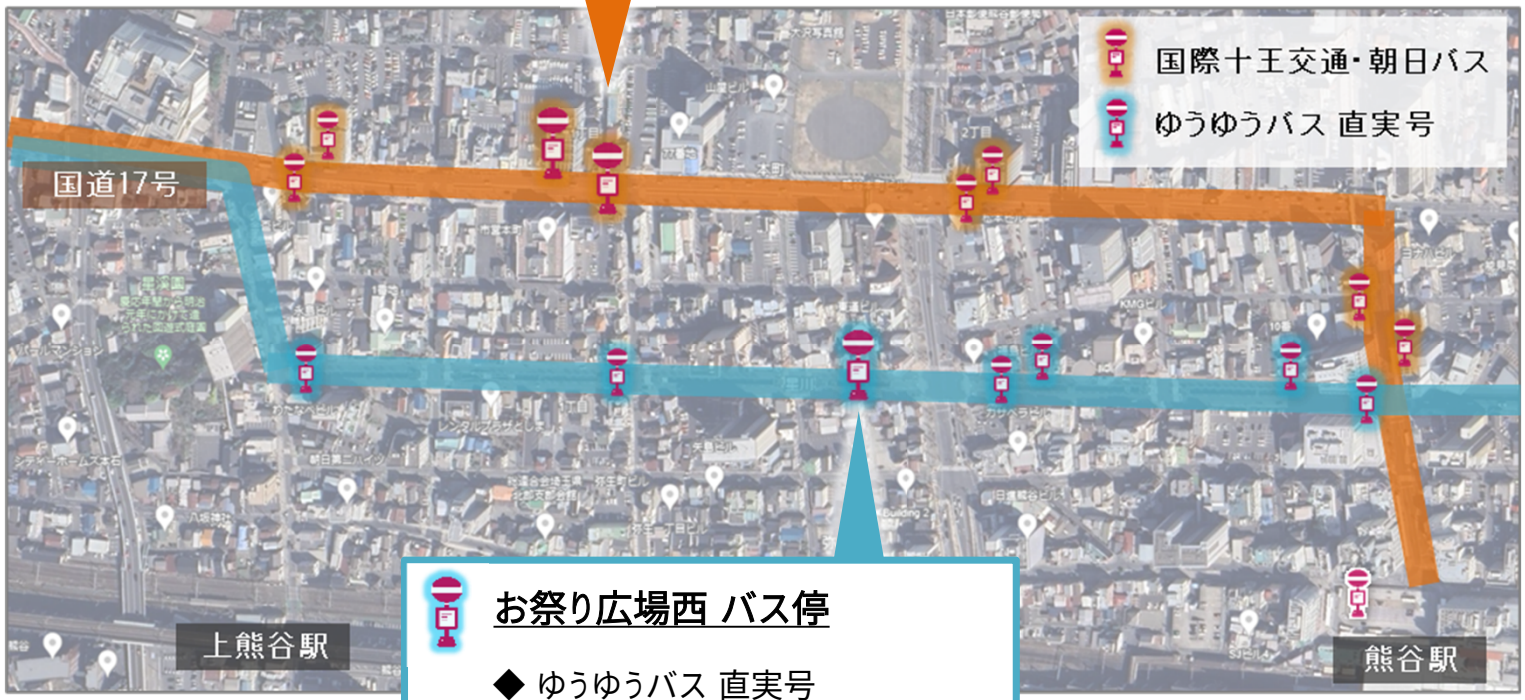
（２）（検討中）星川周辺エリアでのグリーンスローモビリティの実証運行。

（３）（検討中）シェアサイクルシステムとの連携。

# （参考）熊谷駅北口～熊谷寺前まちなか交通（バス路線）の概要

**本町 バス停**　(10～18時帯)
⇒平均3～4分に1本

◆ 国際十王交通
(上り) 熊谷駅方面　平均 約6分 (10.3本/1時間)
(下り) 籠原・東松山・小川町方面　平均 約6分 (10.8本/1時間)
◆ 朝日バス
(上り) 熊谷駅方面　平均 約9分 ( 7.1本/1時間)
(下り) 妻沼・太田方面　平均 約9分 ( 7.2本/1時間)




**お祭り広場西 バス停**

◆ ゆうゆうバス 直実号
1日6便 (平均1時間に1本程度)

資料：各バス路線の本数については経路検索サービスNAVITIMEを元に「本町」を整理 (2024年10月16日時点)。いずれも平日ダイヤ。

# （参考）人流分析使用データ概要

✓人流データの取得方法は、主に「基地局データ」、「GPSデータ」がある。（その他、AIカメラ、Wi-Fi、Bluetooth等のBeacon通信でも把握可だが、過去の遡りが不可能）
✓「基地局データ」、「GPSデータ」はそれぞれ各種データ定義、特性が異なる。

表 人流ビッグデータ取得方法の比較

| | 基地局データ<br>＊基本仕様であり、一部仕様はカスタイマイズが可能 | GPSデータ<br>＊ポイントデータ取得による自社分析時の条件 |
|---|---|---|
| データ取得方法 | 基地局とスマートフォン等の交信状況から位置を特定する。都市部等の基地局が多い地域はデータ計測が安定するが、基地局が少ない地域は不安定となる。 | 位置情報の取得を許諾しているスマートフォンアプリ利用者に対して衛星から位置（緯度経度）を特定する。緯度経度は数十mの誤差を含んでおり、ビル群内などで誤差が大きくなる。 |
| サンプル数 | 数千万UUID | 数十万～数百万UUID |
| 個人属性 | 取得可（性、年代、居住地） | 一部ベンダー可 |
| 旅行者定義 | 各社によって異なる（一部不明） | 距離、来訪頻度など任意設定が可能 |
| 滞在判定 | 各社によって異なる（一部不明） | 任意設定が可能 |
| 分析粒度 | 各社によって異なる（一部不明） | 任意設定が可能 |
| 広域流動把握 | ○ | ○ |
| 詳細流動把握 | △ | ○ |
| 流動把握 | 2点間のみ | 任意設定できるため、複数箇所の流動把握が可能 |
| 本事業での使用データ | モバイル空間統計®（ドコモ） | Agoop社 |

# （４）「熊谷市　データ活用まちづくりのためのGISデータ作成標準」概要と、市民参画型GISプラットフォームにおける活用について

# GIS系関連データの整備・公開について

**〇基本の方針案**

公民連携のまちづくりにおいて利用可能なデータを増やす

①利用可能なデータはできる限り地図（GIS）上に表現できる形にすることを目指す

②地図上に表現できない・表現する必要性が小さいデータでも、電子データにするなどにより価値を高める

③②であってもできる限りGISで活用可能とするために必要なデータを用意する

④電子データはできる限りオープンデータとする

①『GISで取り扱うデータ形式の考え方』に沿って考える
②各種データは基本的にはオープンデータ化を見据えるため、『オープンデータ作成マニュアル』に則ると、
電子データ＝基本的にCSV
③例えば「ゆうゆうバスの乗降データ」に対して、「停留所位置データ（座標付き）」を作成するなど
④『熊谷市オープンデータ推進に関する基本方針』のとおり

令和６年１０月１日
Ver.2 令和６年１０月１６日

# GISで取り扱うデータ形式の考え方

## 考え方を整理する目的

様々な事業でGISで取り扱うような地理空間情報を含んだデータ（以下GISデータという。）が作成される中、様々なソフトウェア・サービスにおいて取り扱いが可能な形式を整理し、円滑なデータ活用を図る。

## GISデータを取り扱うソフトウェア・サービス

主に、現在市で活用している次のものを想定する。

- WebGIS　　Re:Earth（リアース）、カキコまっぷ　など
- 統合型GIS　　PasCAL　など
- 分析・可視化ソフト　　Tableau
- その他GISデータを取り扱えるソフトウェア

## GISデータの分類

ここではGISデータを大きく次の種類に分類して整理する。

- 2Dのラスターデータ（画像）
- 2Dのベクターデータ（点・線・面の図形データ　※3Dの場合ここに立体データが加わる）
- 3Dデータ

GISで取り扱うデータ形式の考え方

## GISデータの取り扱いの観点

次の２つのことがそれぞれ重要である。

Ａ　市の事業で使えること
前述の取り扱うソフトウェア・サービスに掲載のもの（WebGISや統合型GISなど）の多くで共通して使用可能な形式

Ｂ　オープンデータとして有用なこと
市で取り扱うソフトウェア等ではたまたま使用できなくても、一般に有用であると思われる形式

GISで取り扱うデータ形式の考え方

## 2Dのラスターデータ（画像）

画像データの端の座標を定めることで、GIS上に画像データを重畳することができる。
ここでは、GIS上に単に画像データを重畳するものではなく、指定する座標範囲に画像を配置して重畳するものを指すこととする。　（例えば、まちなかの気象シミュレーション結果など）

## 2Dのベクターデータ（図形）

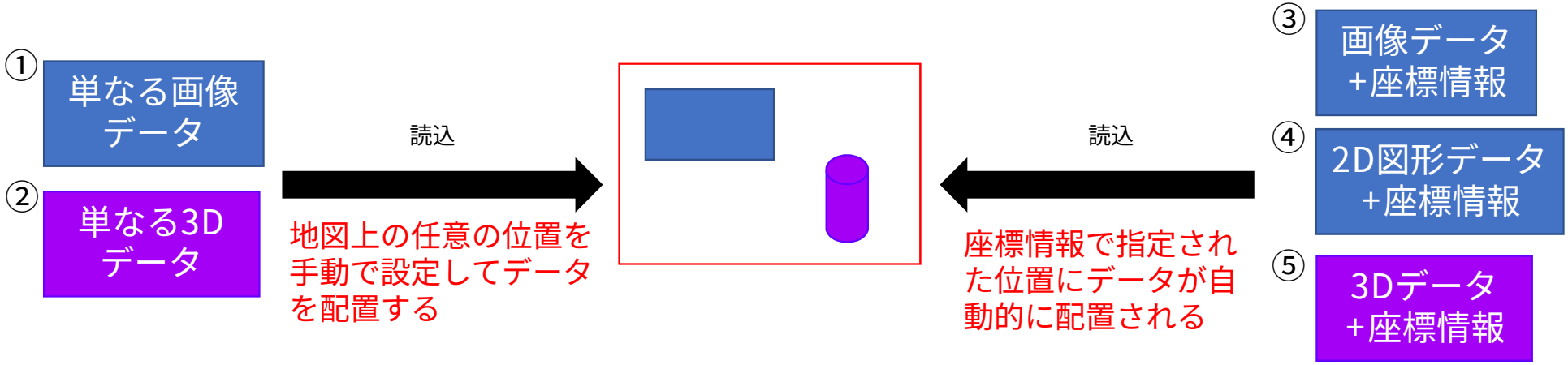
点、線、面で表されるデータを表示するもの。
（例えば、公共施設の所在地を示すスポットデータ（点）
バス路線図（線）
町丁字別境界（面）　など）

## 3Dデータ

3D都市モデルデータ（3Dモデル＋地理空間情報）や座標付きの3D図形データに加え、この資料では参考として3Dモデルデータ（地理空間情報は含まない）を想定。
※なお、3D点群データは一般的に3Dモデルデータに変換して取り扱うようである。

GISで取り扱うデータ形式の考え方

## GISでのデータ形式とデータの表示のされ方の整理イメージ（参考）




①JPEGやPNG、TIFFなど　→　とても一般的
②glTF/glbやOBJなど
③GeoTIFF、①を参照したKMLなど
④CSVやShape、DXF/DWGなど
⑤DXF/DWG、3DTiles等の3D都市モデルデータなど

※ GISデータは③～⑤を指すが、この資料では、現在把握している範囲で②の3Dデータの用途がWebGISでの表示に限られているため、関連があるものとして②～⑤のデータについて整理している。

# GISで取り扱うデータ形式の考え方

| | 2Dラスター（画像）の表示 | 2Dベクター（図形）の表示 | 3Dデータの表示 |
|---|---|---|---|
| **Re:Earth** | KML, CZML | CSV, KML, GeoJSON, TopoJSON, CZML, Shape（エクスポートのみ） | 3DTiles, glTF/glb（地理情報含まない）, CZML |
| **統合型GIS PasCAL** | - | CSV, Shape, GML, SIMA, DXF/DWG, KML, GPX | - |
| **Tableau** | - | CSV, XLSX, Shape, KML, GeoJSON, TopoJSON | - |
| **その他** | ワールドファイル, GeoTIFF | CSV, Shape, KML, DXF/DWG（座標情報含まない） | CityGML（都市モデル）, OBJ（地理情報含まない）, DXF/DWG（地理情報含まない） |

灰色の形式は、特に必要ということでなければ最初の選択肢からは外してもよいと思われるもの。
【特に必要だった例】気象シミュレーションデータ（画像）をRe:Earth上に表示したかったが、建物モデルの下に敷くように表示させることができなかったため、KMLを断念してCZMLを採用した。

## ○補足説明

・CZML・・・Re:Earthのベースとなるエンジンに特有のデータ形式であるため灰色に
・GeoTIFF・・・画像データに地理空間情報を付加して取り扱うことを考えた場合、対応さえしていればこの形式が非常に有用と聞き取る（KKEより）
・DXF/DWG・・・CADの形式。点群測量データなど、今後のデータ活用が見込まれる分野で一般的な形式として無視できないと思われる
・他の灰色の形式・・・他により一般的と思われる形式があるため、あえて作成する必要がないと思われる形式

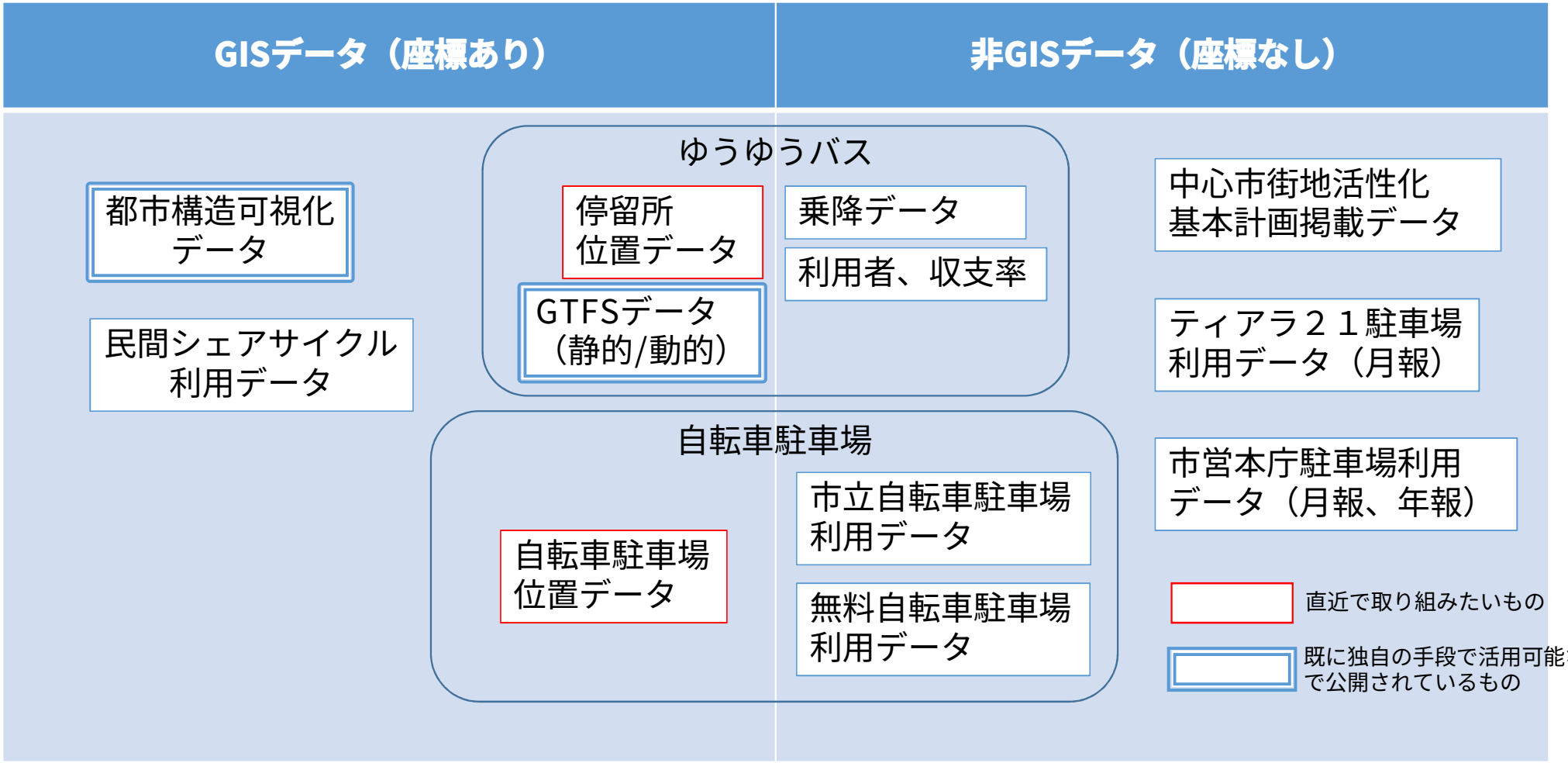
# GISで取り扱うデータ形式の考え方

| | 2Dラスター（画像）の表示 | 2Dベクター（図形）の表示 | 3Dデータの表示 |
|---|---|---|---|
| **Re:Earth** | KML, CZML | CSV, KML, GeoJSON, TopoJSON, CZML, Shape（エクスポートのみ） | 3DTiles, glTF/glb（地理情報含まない）, CZML |
| **統合型GIS PasCAL** | - | CSV, Shape, GML, SIMA, DXF/DWG, KML, GPX | - |
| **Tableau** | - | CSV, XLSX, Shape, KML, GeoJSON, TopoJSON | - |
| **その他** | ワールドファイル, GeoTIFF | CSV, Shape, KML, DXF/DWG（地理情報含まない） | CityGML（都市モデル）, OBJ（地理情報含まない）, DXF/DWG（地理情報含まない） |

整理すると

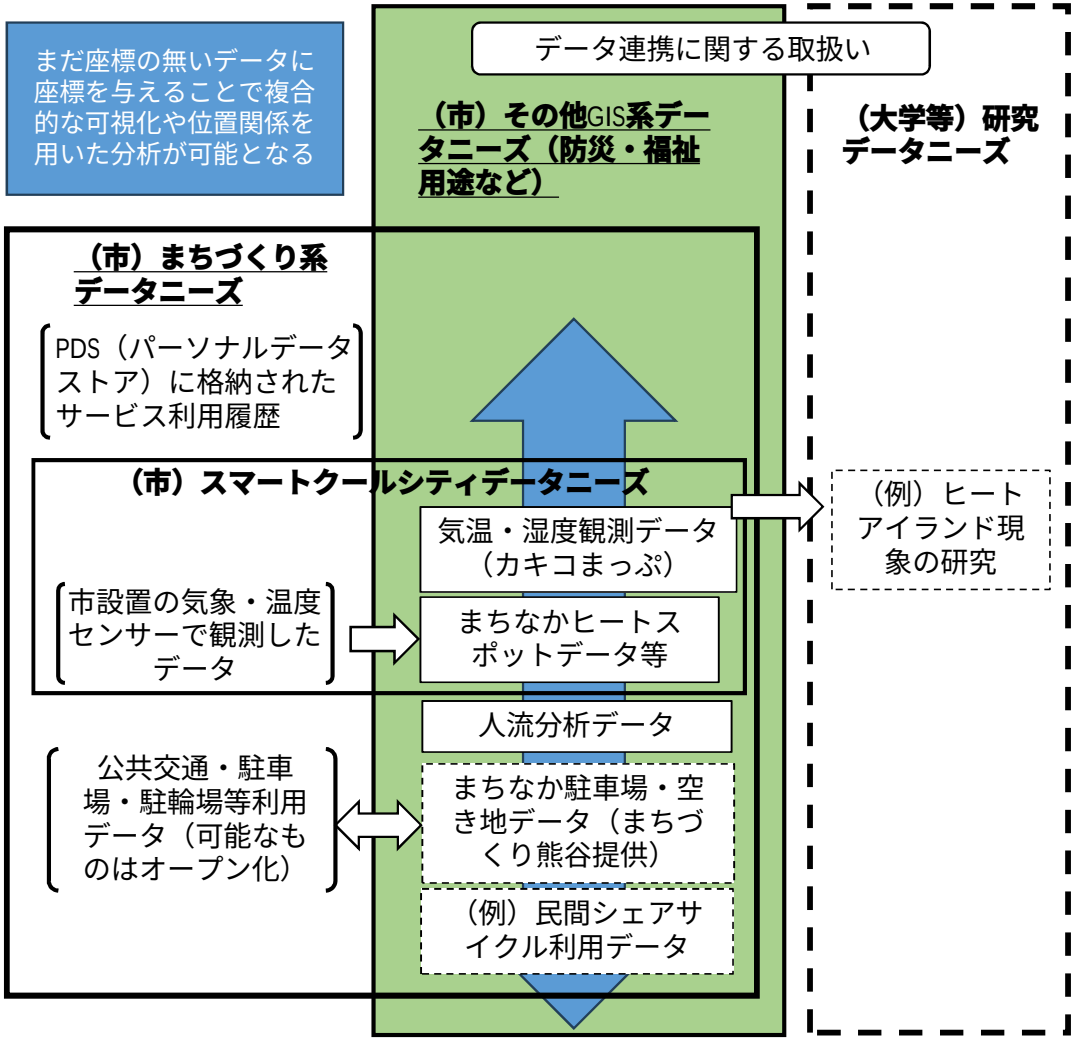
| | 画像データを地図上の特定の位置に重畳する | GIS上に2D図形で表示する | 3Dデータを表示する |
|---|---|---|---|
| **市が使える**<br>**※活用する多くのサービスで共通して使える** | KML | CSV, KML, GeoJSON | 3DTiles, CityGML, glTF/glb（地理情報含まない） |
| **オープンデータ** | GeoTIFF | Shape, DXF/DWG（地理情報含まない） | OBJ（地理情報含まない）, DXF/DWG（地理情報含まない） |

# GIS系関連データの整備・公開について



# 交通・まちづくりに関するデータのオープン化等について

（凡例）・四角枠内は座標を有するデータ
・括弧書きは座標を有しないデータ




## 熊谷市における関連データ整備・公開状況メモ

【公共交通データ（企画課交通担当）】
・ゆうゆうバスの停留所毎の乗降データを毎年集計。
・年間利用者、収支率は、５年毎に地域公共交通計画にアウトプット。
・ゆうゆうバスGTFSデータは随時更新。
・民間路線バス、鉄道等に関しては、現状特に事業者に提供協力を求めていない。

【都市構造可視化データ（都市計画担当）：R3年度に埼玉県から提供】
・コンパクトなまちづくりの取組の促進を目的に県内の都市構造に係るデータの見える化を実施。
・Google Earth Proで地図上に３Ｄグラフ等で表現することで、地域の特性や課題を視覚的・直感的に認識することが可能。

*都市構造可視化データのサンプルを掲載予定*

【中活データ（まちなか再生担当）】
・関係して取得したデータは全て中活計画に掲載。（令和２年度の中心市街地活性化計画）

【再開発施設・市営駐車場利用データ（まちなか再生担当）】
・ティアラ２１駐車場
年１回紙ベースで１年分の月報をまとめて提供いただいている。
・市営本町駐車場
月報、年報の電子データあり。

【自転車駐車場利用データ（安心安全課）】
**再確認中**
・有料駐車場は熊谷市立熊谷駅自転車駐車場のみ。契約台数のデータのみ。
・その他の無料自転車駐車場は熊谷駅西、上熊谷駅東などは台数のカウントは行っていない。

（参考）都市構造可視化データの例

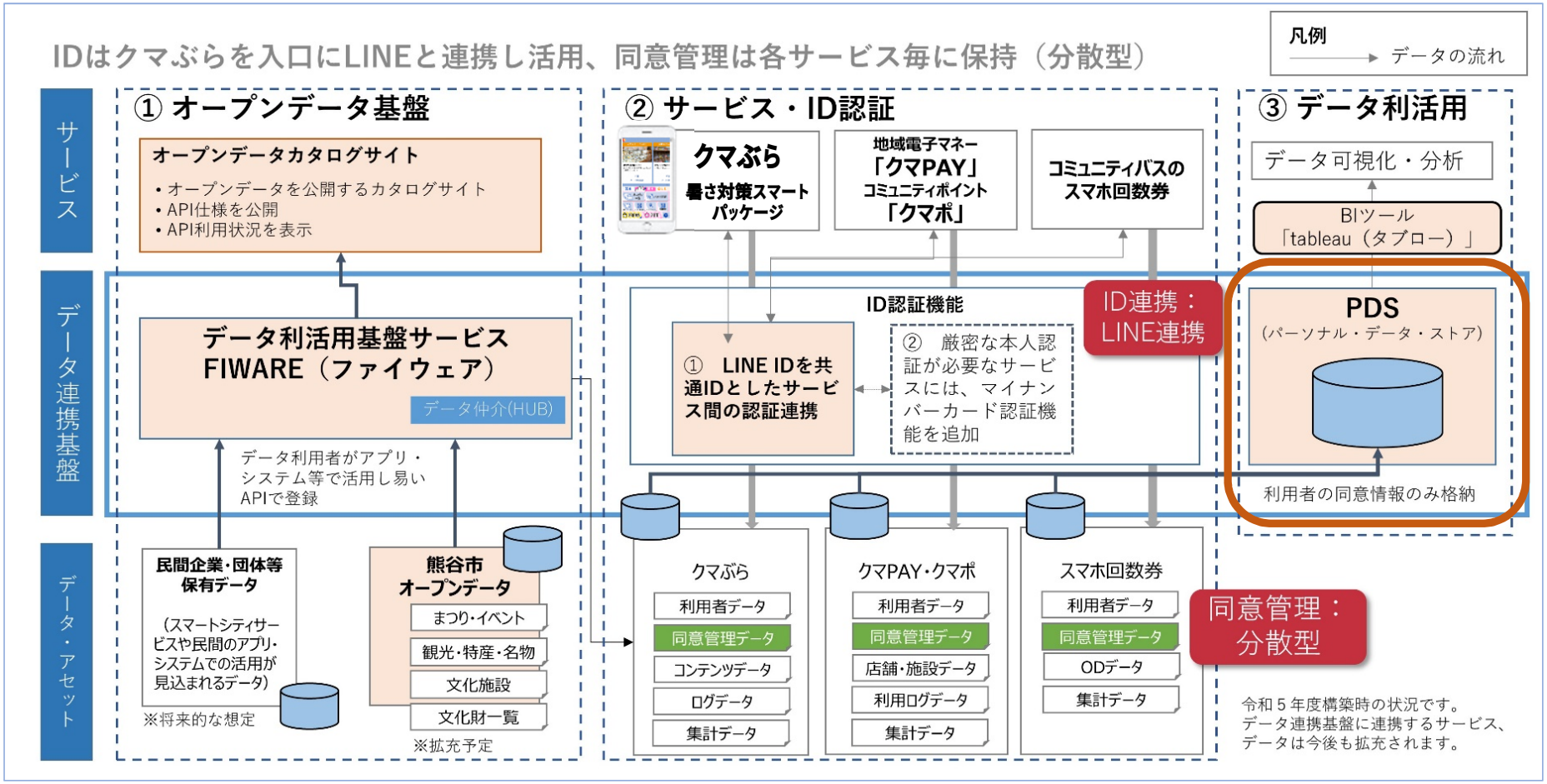
【※】スマートシティの取組みにより新たに入手可能と見込まれる関連データ

（１）熊谷市のPDS（パーソナルデータストア）から取得可能と見込まれる
サービス利用履歴データ
（利用者の了解を受けたデータを活用するオプトイン方式）

（２）コミュニティバス（ゆうゆうバス）乗降情報
（ 降車データの取得についてはＲ６年度実装）

（３）（検討中）民間シェアサイクルから取得可能と見込まれるデータ

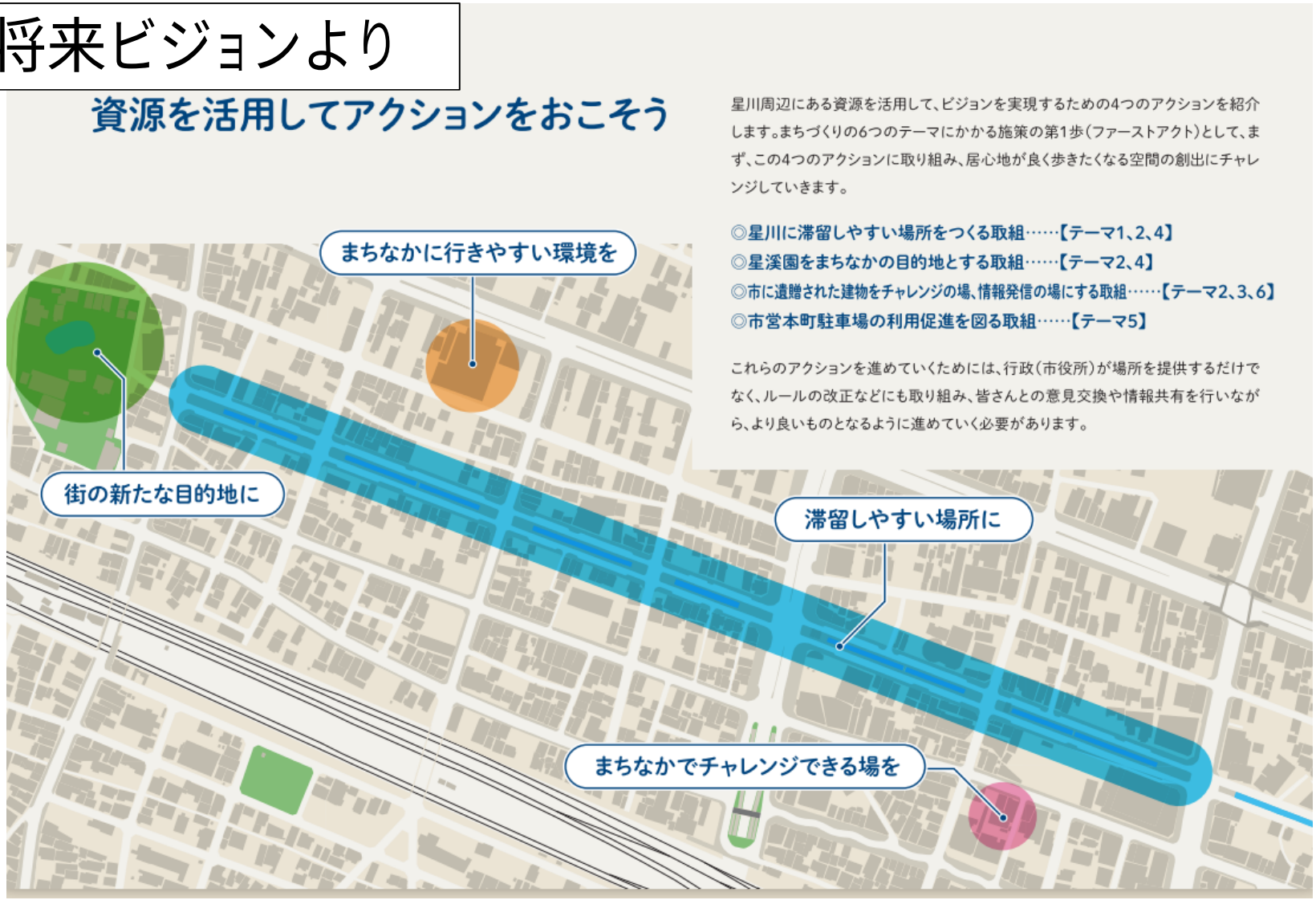
# （参考）熊谷市のPDS（パーソナルデータストア）の構造
# （利用者の了解を受けたデータを活用するオプトイン方式）



# （６）令和７年度に向けて計画検討中の星川エリアにおけるグリーンスローモビリティ実証について

# 星川通り周辺の目指す姿

## 星川将来ビジョンより




*星川将来ビジョンの二次元コードを掲載予定*

（参考）星川将来ビジョン

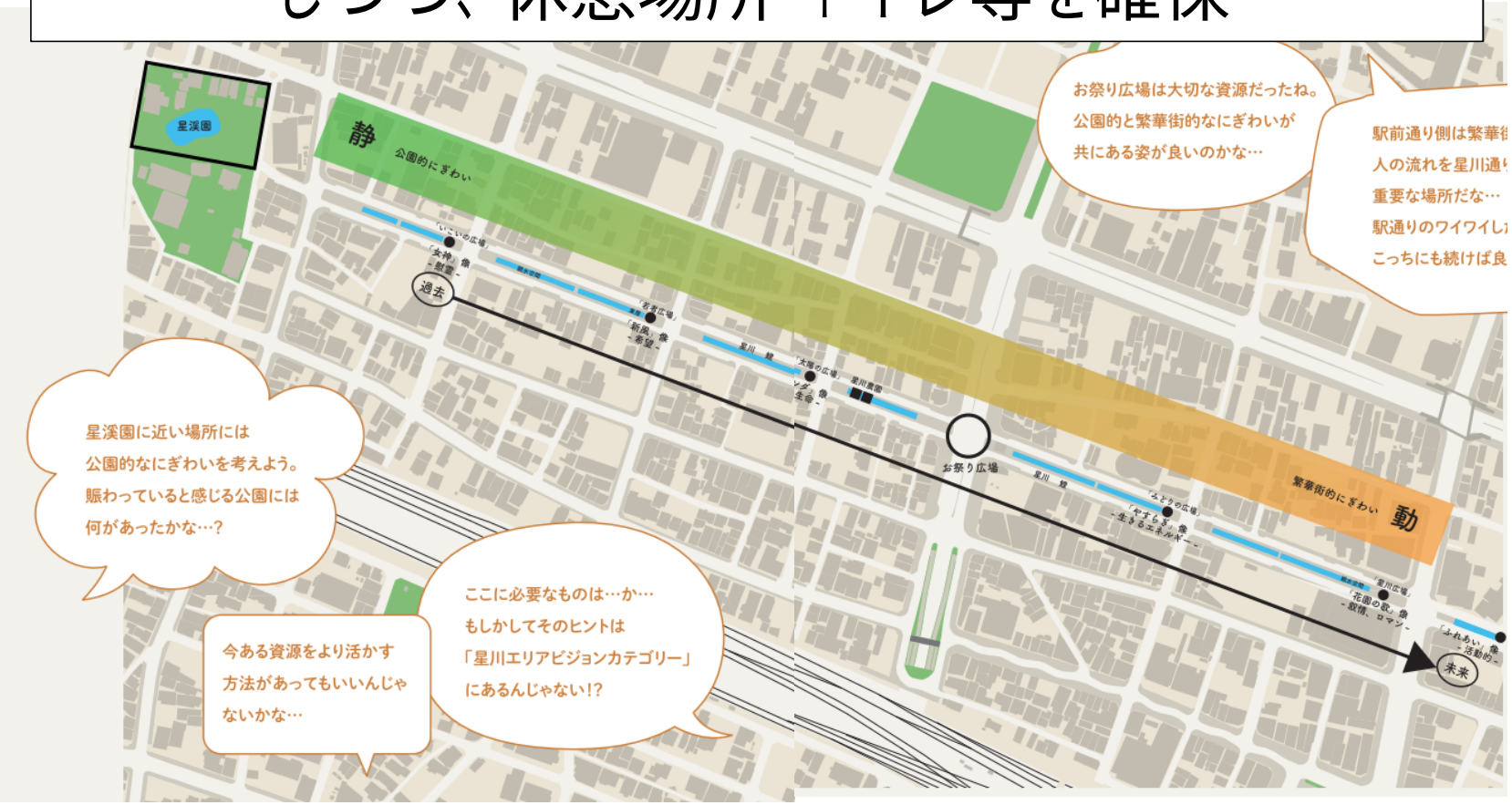
# 星川通り周辺の目指す姿

課題：往復２キロ弱は徒歩では負担が大きく、負担感軽減・休憩場所・移動支援等の検討が必要。



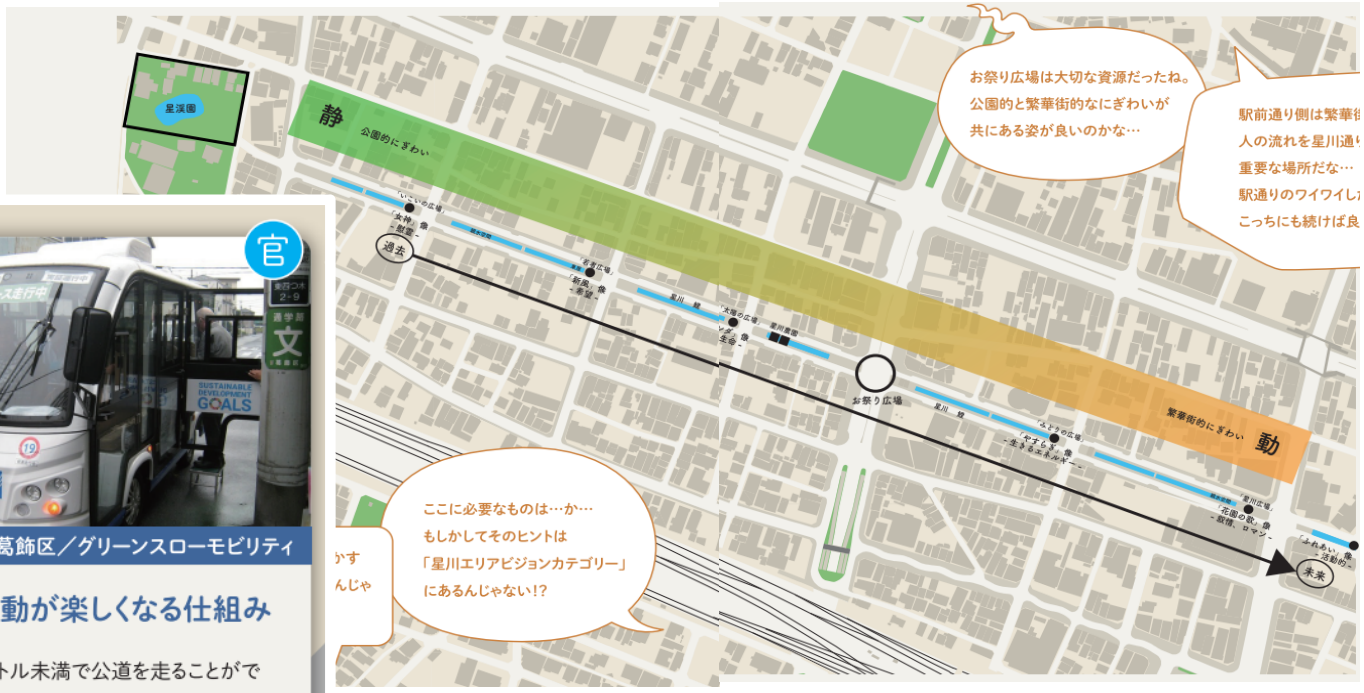
# 星川通り周辺の目指す姿

## 対策1：地域に見合った景観等のメリハリを意識しつつ、休憩場所・トイレ等を確保



# 星川通り周辺の目指す姿

## 対策2：局所的移動支援（モビリティ）実証の検討



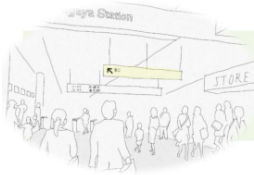



# （参考）熊谷まちなか再生未来ビジョンの記載

- 星川通りの「心地よく歩く軸」としての位置づけ

**POINT 1　駅からまちに　にぎわいを広げる**

駅や駅ビルに集まっているにぎわいを、まちなかに広げていくことを目指します。



駅と直結している駅ビル、商業施設が多数立地し、生活に快適な環境が整っているため、駅構内では行き交う人が多くみられます。

駅構内に滞留している人も歩きやすい環境や魅力的な店が駅周辺に増えることで積極的に駅外へ出歩くことが期待できます。





バリアフリー整備やユニバーサルデザインに配慮した整備を検討します。

**POINT 2　まちを心地よく歩く・移動する**

駅からまちなかへの人の流れを、公共施設などの拠点や魅力的なお店とをネットワーク化することにより、子育て世代や若者に支持されるような快適で居心地の良いウォーカブルなまちを官民連携で目指します。



歩きたくなる魅力的なまちなかを形成するために、景観の向上を図ります。路面の修繕も計画的に行います。



まちなかでの人と環境にやさしい道づくりを進めるために、歩行者にとって安全な道路空間を計画的につくっていきます。



まちなかの回遊性の向上を図るため、公共交通を補完する環境に配慮した新たなモビリティの導入の検討を進めていきます。

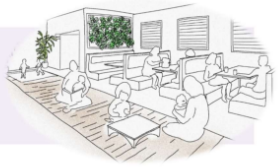
**POINT 3　まちなかで心地よく憩う**

駅からまちなかに広がった人の流れを、各スポット（公共施設、教育機関、スポーツ施設など）をはじめ、動線上に長く滞在してもらうために、心地がよく、みんなの活動や交流ができるような魅力ある居場所の充実を、官民に加え大学とも連携して目指します。



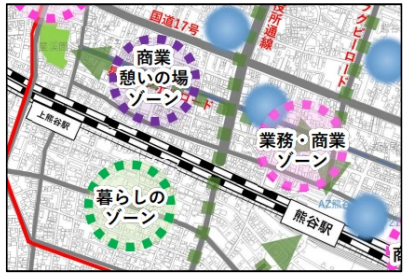
人の流れの動線上で長く滞在してもらうために広い歩道など公共空間を利活用したプロジェクトを進めていきます。

子育て世代の応援、みんなの活動や交流ができるような魅力ある居場所を充実させていきます。





店先のオーニングなど、駅からまちなかに広がった人々が心地よく憩う空間を作っていきます。




心地よく歩く軸

心地よく憩うポイント

出典：熊谷まちなか再生未来ビジョン
https://kumagayasaisei.wixsite.com/mysite/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B

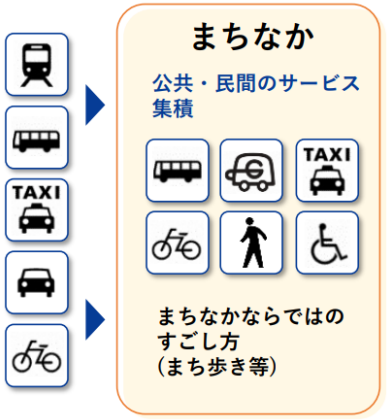
# 留意点：公共交通とのバランス

熊谷市の強みである路線バスとの競合を起こさない仕組みを交通事業者とも協議しつつ検討

路線バス・自家用車（駐車場利用）・移動支援（モビリティ）・自転車・歩行を自由に組み合わせて利用し過ごすことのできる「まちなかウェルカム」の実現へ




立地適正化と一体的な市全体の交通ネットワークの確保




（※）持続的な運営のためには移動支援への自動運転技術導入等も視野に検討していくことが必要。

# （7）グリーンスローモビリティの導入事例

- 杉並区グリーンスローモビリティ（1）
  - 荻窪駅南側から荻外荘公園、太田黒公園の回遊性向上に向け、狭い路地でも走行できる開放的な移動サービスとして実証。




**杉並区グリーンスローモビリティ**

| | |
|---|---|
| 地域 | 東京都杉並区 |
| 車種 | ヤマハ・ランドカーAR-07（運転手込み7人乗り） |
| 概要 | 「杉並区地域公共交通計画」における取り組みの一つに位置づけ。<br>荻窪駅周辺の回遊性向上に資する新たな移動サービスとして、令和6年12月荻外荘公園の開園に向けて、令和3年度から取り組み。 |

出典：杉並区HPを基に作成




出典：杉並区地域公共交通計画







資料：杉並区HPを元に作成

目標３　気軽で自由な外出と回遊が確保されている

施策３－１
新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充

・自宅と交通結節点までのファースト・ラストワンマイルをつなぐ公民連携したデマンド交通の実証運行及び実施　など

施策３－２
新たなモビリティによる移動の選択肢の拡充

・電動マイクロモビリティの安全な利用の促進　など

出典：杉並区地域公共交通計画

- 杉並区グリーンスローモビリティ（２）
  - 令和3年度から実証運行を重ね、令和5年度末に運行計画を策定。
  - 実証運行後、地元住民からは乗る楽しさや移動の足になるとの回答も。




**杉並区グリーンスローモビリティ**

| | |
|---|---|
| 地域 | 東京都杉並区 |
| 車種 | ヤマハ・ランドカーAR-07（運転手込み7人乗り） |
| 概要 | 「杉並区地域公共交通計画」における取り組みの一つに位置づけ。<br>荻窪駅周辺の回遊性向上に資する新たな移動サービスとして、令和6年12月荻外荘公園の開園に向けて、令和3年度から取り組み。 |

出典：杉並区HPを基に作成

■沿革

| | | |
|---|---|---|
| 令和３年度 | **3月** | **荻外荘公園周辺で試乗会を２日間実施** 試乗会＆実証実験 |
| 令和４年度 | **11月** | **荻窪駅南側地域で実証運行を11日間実施** |
| | 2月 | 第４回杉並区地域公共交通活性化協議会 |
| 令和５年度 | 5～7月 | 運行事業者を公募型プロポーザル方式により選定 |
| | 8月 | 第５回杉並区地域公共交通活性化協議会 |
| | | 運行事業者と運行計画策定業務の契約 |
| | 1月 | グリーンスローモビリティに関する運賃等協議会で運賃協議を実施 |
| | | 第６回杉並区地域公共交通活性化協議会（運行計画の諮問・答申） |
| | **2月** | グリーンスローモビリティ運行計画の策定 |
| | | **運行事業者と杉並区グリーンスローモビリティ運行協定書を締結** |
| 令和６年度 | **5月～8月** | **荻窪駅南側地域で有償による実証運行を約3カ月間実施** 実証実験 |

出典：杉並区HPを元に作成

実証運行後の地元自治会等へのヒアリング調査では、「気軽に乗れて楽しい雰囲気になった」、「乗って楽しい、見て楽しい」、「地域の人たちにとって関心事であったと思われる」、「高齢者の買い物、通院などの足となる」などの回答があった。

出典：杉並区HP（抜粋）

# （８）相互扶助型の地域通貨クマポを乗り合い交通等への感謝の気持ちの表明として利用することについて

道路運送法上、好意で提供された相乗りであっても、謝礼を受け取る場合には取扱いに留意する必要があります。そのため、熊谷市では、クマポが相乗り交通に利用される際に、【サービスの提供を受けた者からの給付が、「好意に対する任意の謝礼」と認められる場合は許可等を要しない。】範囲を逸脱しないよう、以下通知の記載内容に留意して、（仮称）クマポプレイスの運用等に取り組むこととしています。

（以下、「～注意すべき記載」や図の引用元：国土交通省の２０１８年３月３０日付け通知「道路運送法における登録又は許可を要しない運送の態様について」の解説資料）

https://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/manager/pdf/H30/04.pdf

**（１）クマポは地域における相互扶助を促進するためのツールであり財産価値を持たないことを明示します。**

【該当しないように留意すべき記載】→

サービスの交換にとどまる場合については原則として許可等は不要であるものの、有料で点数を購入して貰うな どの場合や、地域通貨といってもその対象サービス内容、流通範囲、交換可能な財・サービス内容に応じ、許可等が必要となるケースがあります。

【許可不要とされている相互扶助型地域通貨の例示】
（クマポは創設時より本運用を想定。）




【許可が必要とされている地域通貨の例示】




**（２）マッチングの場となるクマポプレイスや本アイデア集では以下について誤解を生まないように運営・注記等を行います。**

【該当しないように注意すべき記載】→

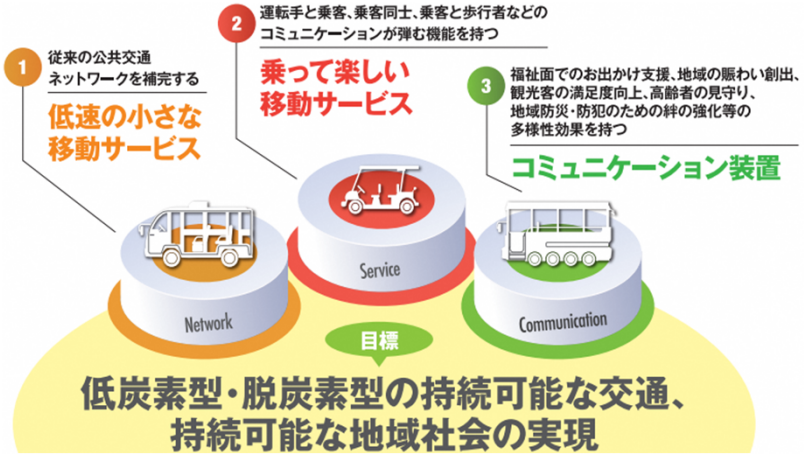
1) 仲介者が、Webサイト等で、謝礼の誘引文言を表示し又は謝礼 の有無・金額によって利用者を評価すること等により、謝礼の支払 を促す場合

（※）上記（１）のとおり、クマポは財産価値を持ちませんが、クマポ以外の謝礼を付け加えたやりとりがなされることに備えます。

# 【３】（４）
# グリーンスローモビリティについて

# グリーンスローモビリティ

『グリーンスローモビリティ』は、「①時速20km未満」で公道を走ることができる「②電動車を活用」した「③小さな移動サービス」であり、その車両も含めた総称




出典：国土交通省　グリーンスローモビリティ　リーフレット

**Green**

- 二酸化炭素排出量を低減
- モーター駆動で走行音が小さく、閑静な地域でも走行可能

**Slow**

- 交通量が多くない道路や、速度が低い区間での走行に向く
- 低速移動で景色が楽しみやすく、観光目的の移動に適する
- 車内外のコミュニケーションが取りやすく、地域コミュニティの活性化や交流にも寄与

出典：国土交通省 総合政策局 環境政策課
『グリーンスローモビリティの導入と活用のための手引き』
（令和3年）p.2、4を基に記載

◆ 勉強会の流れとテーマ

10/22　第１回勉強会

**知識を広げる**

11月16日　モビリティ視察会

**現地見学**

11月26日　第２回勉強会

**感じたことを共有する**

モビリティメーカーへのヒアリング調査　等

2月６日　　第３回勉強会

**計画に落とし込む**

**◆ 第１回勉強会 議題**

- 熊谷市のまちなか交通に関する取組みの紹介
- グリスロの概要及び事例紹介
- 星川通りにおけるモビリティ導入に関する意見交換

**◆ 第２回勉強会 議題**

- モビリティ視察会の参加者による感想/所感を含めた参加報告
- 星川通りにおけるモビリティ実証運行イメージに関する意見交換

**◆ 第３回勉強会 議題**

- 星川通りにおけるモビリティ実証運行計画（案）に関する意見交換

# １．実証運行の目的

## グリスロ導入により目指す狙い

- 公共交通を補完･連携する“まちなか交通”として、東西往復約2kmの星川通りの移動利便性を高め、地域住民や来訪者の回遊を活性化する
- イベント時の活用も見据えつつ、個人の移動への多様な希望を支える手段として活用される

## 実証運行における検証の視点

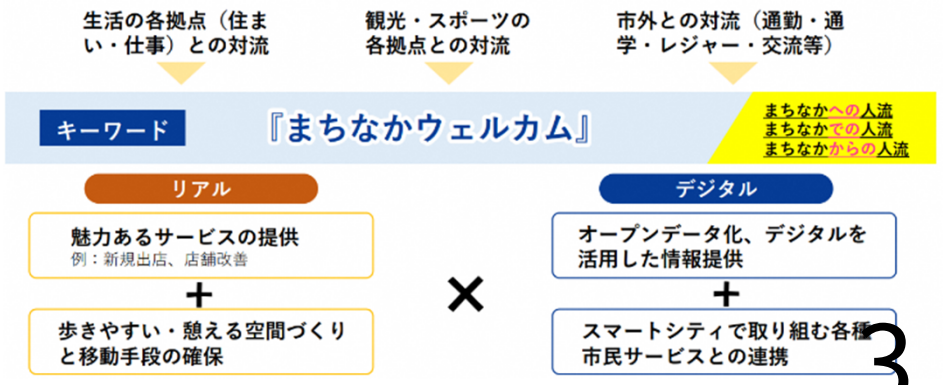
- グリスロに対する市民･地域関係者の認知度や親しみが向上したか
- 実証運行の形態（ルート、頻度、時間帯等）により、移動に対する市民のニーズや希望を満たせるか
- グリスロが星川通りにもたらす移動のニーズや希望に対する価値はどの程度か

星川通りの課題



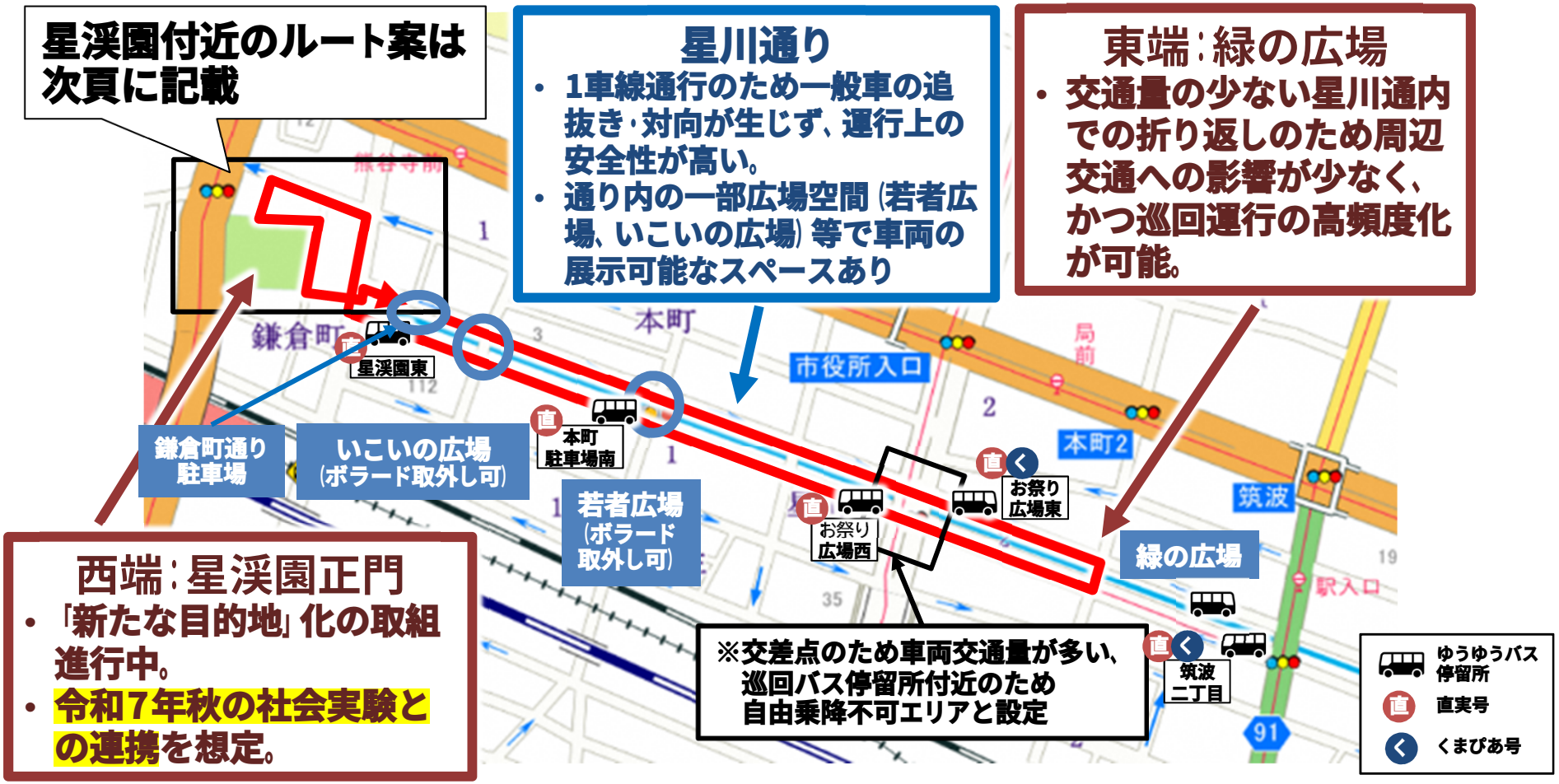

出典：星川将来ビジョン

まちなかウェルカムの考え方



# ２．実証運行ルートと交通規制-ルート案

- 星川通りでの巡回運行を中心に、「新たな目的地」化の取組が進行中の『星渓園正門』を西端とし、『緑の広場』を東端とするルートを計画する。




鎌倉町通り駐車場、いこいの広場、若者広場はグリスロの駐車可能なスペースが存在するため、いずれかを休憩時間中にグリスロが駐車し、全体監督が駐在する「グリスロスポット」候補地とする

# ３．モビリティ選定

- 乗降のしやすさ、輸送力（定員）等からAR-07、次点でe-COM4を選定

| メーカー | 車両 | 車両イメージ | 利点／弱み | 評価（案） |
|---|---|---|---|---|
| ヤマハ発動機(株) | AR-07<br>カート型<br>(7人乗り) | <br>出典：ヤマハ発動機(株)HP | 【利点】<br>• 各地で導入事例多数<br>• 乗降しやすい低床型の車両<br>• 運転手込みで7人乗り可能<br>【弱み】<br>• 運行管理システム等は別途必要<br>• 充電設備工事が必要 | ◎<br>• フリー乗降に適したカート型<br>• バス型に比べ費用面で安価<br>• 7人乗りで輸送力も確保 |
| モビリティワークス(株) | LSV-4<br>カート型<br>(4人乗り) | <br>出典：(株)モビリティワークスHP | 【利点】<br>• 乗降しやすい低床型の車両<br>• GPS運行管理システムが標準装備<br>【弱み】<br>• 運転手込み4人乗り（実質3人乗り）のため輸送力が小さい | △<br>• フリー乗降に適したカート型<br>• バス型に比べ費用面で安価<br>• 4人乗りで輸送力が乏しい |
| (株)シンクトゥギャザー | e-COM4<br>バス型<br>(7人乗り) | <br>出典：(株)シンクトゥギャザーHP | 【利点】<br>• 比較的近傍のため輸送費が安い<br>• 各地で導入事例多数<br>• 運転手込みで7人乗り可能<br>【弱み】<br>• カート型に比べ費用面が高額<br>• 乗降時はドア開閉が必要なためフリー乗降にやや馴染みにくい | ○<br>• フリー乗降にやや不向き<br>• バス型の代表として本命に次ぐ第2車種としては有力候補 |
| タジマモーターコーポレーション(株) | NA0-6J<br>バス型<br>(7人乗り) | <br>出典：(株)タジマモーターコーポレーションHP | 【利点】<br>• 空調設備あり。<br>• 運転手込みで7人乗り可能<br>【弱み】<br>• 乗降時はドア開閉が必要なためフリー乗降にやや馴染みにくい。 | ×<br>• フリー乗降にやや不向き |

【３】（５）
図書館登録機能のサービス開始について

# 「クマぶら」を活用した、図書館マイナンバーカード登録サービスの実装について

R7.2.14資料
政策調査課

## ２月３日サービス開始！「クマぶら」を使って、市立図書館の利用登録手続きが便利になりました。

- ✓ 「クマぶら」に「マイナンバーカード」を使った本人確認機能を追加することで、スマートフォンから図書館利用カードの新規申請などができるようになりました。
- ✓ 本人確認には、「クマぶら」と親和性の高いＬＩＮＥ系サービスの「ＬＩＮＥ　Ｐａｙ公的個人認証サービス」を使用します。
- ✓ 今までは、図書館窓口に行く必要のあった手続きを、今後は時間を気にせず自宅などから行うことができるようになるためとても便利です。
- ✓ 「クマぶら」登録者はもちろん、まだ登録されていない方はこの機会にご登録いただき、新サービスを利用いただきたいと考えています。




市ホームページコンテンツ

KUMAGAYA SMARTCITY

## 令和7年2月3日サービス開始

# 「クマぶら」で市立図書館がもっと便利になります




LINEポータルアプリ「クマぶら」とマイナンバーカードの
本人確認機能が連携したサービスが登場しました！
これからは図書館の開館時間を気にすることなく、スマート
フォンから図書館利用カードの申込申請などが行えます。
熊谷スマートシティの便利な新サービスを、ぜひご活用ください。

## 「クマぶら」からオンライン申請できる手続き

- 図書館利用カードの新規発行
- 図書館登録情報の修正
- 図書館利用カードの再発行



図書館利用カード

## サービスを利用できる方

- 熊谷市民又は周辺11市町に住所のあるかた（深谷市、寄居町、行田市、鴻巣市、吉見町、東松山市、滑川町、嵐山町、太田市、千代田町、大泉町）
- 15歳以上のかた（15歳未満のかたは、マイナンバーカードの「署名用電子証明書」機能を利用できないためです）

裏面もご覧ください

KUMAGAYA SMARTCITY

# サービス利用手順

クマぶら＆マイナンバーカードを利用した、図書館利用カード申請完了までの流れ

| | |
|---|---|
| LINEアプリ「クマぶら」に登録する | 熊谷市公式LINEアカウントの友だち登録を完了してください。 |
| ↓ | |
| 図書館メニュー「図書館カード利用申請」へ進む | 令和7年2月3日から利用できます。 |
| ↓ | |
| 確認事項を確認し同意する | 対象者、申請できるサービス、準備するもの等を確認し、同意します。 |
| ↓ | |
| マイナンバーカードを使った本人確認を行う | 「LINE Pay公的個人認証サービス」を利用します。 |
| ↓ | |
| 申請に必要な情報を入力し申請する | 図書館登録に必要な情報を追加入力して申請を完了します。 |
| ↓ | |
| 図書館からID・パスワードがメールで届く | この時点で電子書籍が利用できるようになります。 |
| ↓ | |
| 図書館利用カードが自宅に郵送で届く | 電子書籍以外の来館サービスも利用できるようになります。 |

# サービスの利用に必要なもの

サービスの利用時に次のものをご準備ください。
また、利用には、熊谷市LINEポータルアプリ「クマぶら」の登録が必要です。
※LINE Pay公的個人認証サービスについては下記リンク④をご参照ください。

- マイナンバーカード
- 署名用電子証明書のパスワード
  （カード取得時に設定したもの）
- 図書館登録に使用するメールアドレス
- （登録情報変更の方のみ）現在の図書館利用カード



「クマぶら」の登録はこちらから

KUMABURA
クマガヤ知るなら クマぶら

# 関連リンク

①本サービスについて（熊谷市HP）

②熊谷市立図書館HP

③熊谷市立図書館電子書籍HP

④LINE Pay公的個人認証サービスHP


問合せ

（本サービス全般について）
◆政策調査課 ☎048-524-1111（内線317）

（図書館関連業務について）
◆熊谷図書館 ☎048-525-4551

# 【３】（６）
# 地産地消マップのサービス開始について

# 地産地消マップ及び地産地消ウェブサイトの公開について

## なぜ“地産地消”マップ？“地産地消”ウェブサイト？

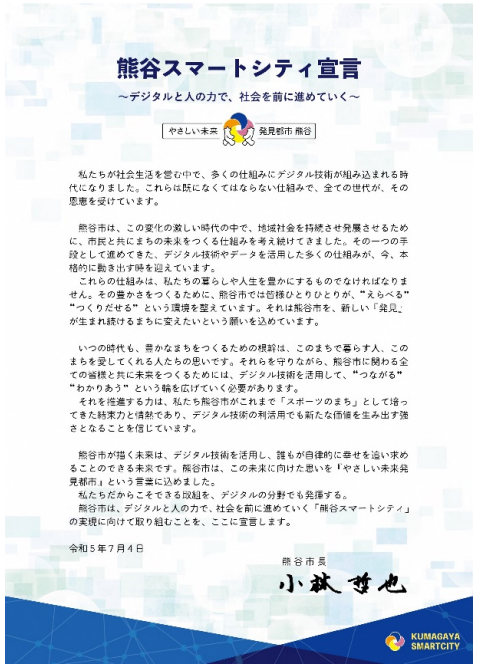
### １．熊谷農産物ブランド化の推進




**熊谷市農産物ブランド化戦略**
**（令和４年１月～）**

「熊谷といえばこれ！」と言われるような熊谷の顔を発見・育成し、ブランド化を目指す。

### ２．農業×熊谷スマートシティ


熊谷スマートシティ宣言

～デジタルと人の力で、社会を前に進めていく～

やさしい未来 発見都市 熊谷

私たちが社会生活を営む中で、多くの仕組みにデジタル技術が組み込まれる時代になりました。これらは既になくてはならない仕組みで、全ての世代が、その恩恵を受けています。

熊谷市は、この変化の激しい時代の中で、地域社会を持続させ発展させるために、市民と共にまちの未来をつくる仕組みを考え続けてきました。その一つの手段として進めてきた、デジタル技術やデータを活用した多くの仕組みが、今、本格的に動き出す時を迎えています。

これらの仕組みは、私たちの暮らしや人生を豊かにするものでなければなりません。その豊かさをつくるために、熊谷市では皆様ひとりひとりが、“えらべる”“つくりだせる”という環境を整えています。それは熊谷市を、新しい「発見」が生まれ続けるまちに変えたいという願いを込めています。

いつの時代も、豊かなまちをつくるための根幹は、このまちで暮らす人、このまちを愛してくれる人たちの思いです。それらを守りながら、熊谷市に関わる全ての皆様と共に未来をつくるためには、デジタル技術を活用して、“つながる”“わかりあう”という輪を広げていく必要があります。

それを推進する力は、私たち熊谷市がこれまで「スポーツのまち」として培ってきた精神力と情熱であり、デジタル技術の利活用でも新たな価値を生み出す強さとなることを信じています。

熊谷市が描く未来は、デジタル技術を活用し、誰もが自律的に幸せを追い求めることのできる未来です。熊谷市は、この未来に向けた思いを「やさしい未来発見都市」という言葉に込めました。

私たちだからこそできる役割を、デジタルの分野でも発揮する。

熊谷市は、デジタルと人の力で、社会を前に進めていく「熊谷スマートシティ」の実現に向けて取り組むことを、ここに宣言します。

令和５年７月４日

熊谷市長
小林哲也

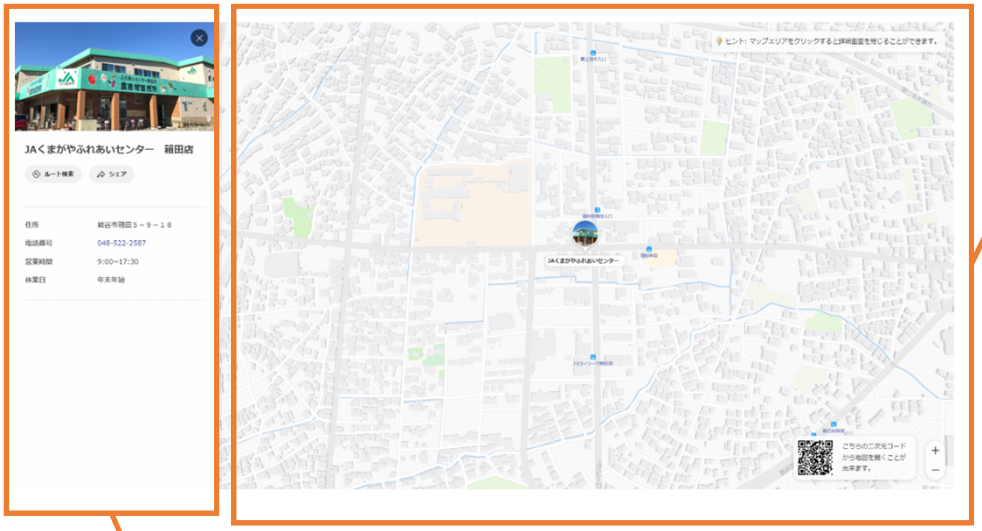
KUMAGAYA SMARTCITY

**熊谷市スマートシティ宣言**
**（令和５年７月４日）**

# 地産地消マップ及び地産地消ウェブサイトの公開について

## 地産地消マップ

２月３日よりクマぶらマップ内、地産地消ボタンからご覧いただけます。




**事業者情報**
事業者の基本情報（住所・連絡先・営業時間・定休日）が記載される

**熊谷市全体のマップ**
地産地消に関連する施設や事業者のポイントにピンが立っている




**カテゴリー分け**
レストラン、観光農園、直売所・販売所の３つのカテゴリーに分けて、目的別に表示することができる。

# 地産地消マップ及び地産地消ウェブサイトの公開について

## 地産地消ポータルサイト

熊谷市公式ラインリッチメニュー内、地産地消ボタンからご覧いただけます。
近日公開を予定しております。

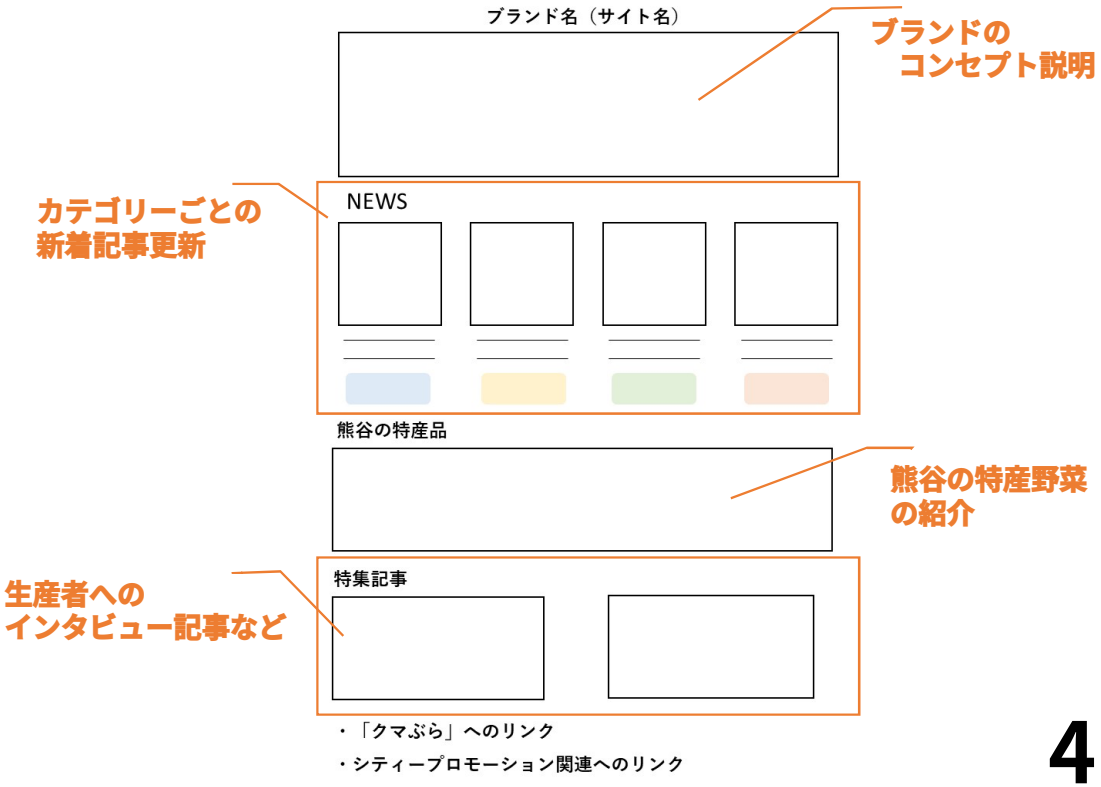
・ポータルサイトイメージ案（右図）

・コンテンツ案

熊谷特産の農産物の紹介ページ

こだわりの飲食店の紹介

農産物の生産者へのインタビュー記事　等



【３】（７）
デジクマネクサスについて

# 商工会議所等との勉強会の設定・開催状況について

## 産学官デジタル研究会「デジくまネクサス」

毎回異なるベンダー、サービス提供事業者を講師にお招きして、「熊谷スマートシティ」のサービス・仕組みを説明いただきながら、データを産学官で活用する運用や今後有効と考えられるデータやシステム等について意見交換を行うイベント。

### 1　これまでの開催経過

第１回（6/5）　ＴＯＰＰＡＮ株式会社（クマＰＡＹ・クマポ）
第２回（7/30）　有限会社エイ・ケイ・システム　（スマホバス回数券）
第３回（10/1）　日本電気株式会社（クマぶら）
第４回（12/3）　株式会社ナビタイムジャパン（コバトンALKOOマイレージ）
第５回（2/14）　日本電気株式会社（データ連携基盤）

### 2　参加者

産学官の熊谷スマートシティ連携関係者、市アーキテクト、市職員及び一般市民の参加も可能としている。
また、第５回は、県庁及び県内自治体のＤＸ推進担当課の職員もお誘いした。

### 3　その他

第３回から、リアル会場（アズ熊谷６階　KUMAGAYA PLACE）とWEB会場（ZOOM）のハイブリッド開催とし、オープンラウンジ形式のイベントとして実施中。




第４回チラシ




第５回チラシ